

横須賀市高齢者福祉に関するアンケート調査結果

(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を含む)

- アンケート結果の各グラフには、その設問の回答対象者の数を「回答者数」として表してあります。
- 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 回答者について

対象者 : 要介護1～5以外の高齢者 2,400人
抽出時点 : 令和4年11月1日
実施期間 : 令和4年11月16日～12月16日
回答者数 : 1,500人(回収率 62.5%)

(1) 記入した方

区分	本人	配偶者 (夫・妻)	息子・娘	息子か娘 の配偶者 (夫・妻)	兄弟・ 姉妹	その他の 親族	家族 (記入無)	その他	無効・ 無回答
回答 者数	1,369	43	30	1	1	6	3	6	41
構成 比	91.3%	2.9%	2.0%	0.1%	0.1%	0.4%	0.2%	0.4%	2.7%

(2) アンケート対象者の性別

区分	男性	女性
回答者数	715	785
構成比	47.7%	52.3%

(3) アンケート対象者の年齢

区分	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳～ 89歳	90歳～ 94歳	95歳 以上
回答者数	283	392	379	269	130	40	7
構成比	18.9%	26.1%	25.3%	17.9%	8.7%	2.7%	0.5%

(4) お住まいの地区（日常生活圏域別）

区分	追浜	田浦	逸見	本庁	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下浦	西
回答者数	117	74	31	217	226	174	192	186	127	156
構成比	7.8%	4.9%	2.1%	14.5%	15.1%	11.6%	12.8%	12.4%	8.5%	10.4%

(5) 要介護認定の状況

区分	元気高齢者 (要介護認定なし)	事業対象者※1	要支援1※2	要支援2※2
回答者数	1,437	5	27	31
構成比	95.8%	0.3%	1.8%	2.1%

※1 事業対象者とは、要介護認定を受けていないが、日常生活に不安や困難を抱えており、基本チェックリストを受けて生活機能の低下がみられると判断された高齢者です。

「介護予防・生活支援サービス事業」の対象者であり、ホームヘルプやデイサービスなどのサービスを受けることができます。

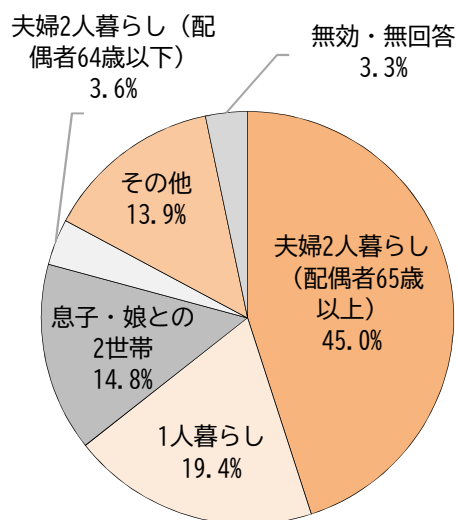
※2 要介護認定の申請をすると、介護や支援が必要な度合いが要介護度として認定されます。要介護度は要支援1～2、要介護1～5の計7段階あり、最も軽い認定が要支援1、最も重い認定が要介護5です。

要介護度は、訪問調査や主治医の意見書などからコンピュータによる一次判定、医療・保健・福祉の専門家で構成された介護認定審査会による二次判定を経て認定されます。

2 アンケート結果

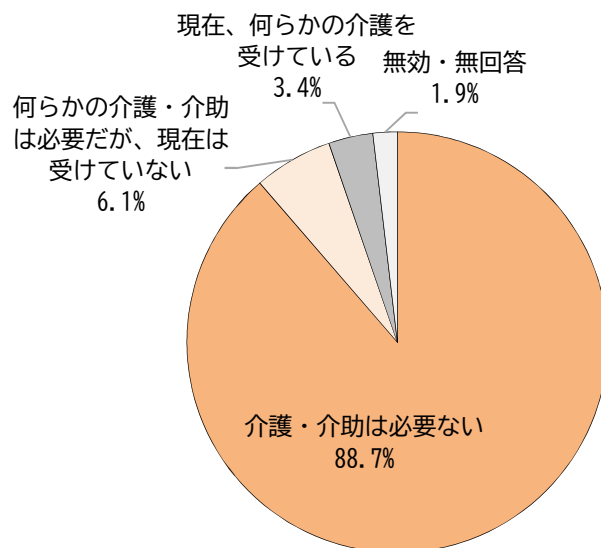
【問1】あなた（あて名の方）のご家族や生活状況について

（1）家族構成をお教えてください



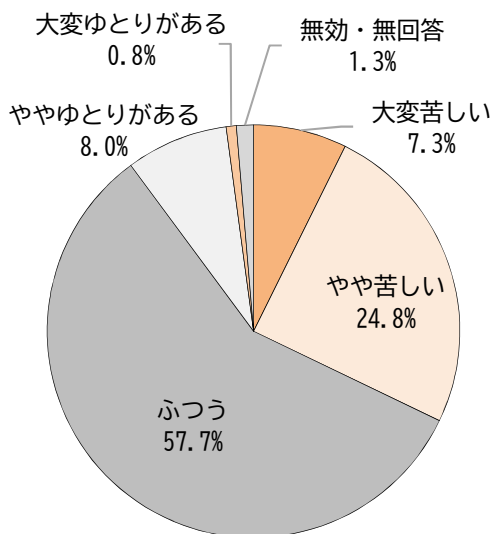
回答者数：1,500名

（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



回答者数：1,500名

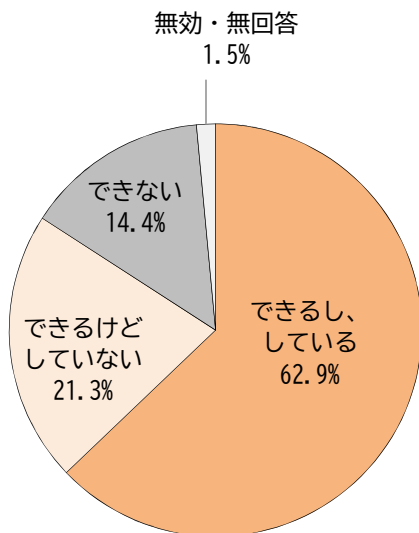
（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



回答者数：1,500名

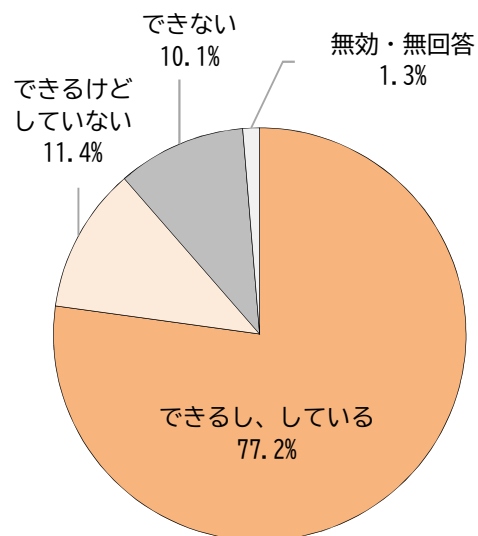
【問2】 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか



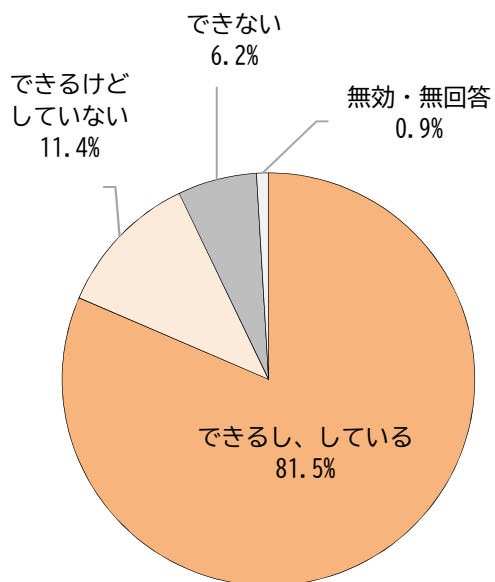
回答者数：1,500名

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



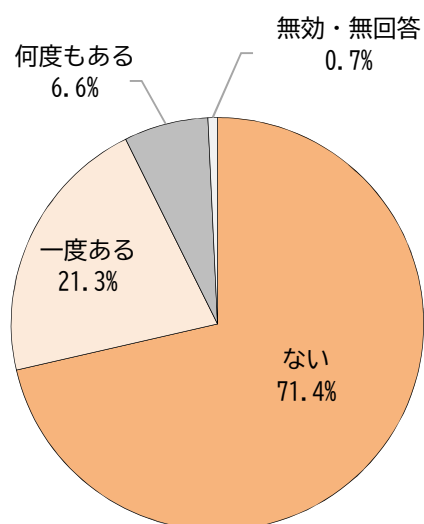
回答者数：1,500名

(3) 15分位続けて歩いていますか



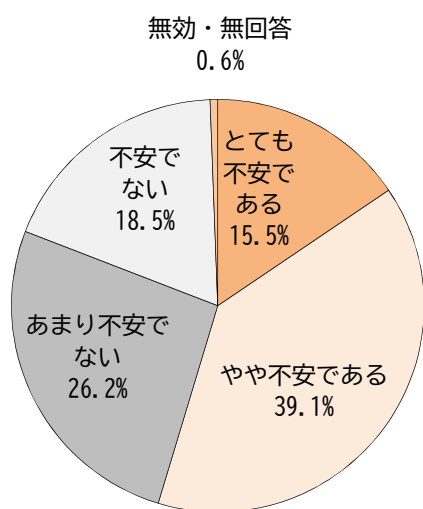
回答者数：1,500名

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか



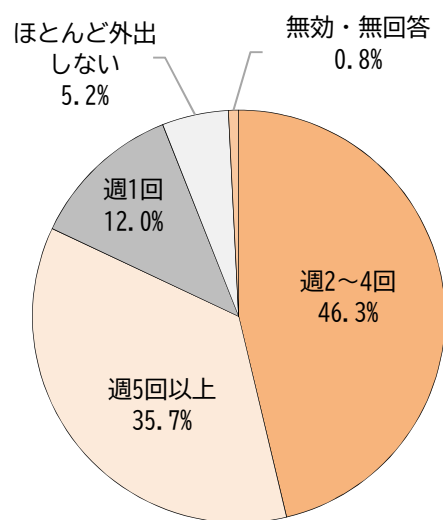
回答者数：1,500名

(5) 転倒に対する不安は大きいですか



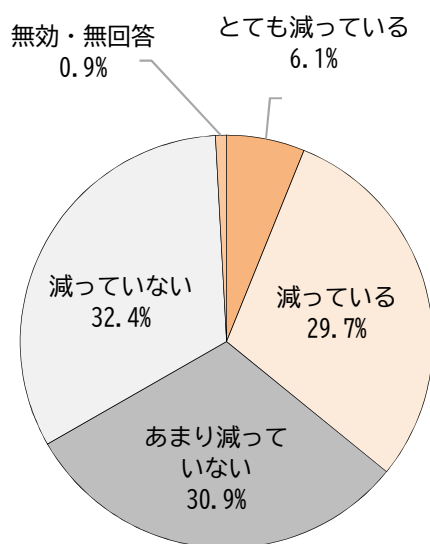
回答者数：1,500名

(6) 週に1回以上は外出していますか



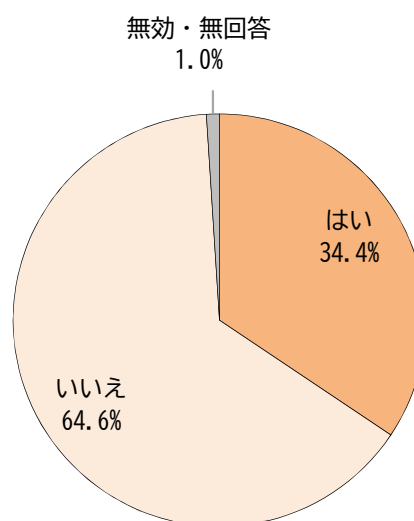
回答者数：1,500名

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか



回答者数：1,500名

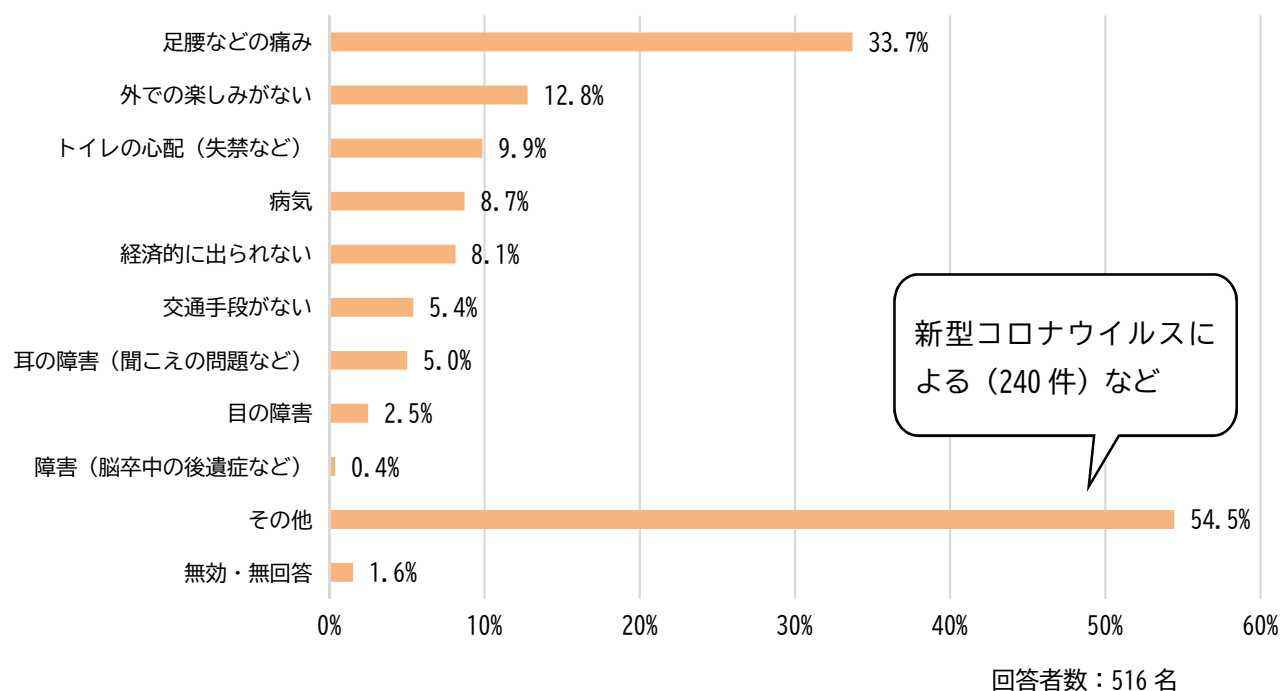
(8) 外出を控えていますか



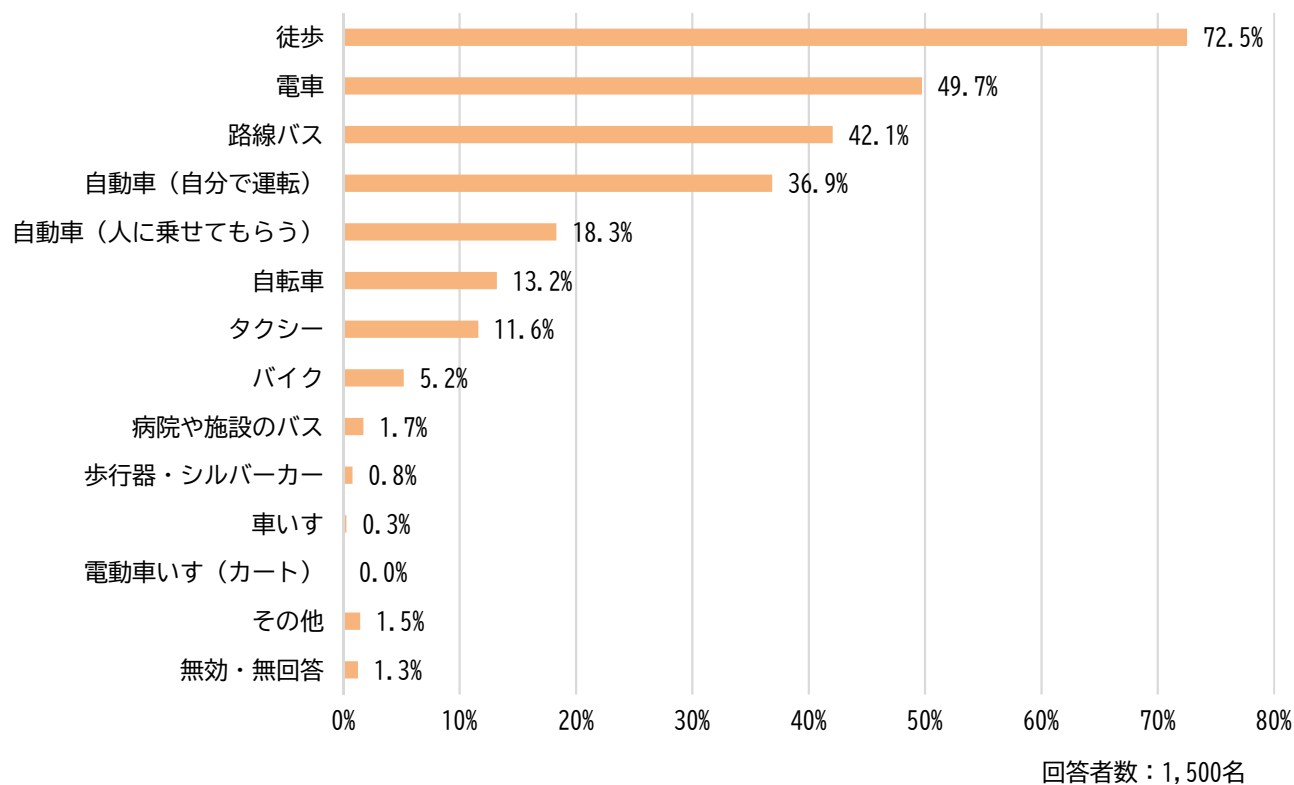
回答者数：1,500名

(9) 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】



(10) 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



【問3】 食べることについて

(1) BMI

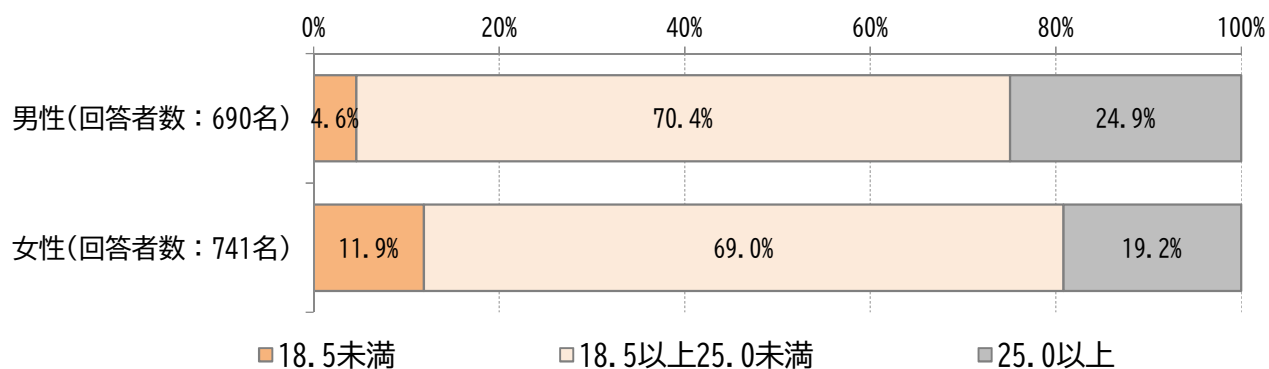
※ BMI とは肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数で、
[体重(キログラム)]÷[身長(メートル)の2乗]で求められます。

[判定基準]

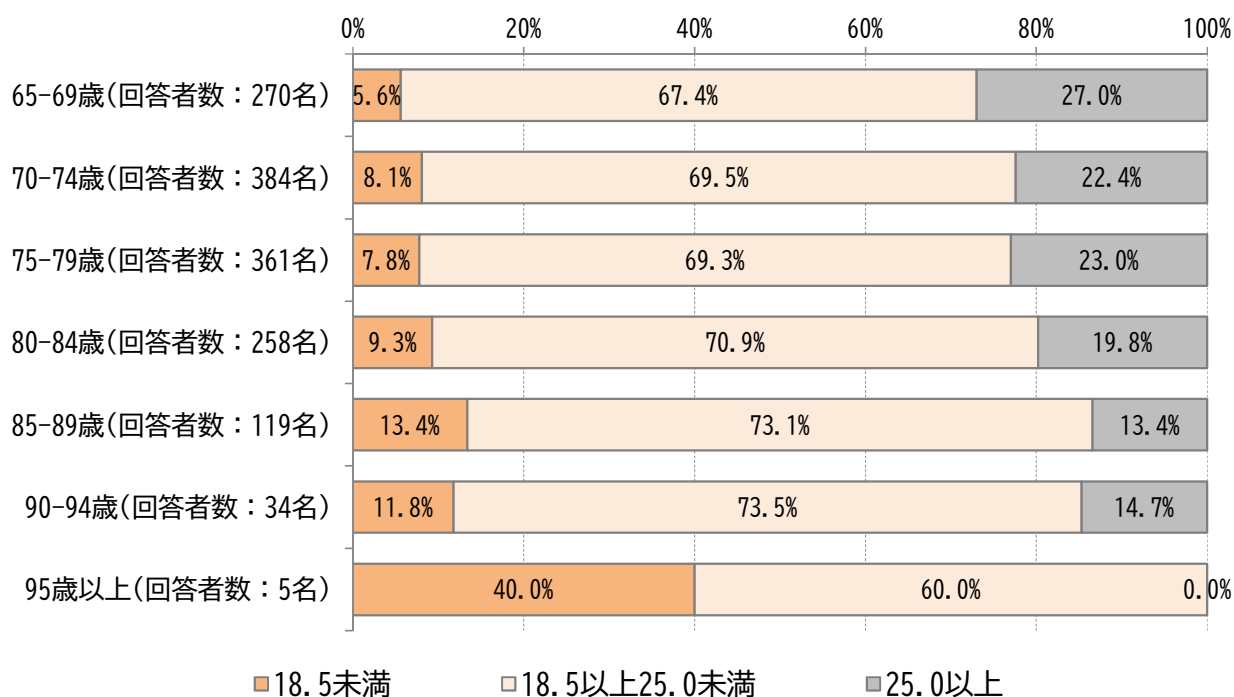
18.5 未満：やせ、 18.5 以上～25 未満：標準、 25 以上：肥満

ただし、高齢者では、フレイル（加齢に伴って筋力や心身の活動が低下した状態）の予防及び生活習慣病の発症予防の両者に配慮する必要があることも踏まえ、当面目標とするBMIの範囲を 21.5～24.9 としています。（厚生労働省「日本人の食事摂取基準 2020 年版」による）

◇性別ごとのBMI

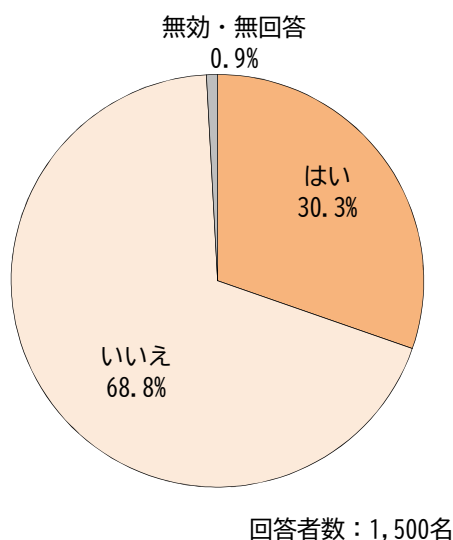


◇年齢ごとのBMI

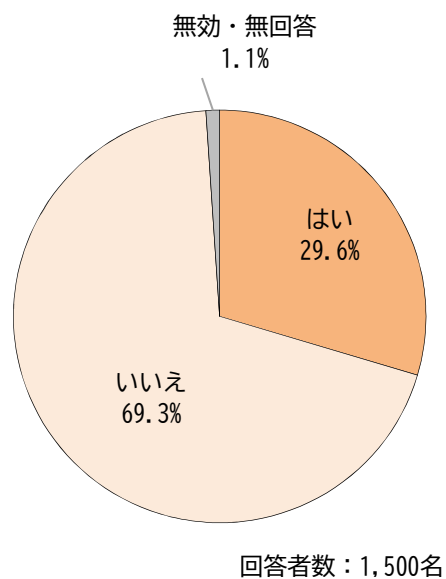


※ アンケートにおいて、身長・体重両方の回答のあった 1,431 名について集計しました

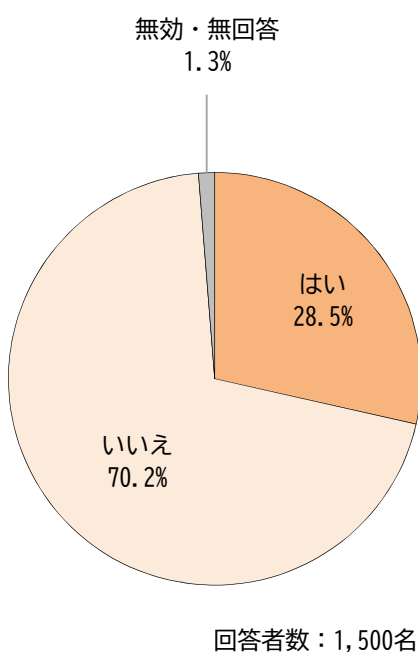
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



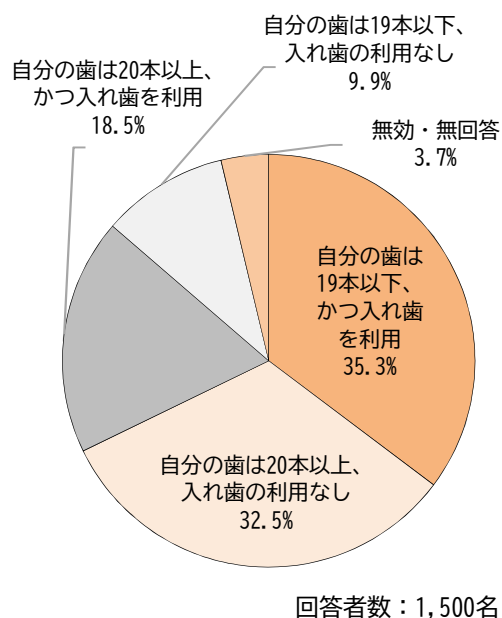
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか



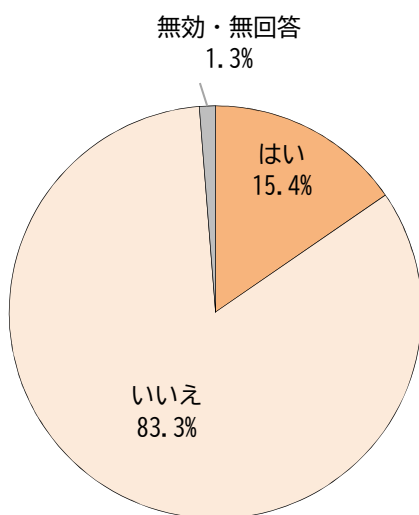
(4) 口の渇きが気になりますか



(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

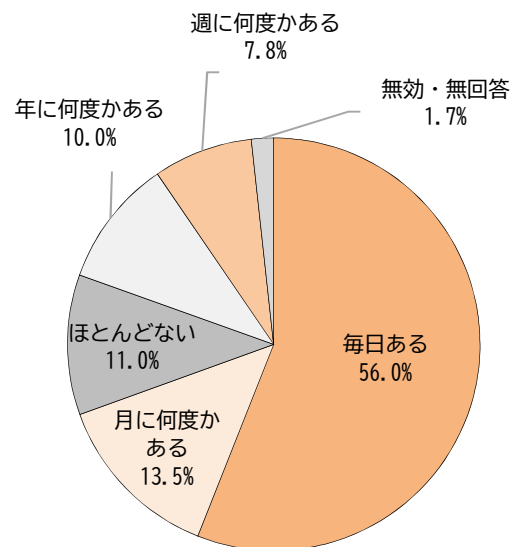


(6) 6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか



回答者数：1,500名

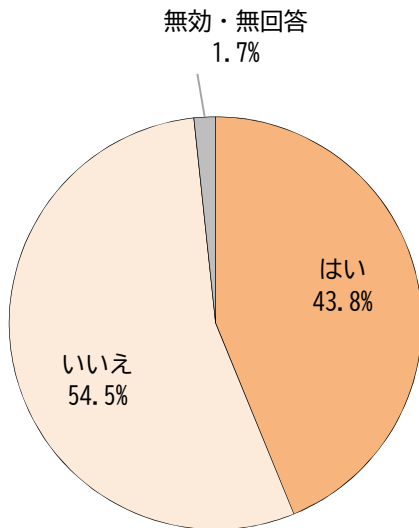
(7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか



回答者数：1,500名

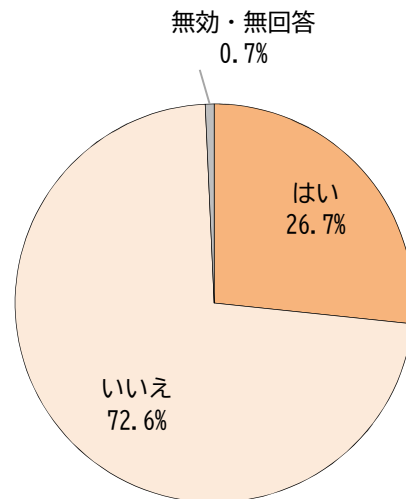
【問4】 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか



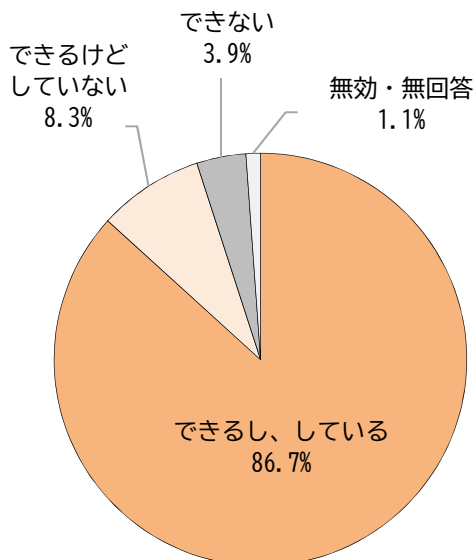
回答者数：1,500名

(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか



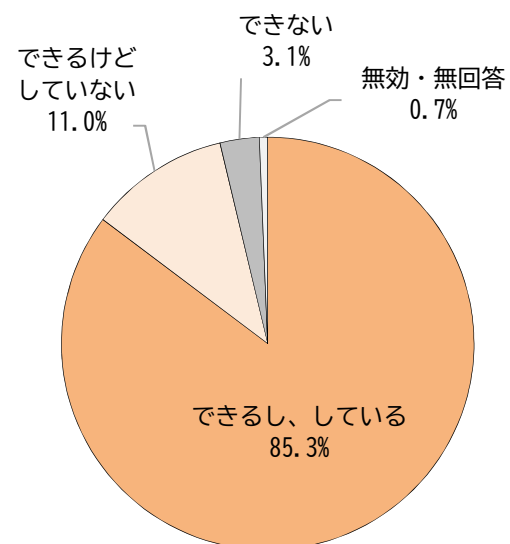
回答者数：1,500名

(3) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）



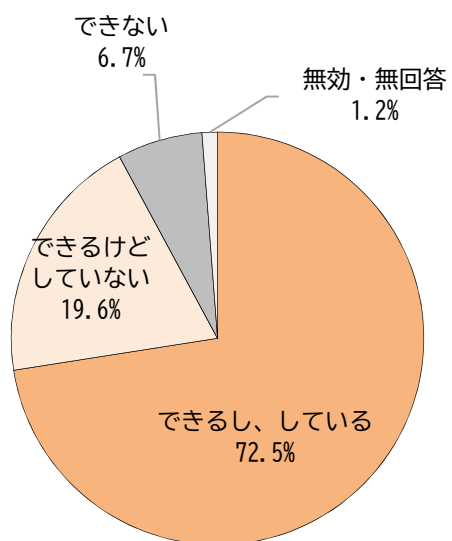
回答者数：1,500名

(4) 自分で食品・日用品の買物をしていますか



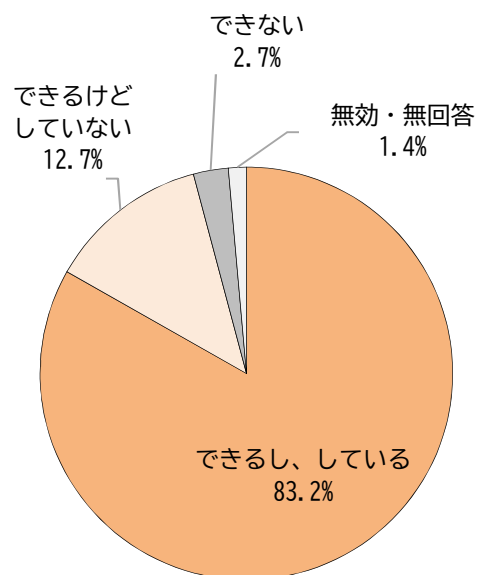
回答者数：1,500名

(5) 自分で食事の用意をしていますか



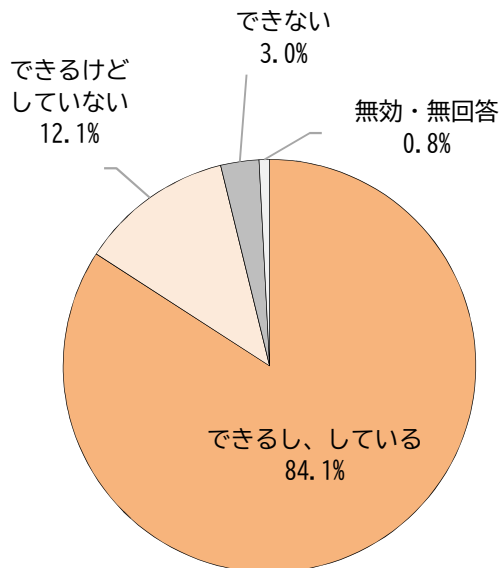
回答者数：1,500名

(6) 自分で請求書の支払いをしていますか



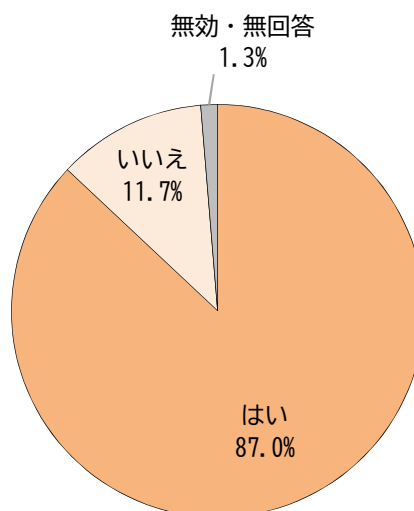
回答者数：1,500名

(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか



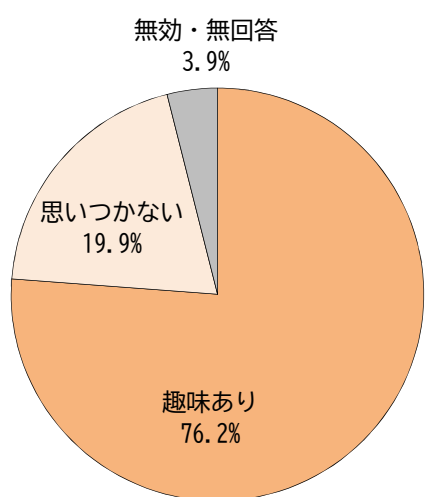
回答者数：1,500名

(8) 健康についての記事や番組に関心がありますか



回答者数：1,500名

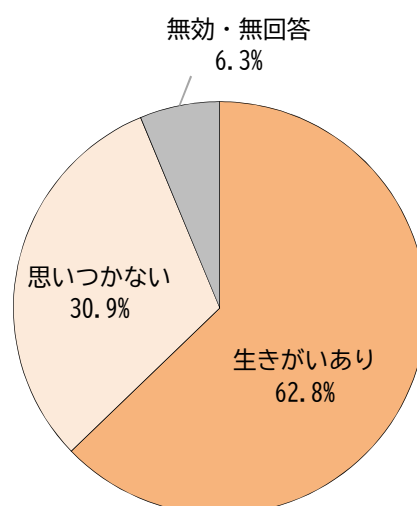
(9) 趣味はありますか



回答者数：1,500名

系統	人数
スポーツ	405
ものづくり	243
頭脳	223
園芸	172
音楽	153
文化	109
娯楽	108
外出	95
食事	9
その他	20

(10) 生きがいがありますか



回答者数：1,500名

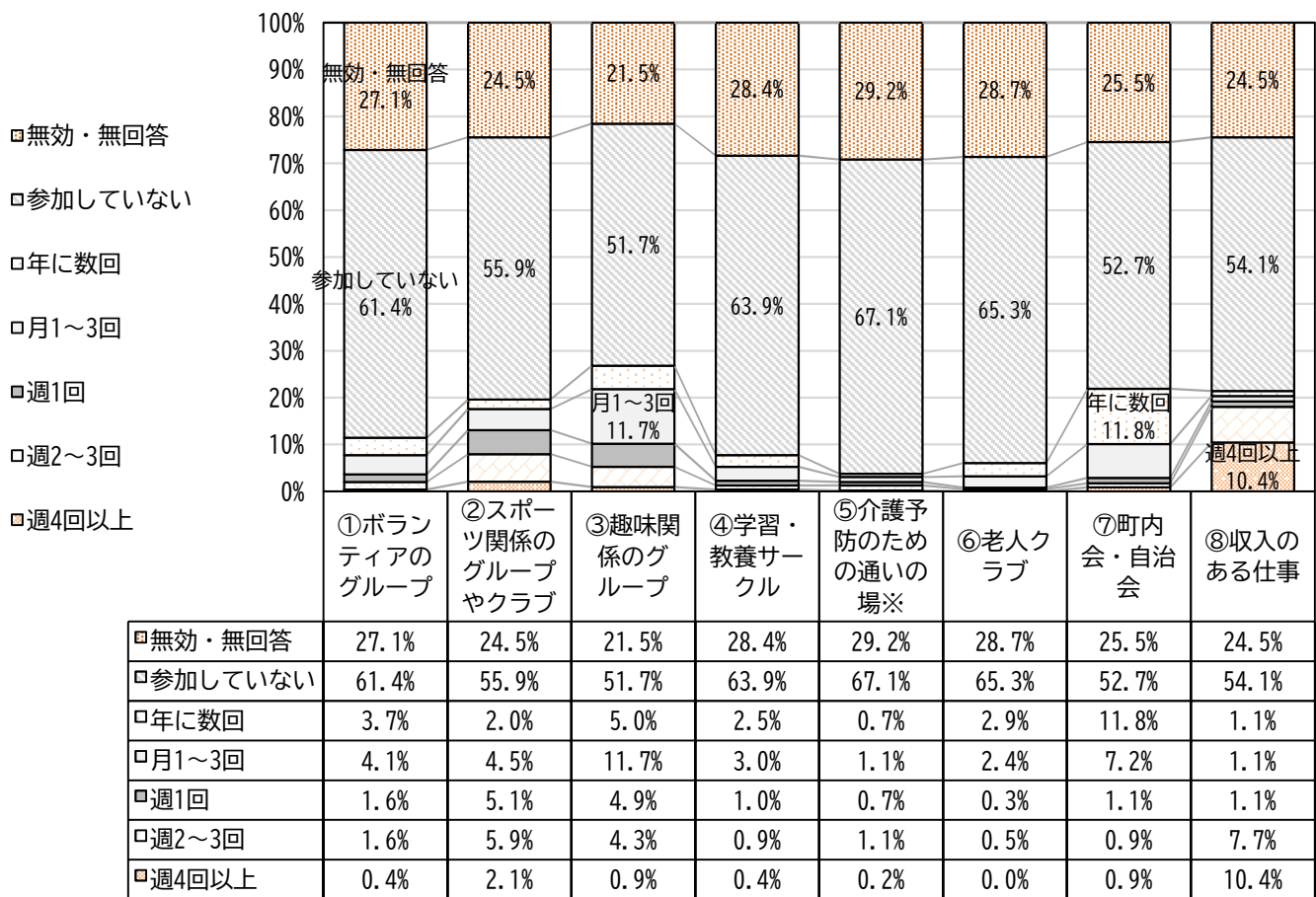
系統	人数
家族(孫など)	319
人との交流	89
頭脳	69
外出	66
スポーツ	55
娯楽	47
園芸	29
文化	28
音楽	18
食事	15
ものづくり	14
その他	62

趣味・生きがいの一例

スポーツ・・・ウォーキング・ゴルフ・釣りなど
 ものづくり・・・手芸・写真撮影・裁縫・料理など
 頭脳・・・読書・囲碁・パソコン・仕事など
 園芸・・・ガーデニング・菜園など
 音楽・・・歌うこと・音楽鑑賞・楽器演奏など
 文化・・・絵画・書道・茶道など
 娯楽・・・テレビ・映画・麻雀・スポーツ観戦など
 外出・・・旅行・ドライブなど
 人との交流・・・友達・ボランティアなど
 その他・・・ペット・健康など

【問5】地域での活動について

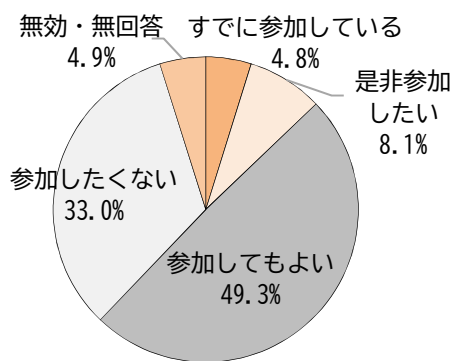
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(①～⑧それぞれ回答)



※住民同士が開催している茶話会や健康体操を行うサロンなど

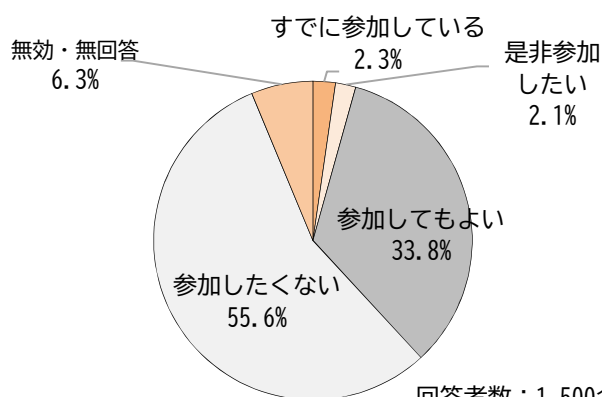
回答者数：1,500名

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか



回答者数：1,500名

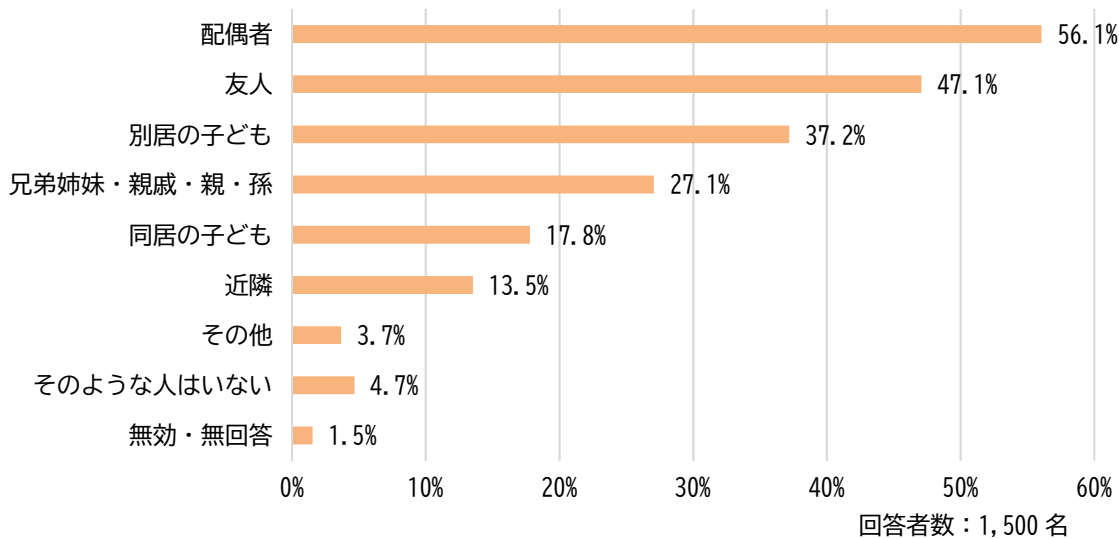
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか



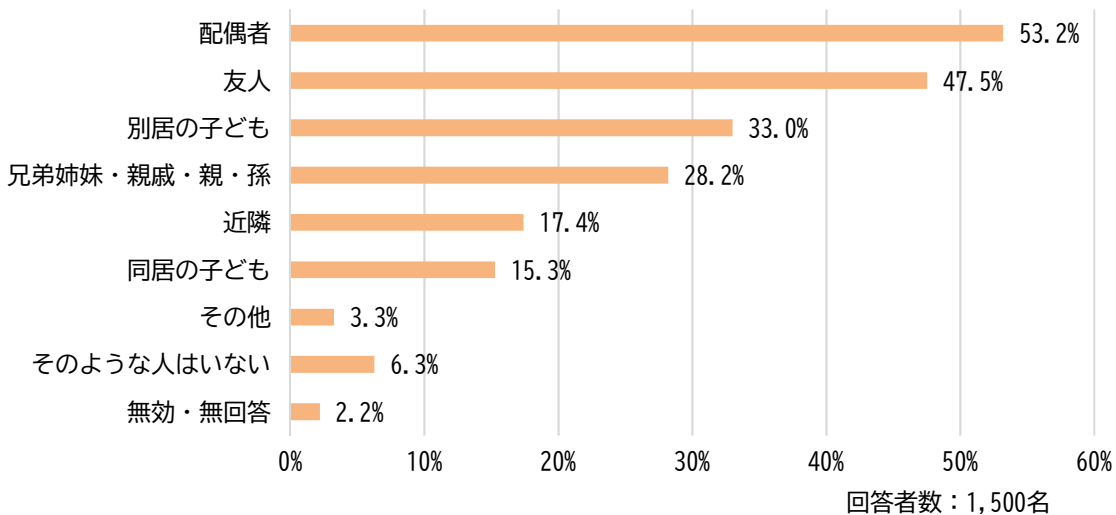
回答者数：1,500名

【問6】 たすけあいについて

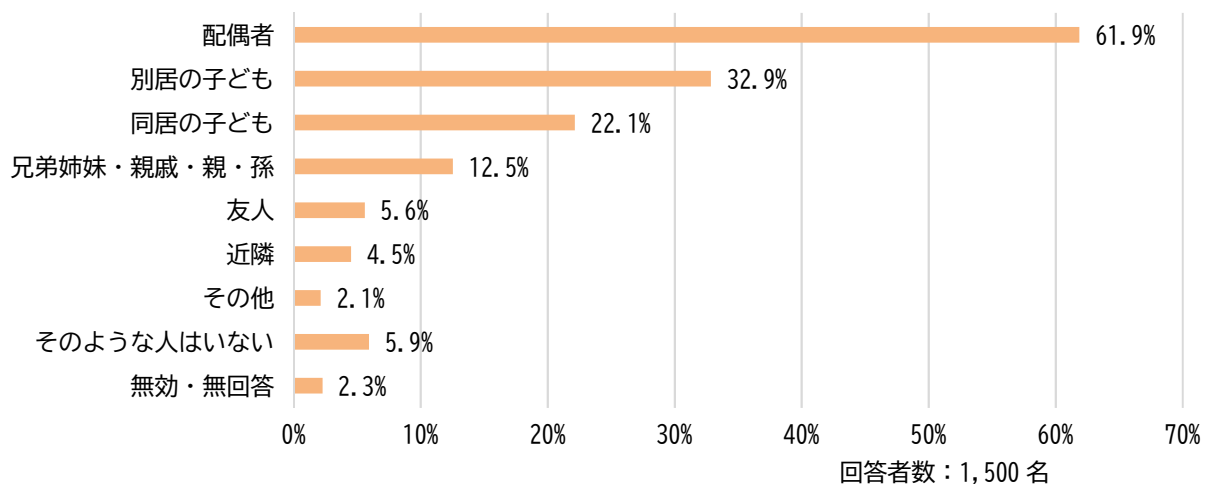
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



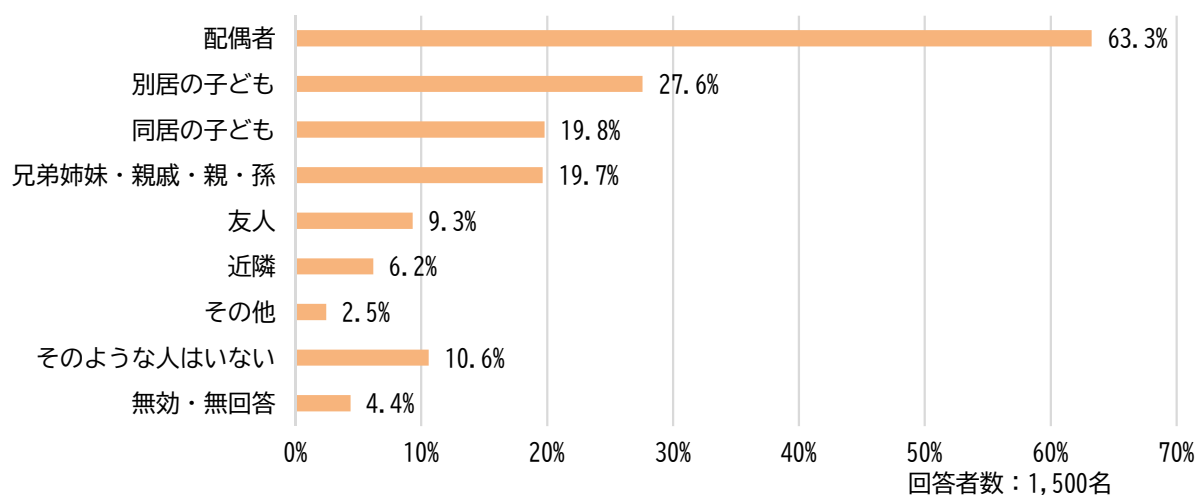
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）



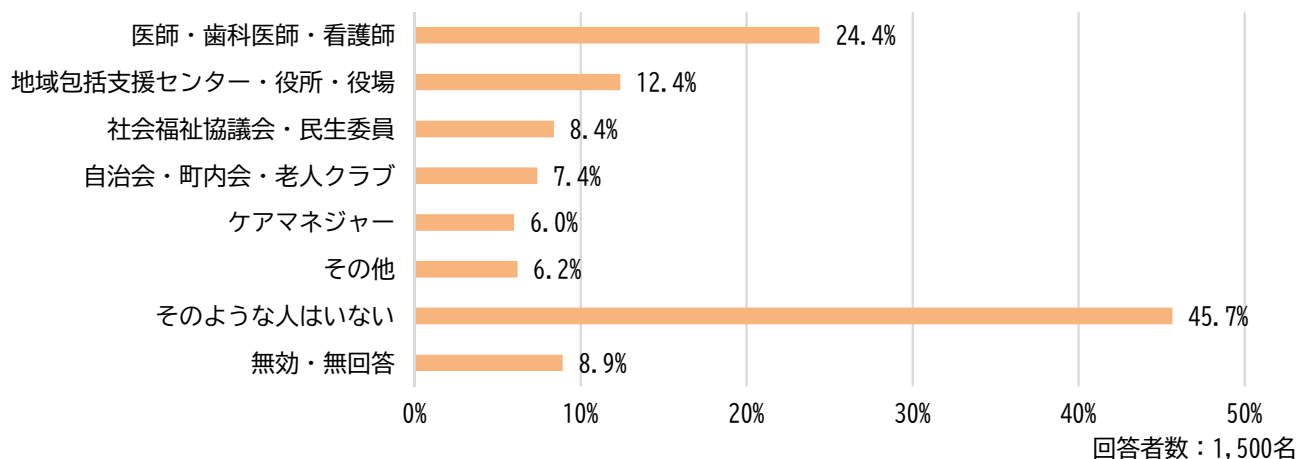
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



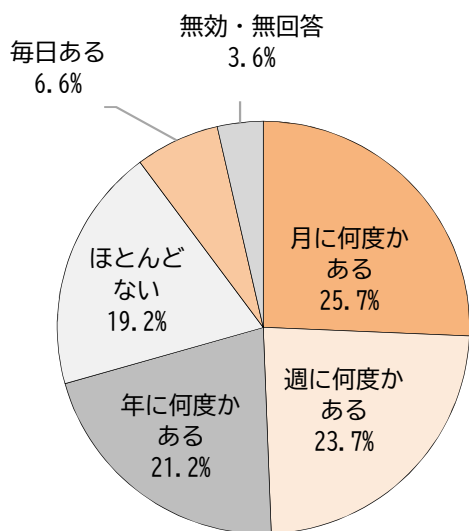
(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)



(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)

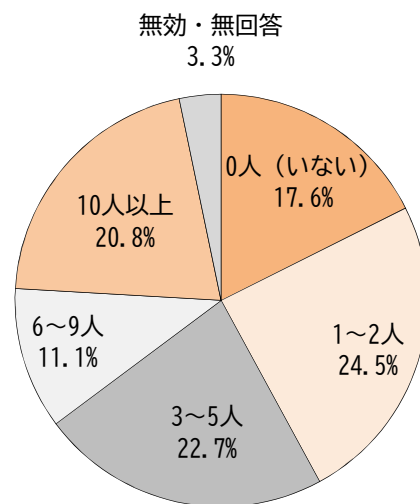


(6) 友人・知人と会う頻度は
どれくらいですか



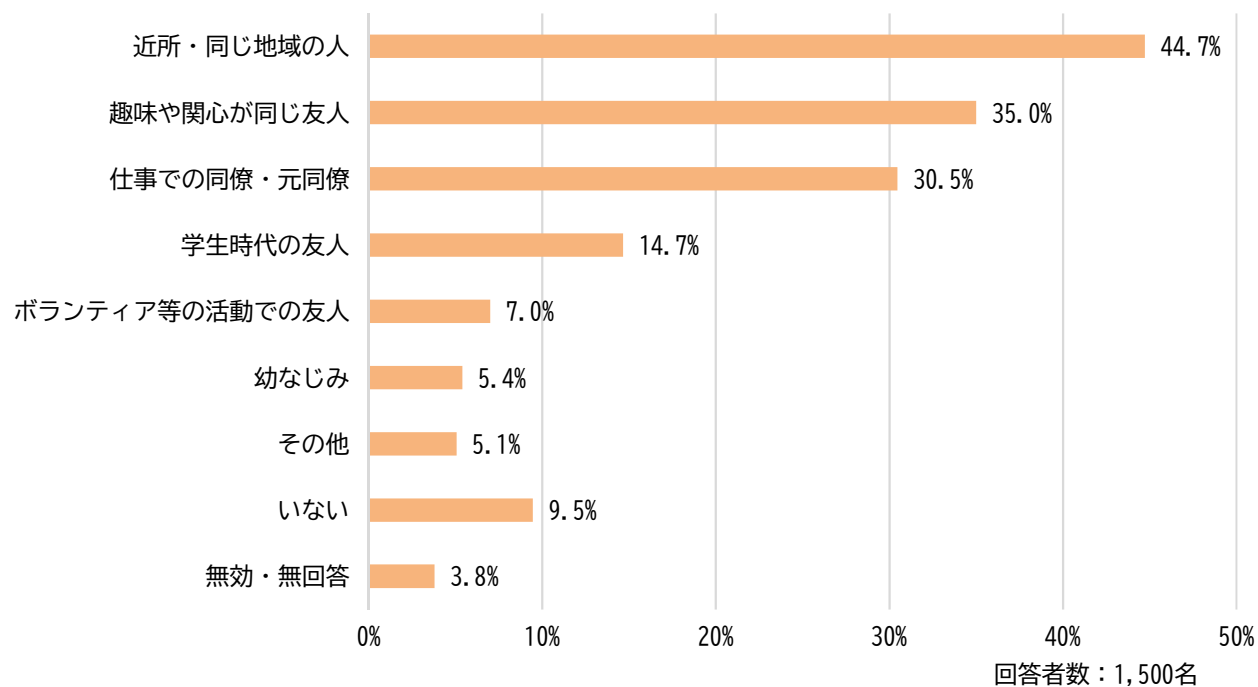
回答者数：1,500名

(7) この1か月間、何人の友人・知人と
会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数える
こととします



回答者数：1,500名

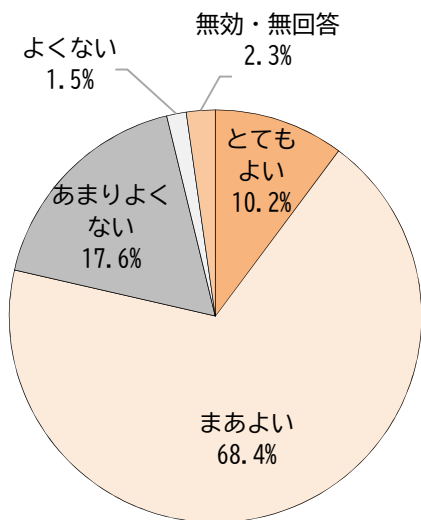
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)



回答者数：1,500名

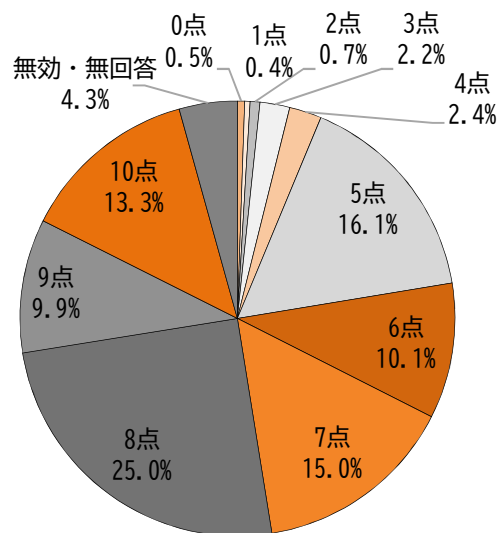
【問7】健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか



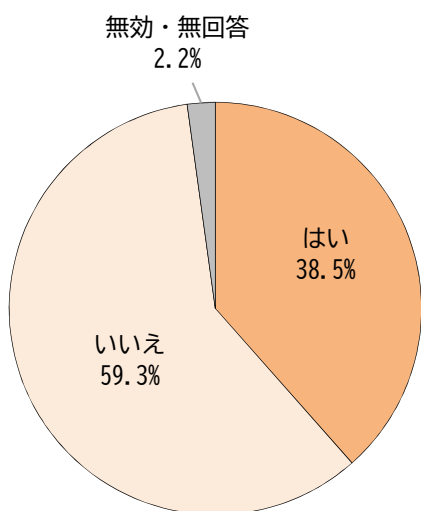
回答者数：1,500名

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)



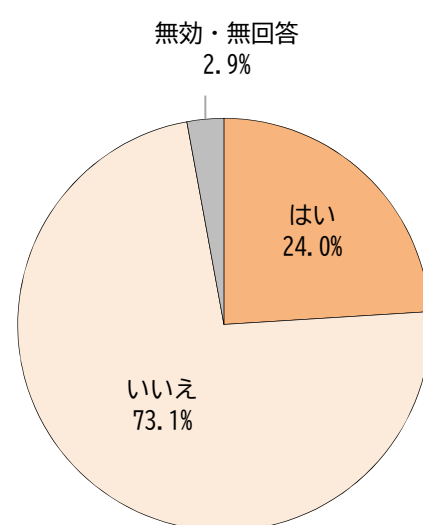
回答者数：1,500名

(3) この1か月間、気分が沈んだり、
ゆううつな気持ちになったりすることが
ありましたか



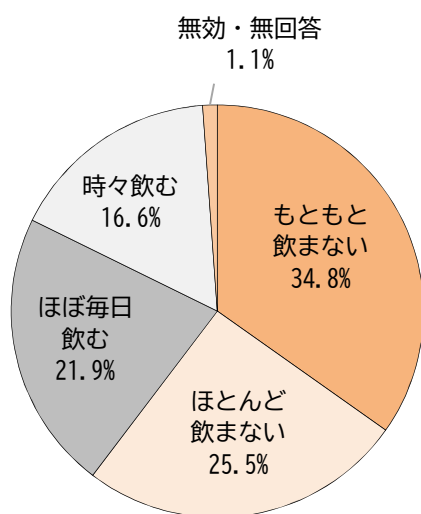
回答者数：1,500名

(4) この1か月間、どうしても物事に対して
興味がわかない、あるいは心から
楽しめない感じがよくありましたか



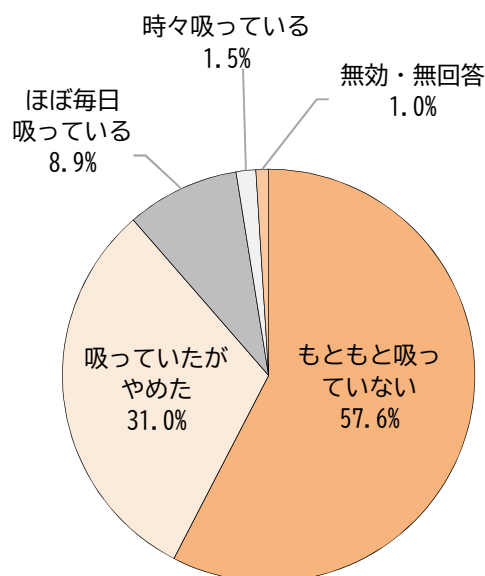
回答者数：1,500名

(5) お酒は飲みますか



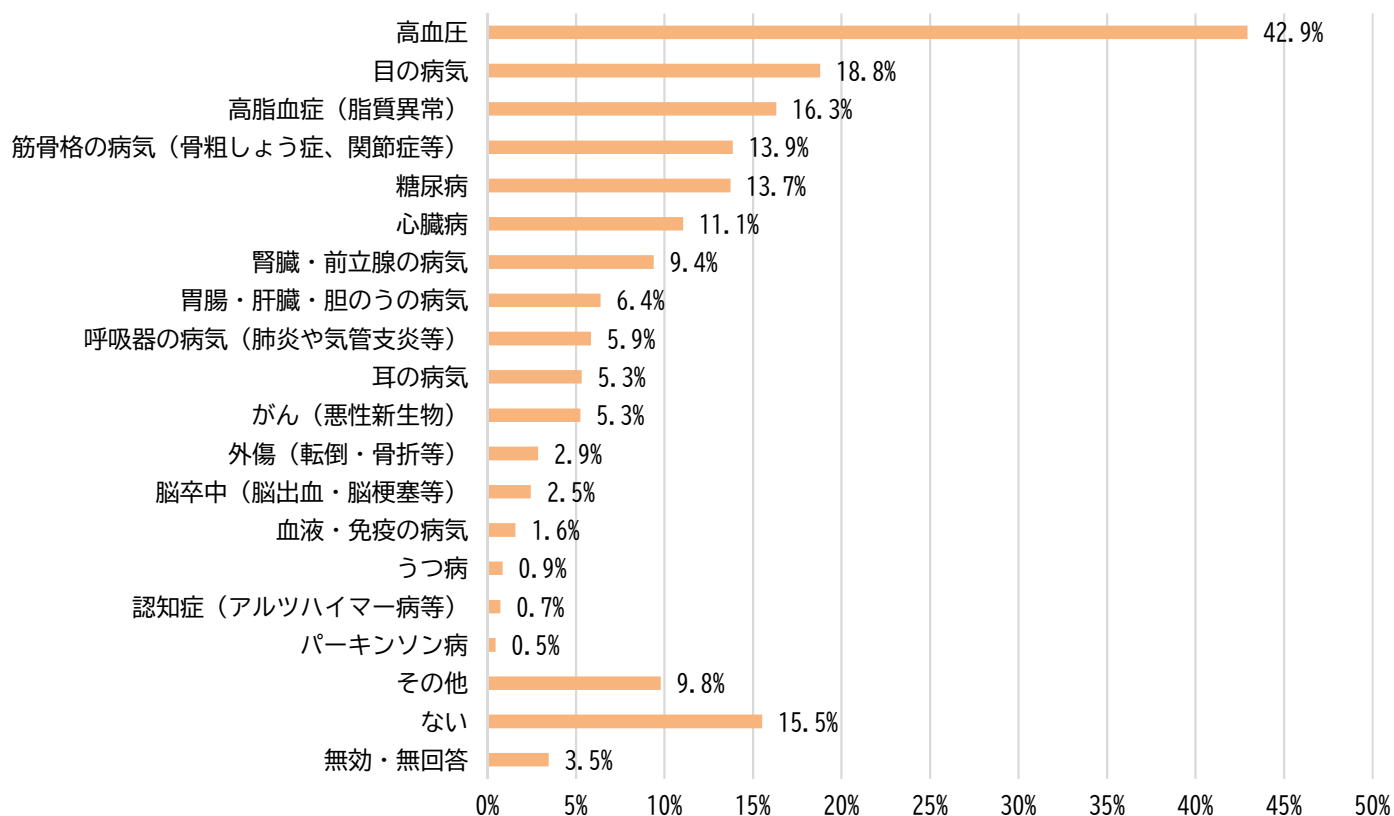
回答者数：1,500名

(6) タバコは吸っていますか



回答者数：1,500名

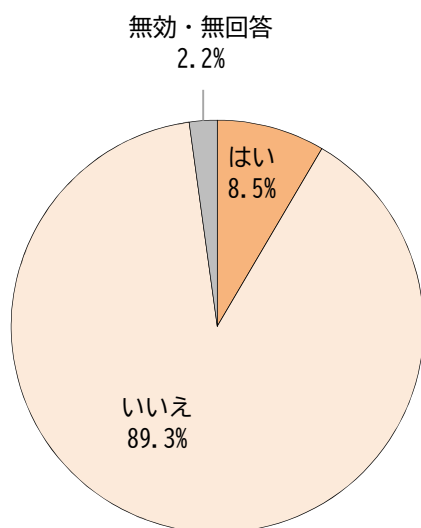
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)



回答者数：1,500名

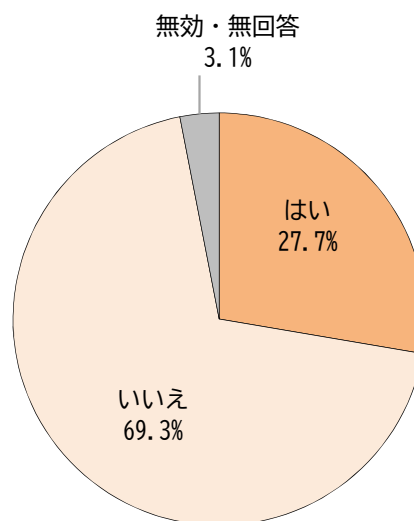
【問8】認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある、または家族に
認知症の症状がある人がいますか



回答者数：1,500名

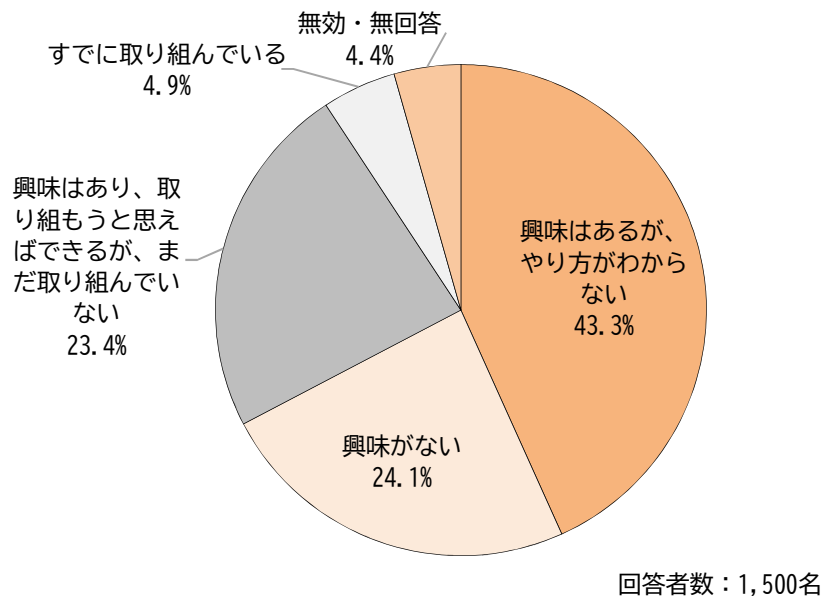
(2) 認知症に関する相談窓口を
知っていますか



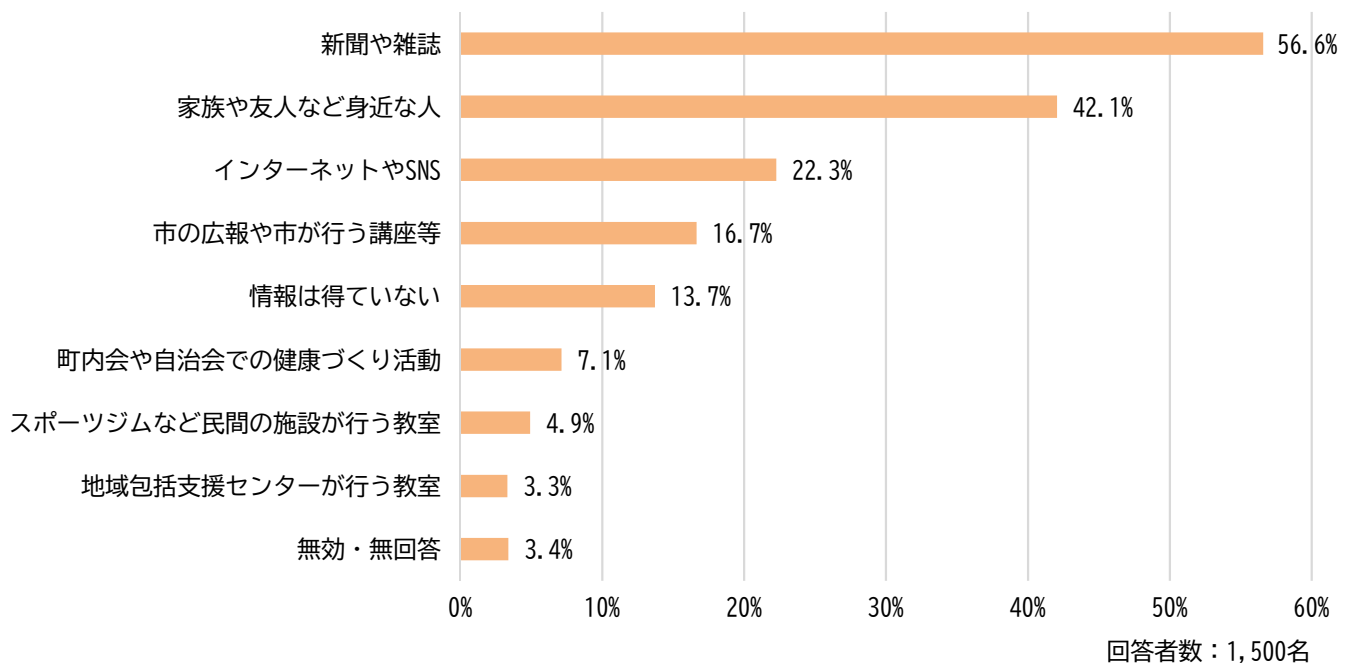
回答者数：1,500名

【問9】介護予防について

(1) インターネットやスマートフォンのアプリなどを使用した介護予防や健康づくりへの取り組みについてどのように考えますか (1つだけに○)

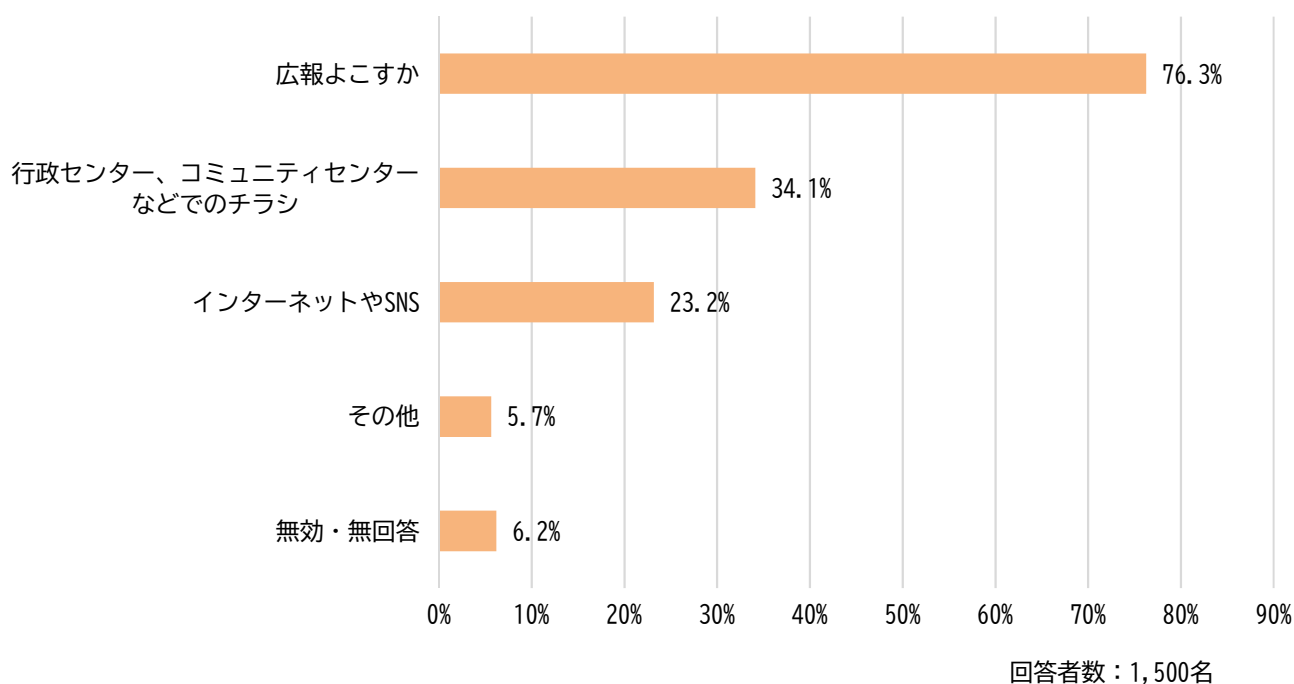


(2) 介護予防や健康づくりについて、テレビ・ラジオ以外でどのように情報を得ていますか (いくつでも)



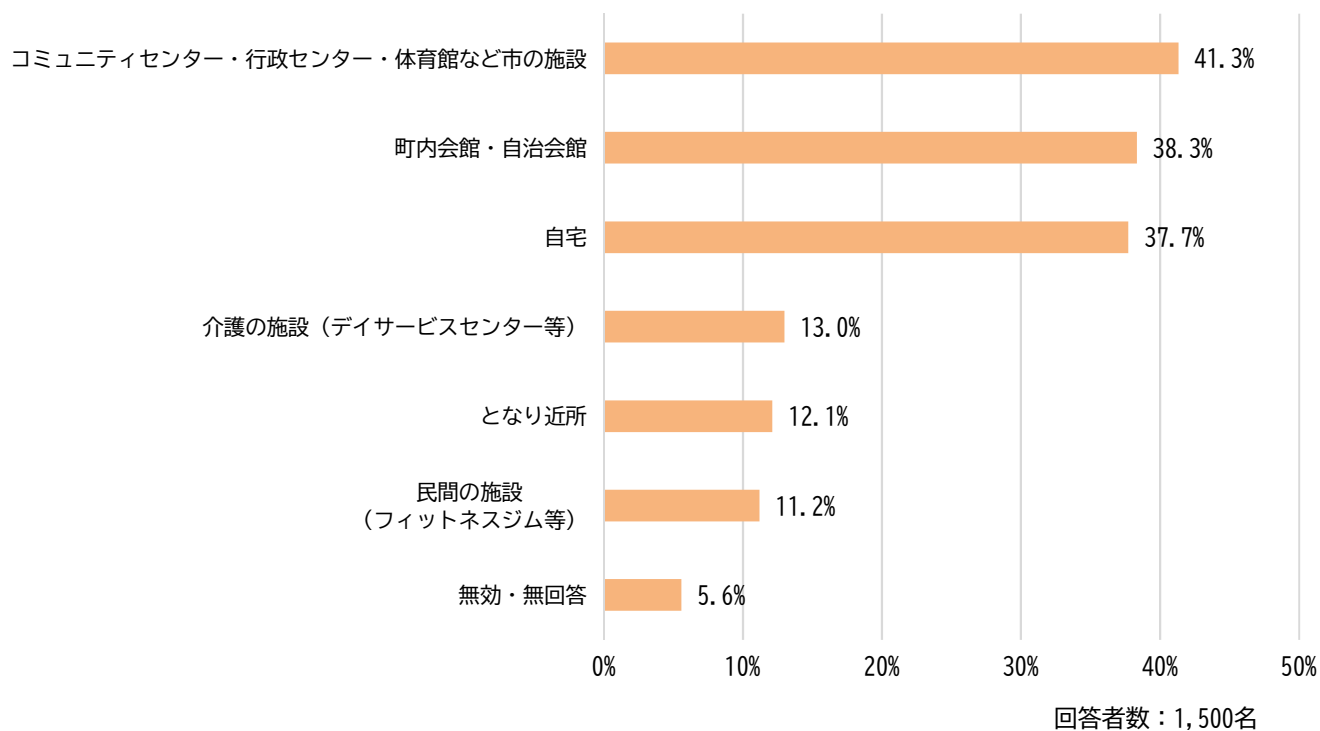
※SNS・・・ツイッターやフェイスブック、LINEなどのウェブサービスのこと

(3) 介護予防や健康づくりについて、情報を得るとしたらどの方法が良いですか（いくつでも）



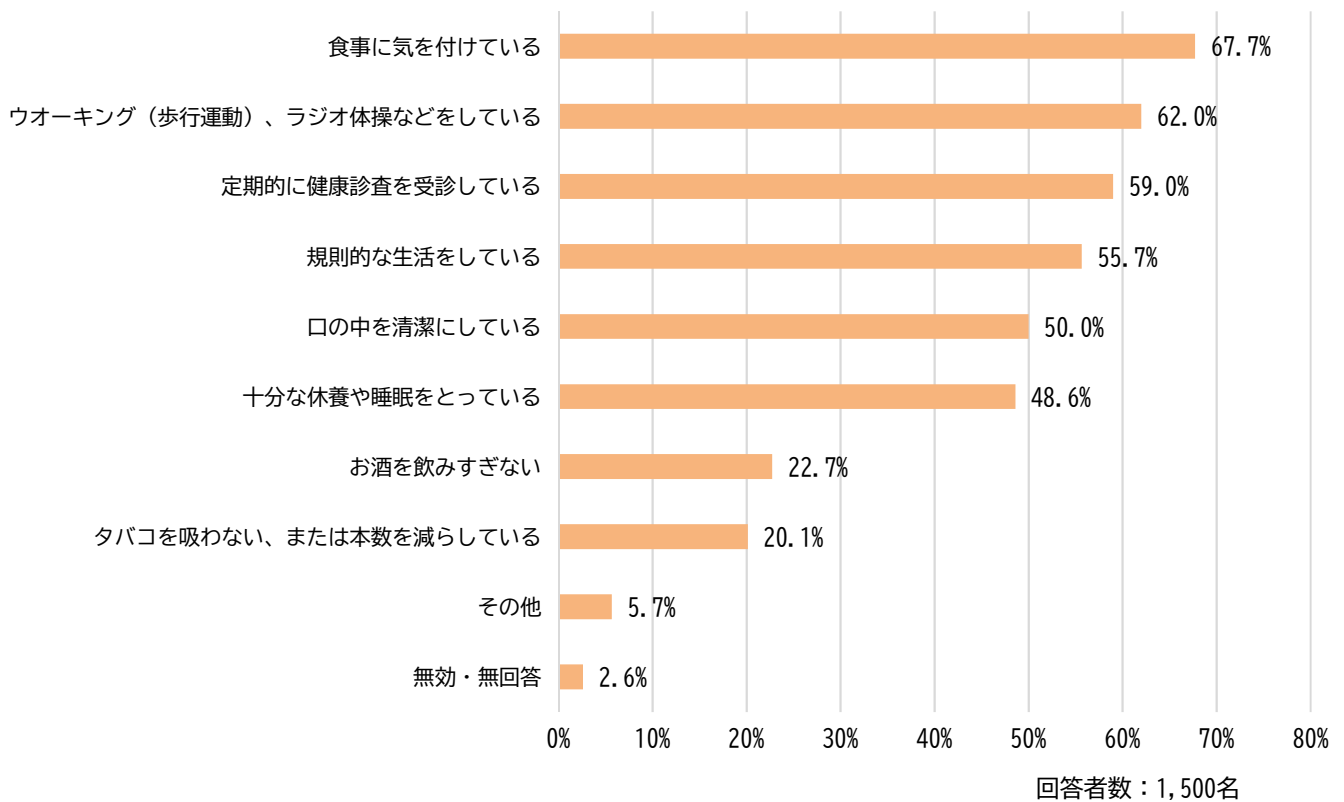
(4) 介護予防の取り組みをするとしたら、どのような場所で行いたいと思いますか（いくつでも）

※介護予防とは、健康な生活を長く続け、介護を受ける状態にならないようにすることを目的とした取り組みのことです

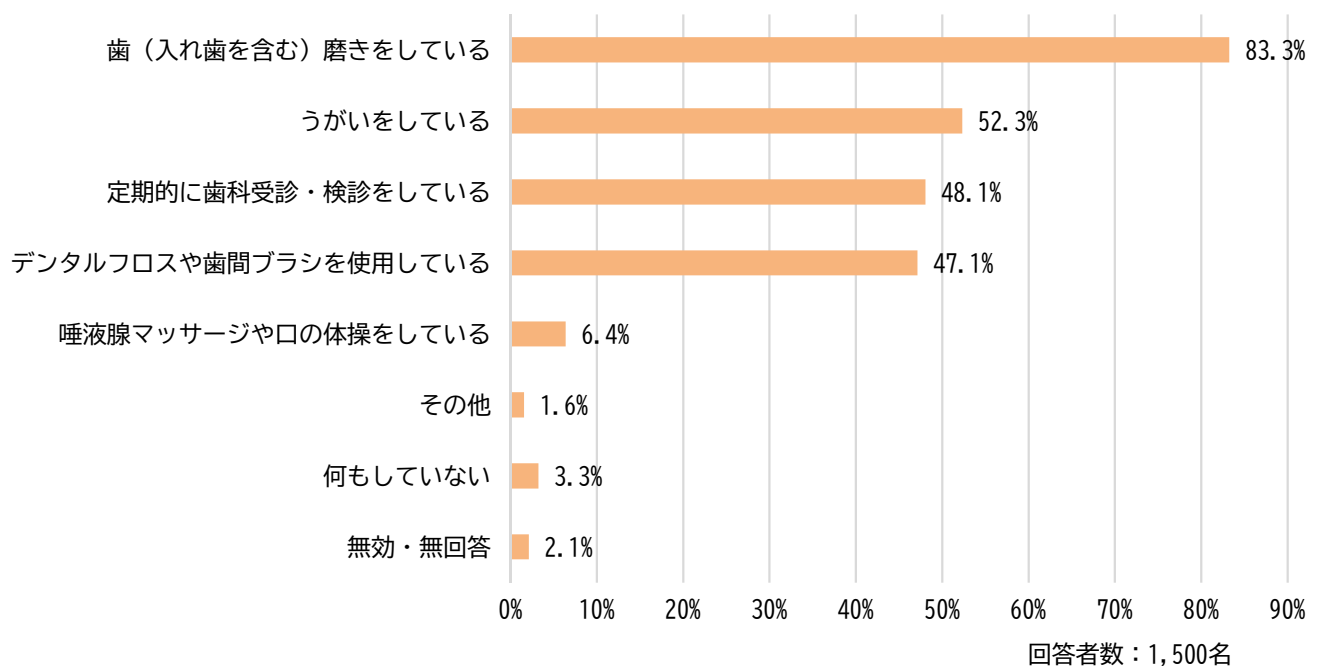


【問 10】健康維持への心掛けについて

(1) 健康を維持するためにどのようなことを心がけていますか (いくつでも)

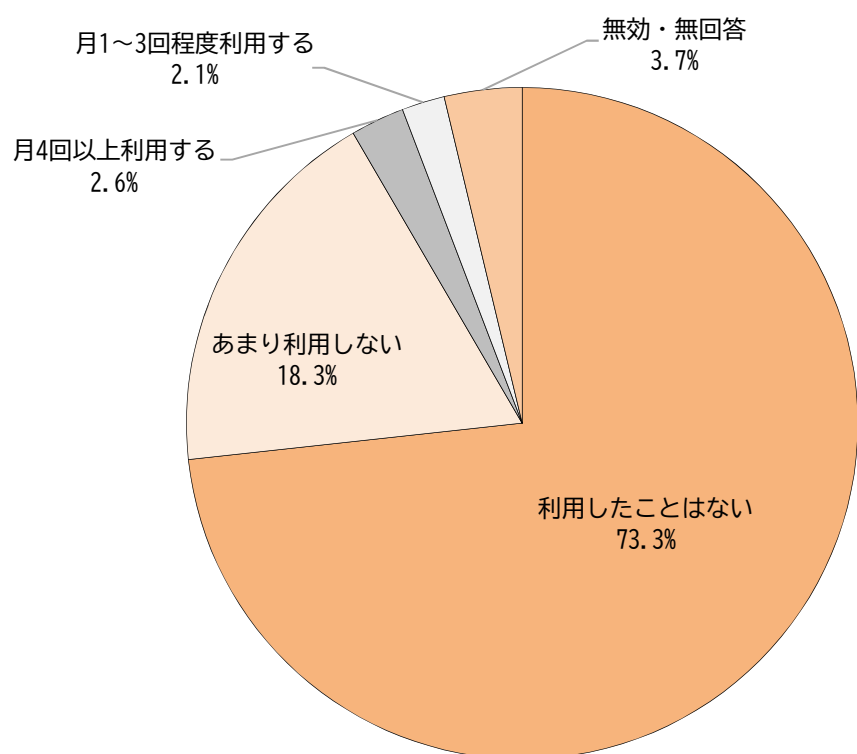


(2) 歯や口の健康を維持するためにどのようなことを心がけていますか (いくつでも)



【問 11】入浴について

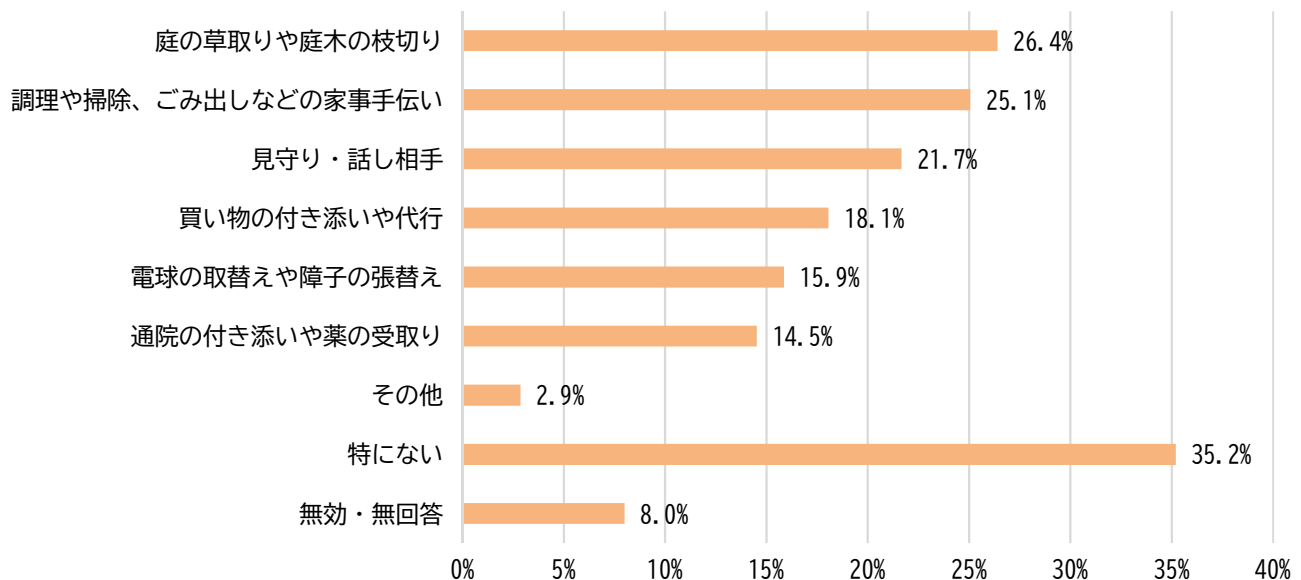
(1) 市内の銭湯を利用したことがありますか(1つだけに○)



回答者数：1,500名

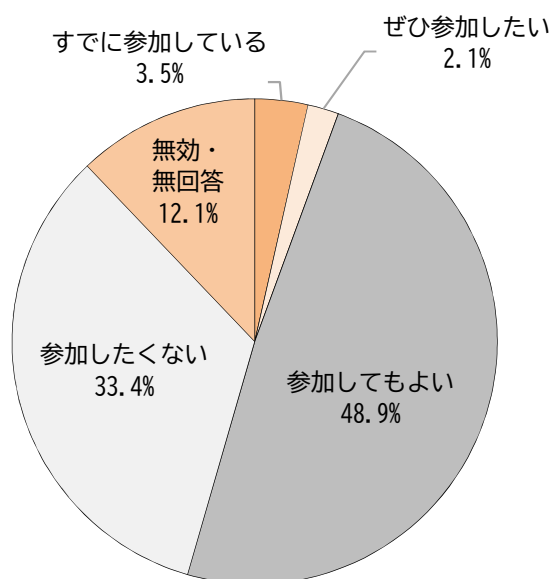
【問 12】地域の支え合いについて

(1) 今後、日常生活における小さな困りごとへの支援として、地域の支え合いで解決できたらいいと思う内容をお選びください（いくつでも）



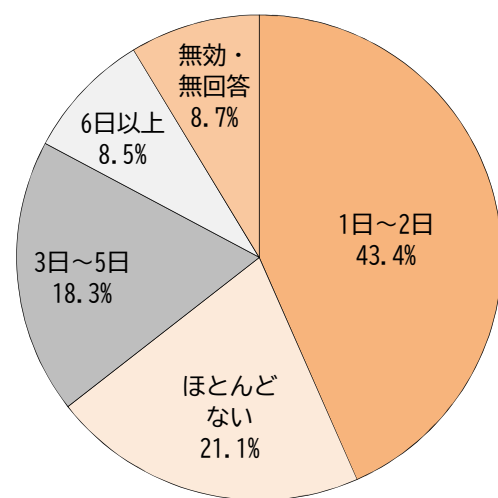
回答者数：1,500名

(2) 地域の支え合いとして、日常生活での小さな困りごとを支援する活動に手助けする側として参加してみたいと思いますか（1つだけに○）



回答者数：1,500名

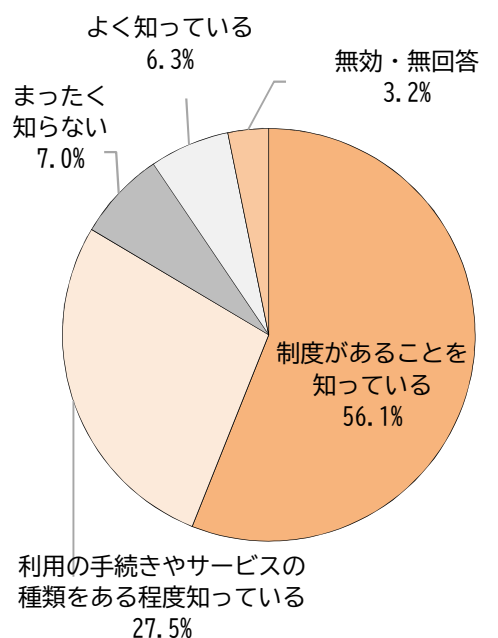
(3) 1週間のうち、趣味やボランティアなど自由に使える日は何日ありますか（1つだけに○）



回答者数：1,500名

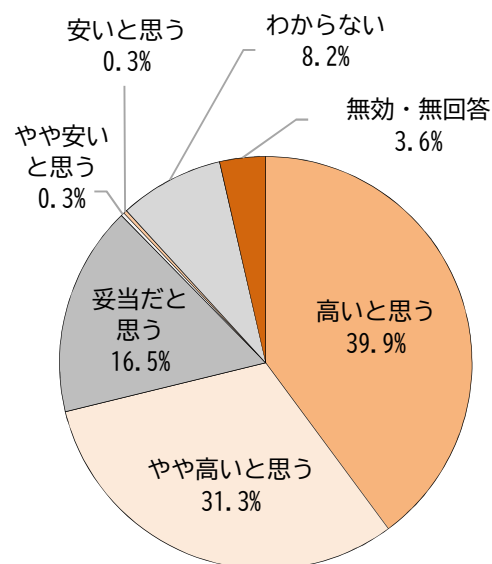
【問 13】介護保険について

(1) 介護保険制度についてどの程度
ご存知ですか (1 つだけに○)



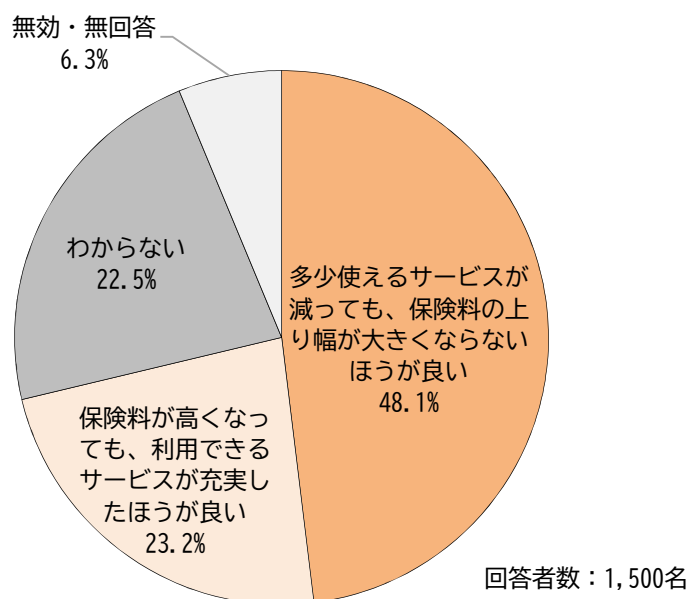
回答者数：1,500名

(2) 現在の暮らしの状況からみて、
今あなたが支払っている介護保険料の
金額をどう思いますか (1 つだけに○)



回答者数：1,500名

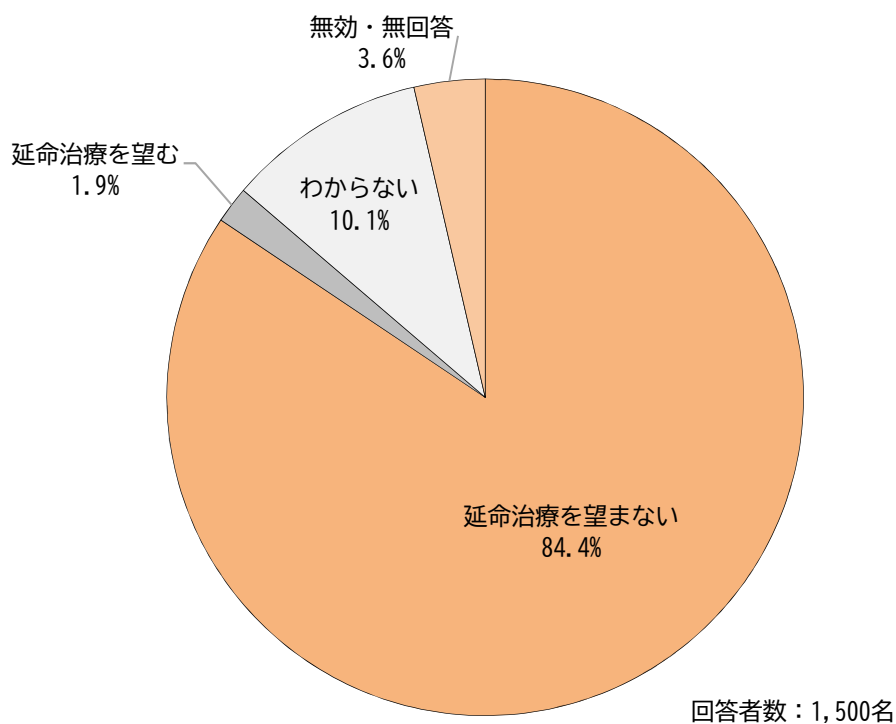
(3) 介護保険のサービスは、利用者が増加したり、利用できるサービスが充実したりすると、
保険料が高くなる仕組みとなっています (65 歳以上の方の場合)
今後の保険料とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものはどれですか
(1 つだけに○)



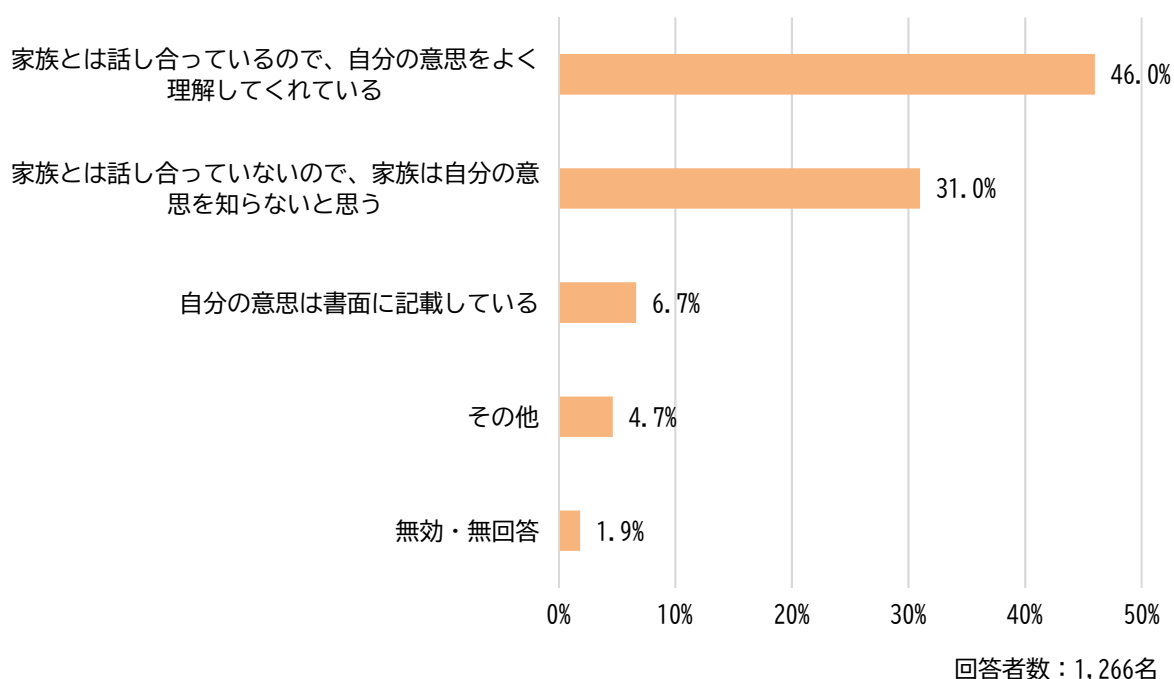
回答者数：1,500名

【問 14】 人生の最終段階における医療（終末期医療）と療養の場所について

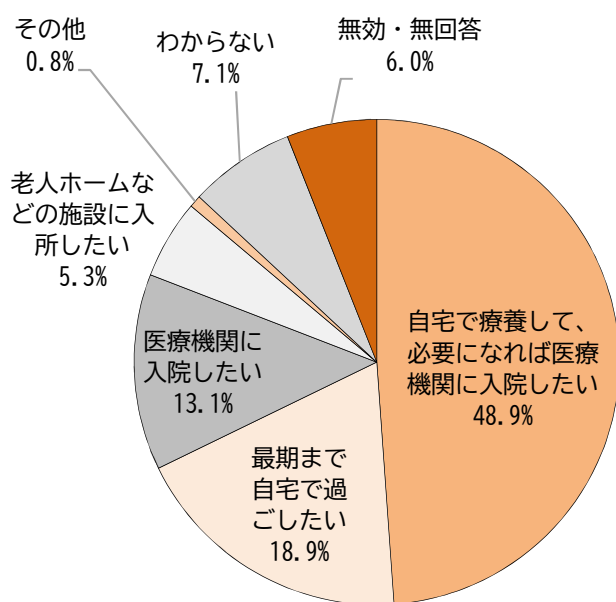
- (1) あなたが病気などで回復の見込みがなく、意思疎通もできなくなり、人生の最期を迎える時が来た場合、延命治療（心肺蘇生・人工呼吸・点滴による栄養補給など）を望みますか（1つだけに○）



- (2) ご家族は「延命治療を望まない」というあなたの意思を知っていますか（2つまでに○）
【(1)で「2.延命治療を望まない」と答えた方のみ】

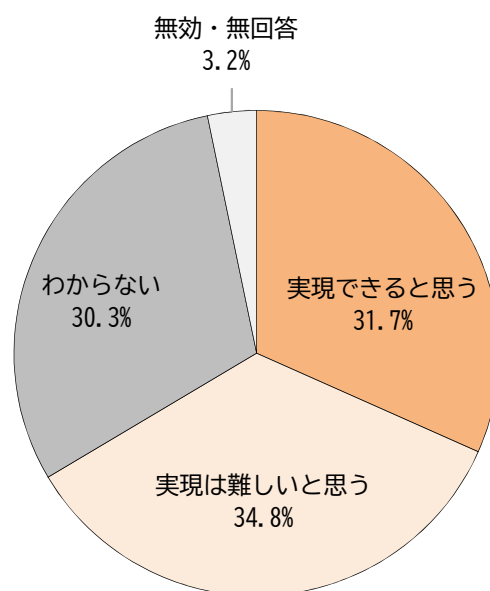


(3) あなたが病気などで回復の見込みがない
と診断された場合、最期を迎える時まで
の間はどこで過ごしたいと思いますか
(1つだけに○)



回答者数：1,500名

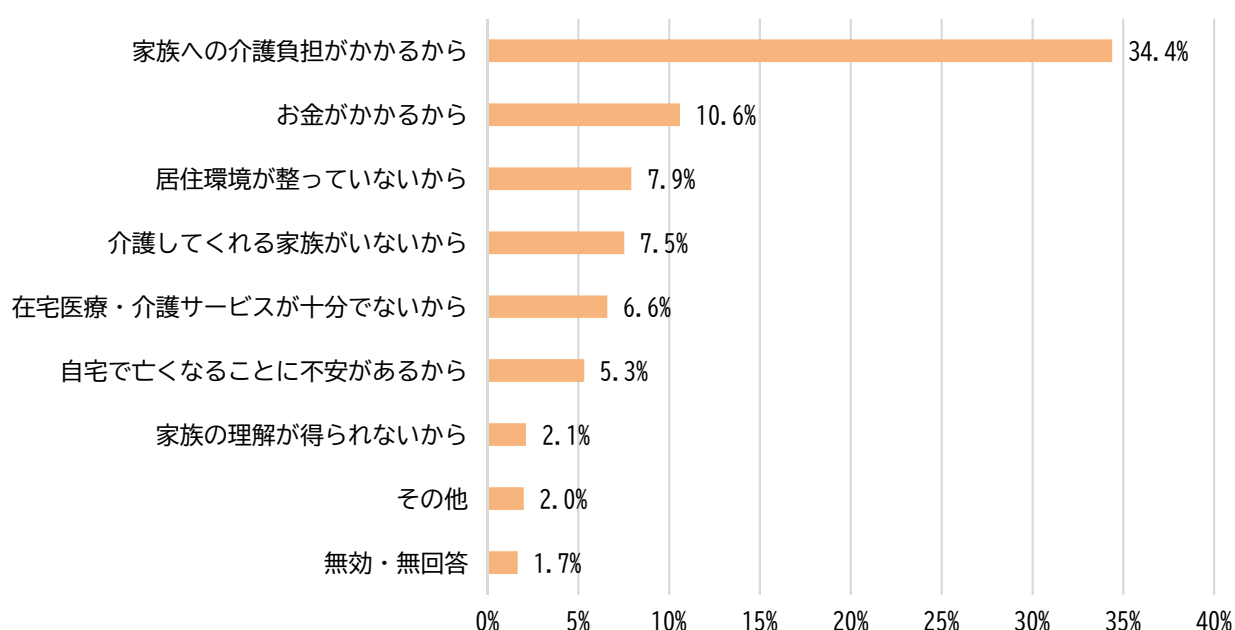
(4) それは実現できると思いますか
【(3)で「1.最期まで自宅で過ごしたい」
または「2.自宅療養して、必要になれば
医療機関に入院したい」と答えた方のみ】



回答者数：1,017名

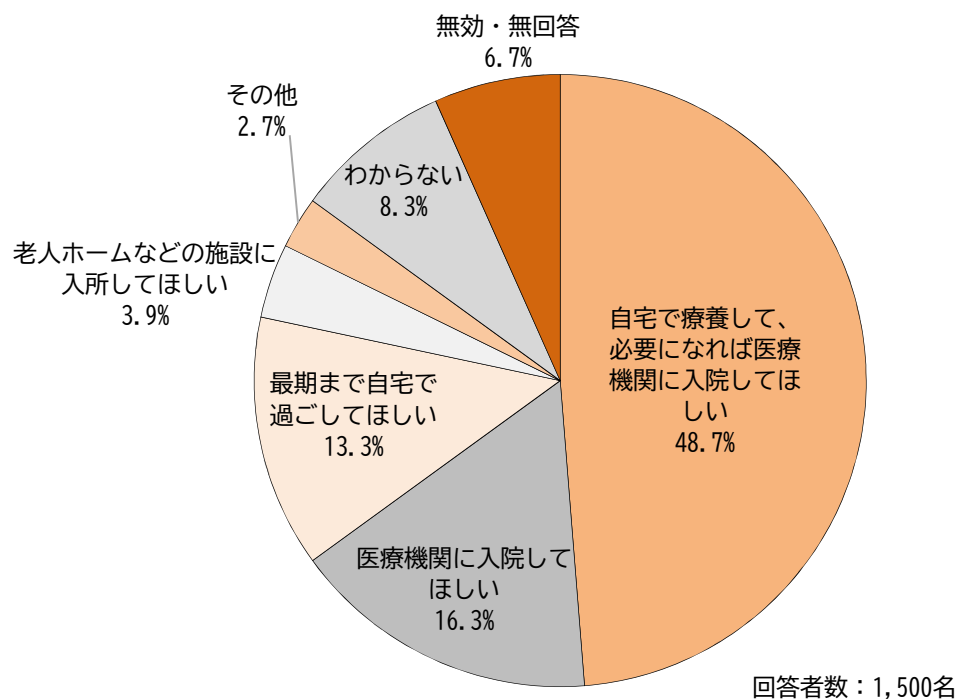
(5) その理由は何ですか (3つまでに○)

【(4)で「2.実現は難しいと思う」または「3.わからない」と答えた方のみ】

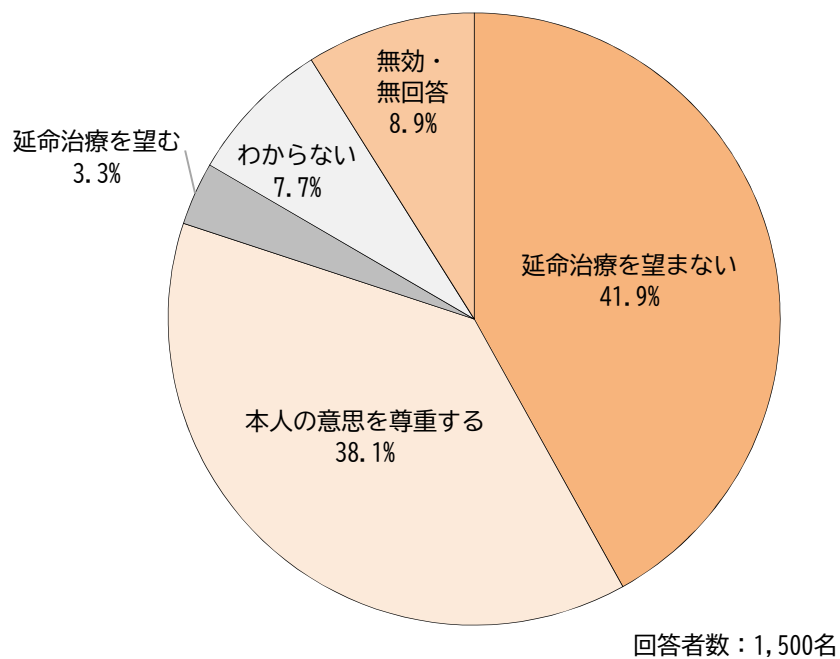


回答者数：662名

(6) あなたの家族が、病気などで回復の見込みがなく、人生の最期を迎える時が来た場合、
どこで最期を過ごしてほしいですか（1つだけに○）



(7) (6) のような状況の場合、家族への延命治療を望みますか（1つだけに○）



自由意見の集計（横須賀市の高齢者保健福祉施策・介護保険制度へのご意見やご要望）

回答者数：328 名

延べ件数：525 件（特になし等を除く）

ご記入いただいたご意見・ご要望は横須賀市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画を含む）の体系に沿って分類しています。

1 名が複数の意見を述べている場合があるため、件数の合計と回答数は一致しません。

項目	件数
生涯現役で生き生きと活動的に暮らせるために	46
生きがいづくり	13
健康づくり	33
地域で支え合い住み慣れたまちで暮らせるために	157
地域における支え合いの強化	23
日常生活や将来に不安を抱える方々への支援	119
適切な医療・介護体制等の整備	8
認知症施策の推進	7
自分に合った環境で安心して暮らせるために	14
高齢者の在宅生活と住まい方の支援	14
介護保険制度の安定的な運営	88
介護保険施設および介護保険事業所の整備計画	20
介護保険サービスの安定的な供給	51
介護給付適正化の推進	17
その他意見	220
今後の市政や市の職員について	50
アンケートについて	21
情報発信について	79
介護保険制度について	15
介護事業所等について	1
経験談	9
高齢者保健福祉計画外	21
その他	24

【生涯現役で生き生きと活動的に暮らせるために】

○生きがいづくり

<主な意見・要望>

- ・グループ活動ができる場所の減少・利用料の上昇に困っている
- ・近所に交流ができる場がほしい、作りたい
- ・交流の場づくりなどがしたい場合の相談窓口がわからない
- ・高齢者の趣味のクラブや講座を開設してほしい
- ・高齢者が能力や経験を活かし、生きがいを感じられる活動や施策がほしい
- ・町内会（老人会）に補助金を出してほしい
- ・図書館を増やしてほしい
- ・スマホ講習会を開いてほしい
- ・はつらつシニアパスの年齢条件が上がり、外出が減ってしまった
- ・趣味などを楽しみ、思うがままの人生を送ることが大切だ

○健康づくり

<主な意見・要望>

- ・若い時からの健康づくりを指導してほしい
- ・男性が参加できる介護予防の取り組みがほしい
- ・健康づくりや介護予防について広くアピールする必要がある
- ・健康について、高齢者自身も関心を持つ必要がある
- ・自身の健康づくりについて努力したい、している
- ・高齢者の健康づくりを支援してほしい
- ・高齢者の健康づくりのため、市営スポーツ施設の利用料を引き下げてほしい
- ・高齢者向けの運動施設が欲しい、公園に運動設備を設置してほしい
- ・コミセン等で介護予防の体操教室を開催してほしい
- ・民間の体操クラブに補助金を出してほしい
- ・自立生活の支援を充実させてほしい
- ・高齢者向けのマッサージのサービスが欲しい
- ・自分でできることは自分でやるべきだと思う
- ・施設に入所すれば良いと考えている人が多いのは問題だと思う

【地域で支え合い住み慣れたまちで暮らせるために】

○地域における支え合いの強化

<主な意見・要望>

- ・ 町内の交流が少ない
- ・ 世代間交流を希望する
- ・ 外出困難な一人暮らし高齢者への支援方法がわからない
- ・ 一人暮らし高齢者への支援が欲しい
- ・ 一人になったときに生活していけるか不安だ
- ・ 一人暮らし（または身内がいない）だと自宅で亡くなることは難しいと思う
- ・ 老々介護や一人暮らしでも安心して過ごせる制度とコミュニティを作してほしい
- ・ 地域の支え合いは大切な資源だと思う
- ・ 高齢化が進むので、介護保険制度をスリム化して地域の力を活用するほうが良い
- ・ 地域の支え合いに地域格差が大きいので、サポート体制を手厚くしてほしい
- ・ 地域の支え合いをポイント制にして気軽に使えるようにしてほしい
- ・ プール制による助け合いボランティア活動の導入を検討してほしい
- ・ 地域の支え合いは、家の中に入ったり生活を知りすぎたりしないほうが良い
- ・ 退職後はボランティアとして活動し、地域と支え合いたい
- ・ 高齢者の外出や交流支援を行う民間や NPO 法人への支援をしてほしい
- ・ 民生委員の仕事範囲を明確にしてほしい
- ・ 地域と交流しなくても夫婦の会話で満足している

○日常生活や将来に不安を抱える方々への支援

●日常生活や将来への不安・困難全般について

<主な意見・要望>

- ・ 将来に漠然とした不安がある
- ・ 将来に金銭的な不安がある
- ・ 老いへの不安がある
- ・ 老々介護なので大変だ、不安だ
- ・ 身寄りのない高齢者の日常的な困難がある
- ・ 認定を受けていない高齢者への定期的な訪問などがない
- ・ 日々の生活が大変であり、考える余裕はない

●日常生活における困りごとについて

<主な意見・要望>

- ・ 買い物に不便を感じている
- ・ 重いものやかさばるものの運搬を気軽に依頼できるようにしてほしい
- ・ 人や社会に迷惑をかけたくない

- ・ 家族に負担をかけたくない
- ・ 長生きはしたくない、何のために生きているのか考えるとつらい
- ・ 今の大変な状況を助けてほしい
- ・ 困ったときに介護保険で助けてほしい
- ・ 困ったときに安価（もしくは無料）で助けてほしい
- ・ 目に見えて寄り添ってほしい
- ・ 介護が必要になる前に家族の生き方あり方を考えるよう市民に呼び掛けてほしい
- ・ 年金暮らしの高齢者の生活を考えてほしい
- ・ 高齢者や低所得者が安心して過ごせる社会を作してほしい

●外出・移動について

<主な意見・要望>

- ・ 移動手段に不安がある
- ・ 通院のための移動に高い費用が掛かっている
- ・ 移動手段としてバスやタクシーの利用補助をしてほしい
- ・ 小型の巡回バスが欲しい

●介護者支援について

<主な意見・要望>

- ・ 困難を抱えながら介護をしている
- ・ 介護する側が息抜きするような時間も場所も友人もいない
- ・ 仕事を制限することなく在宅介護ができる環境整備をしてほしい

●相談窓口や手続きについて

<主な意見・要望>

- ・ 支援の求め方・情報の得方がわからない
- ・ 相談に乗ってくれる人が欲しい
- ・ 支援が必要になったときに話が聞ける窓口が欲しい
- ・ 医療を含めた福祉の総合相談窓口の周知をしてほしい
- ・ 高齢者の相談窓口を一本化してほしい
- ・ 諸手続きの書類の量や内容を見直し、簡素化してほしい
- ・ インターネットでできる手続きを充実させてほしい

●終活支援について

<主な意見・要望>

- ・ 自宅での看取りを希望する
- ・ 自宅で一人で亡くなるのは悪いことではないので、孤独死という言葉を使わないでほしい

- ・無理なく穏やかな最期を送りたい
- ・終末期医療についてこれからも考えていきたい
- ・終活登録をして気持ちが楽になった

●その他

<主な意見・要望>

- ・市の事業や施設の利用に心理的抵抗がある
- ・成年後見人制度に不満がある

○適切な医療・介護体制等の整備

<主な意見・要望>

- ・市のホームページで病院などを探せるようにしてほしい
- ・介護職員の処遇を改善してほしい
- ・介護職員の不足対策に元気なシニアが有効だと思う
- ・在宅医療を推進してほしい
- ・退院後元気になるまで自宅以外で過ごせるようにしてほしい

○認知症施策の推進

<主な意見・要望>

- ・認知症への恐れ
- ・潜在的な認知症患者は多いのではないか
- ・市の認知症への対応は不十分だと思う
- ・認知症に対応可能な病院（大病院以外）はほとんどないのではないか
- ・認知症の治療法等について情報提供してほしい

【自分に合った環境で安心して暮らせるために】

○高齢者の在宅生活と住まい方の支援

<主な意見・要望>

- ・介護度がないときでも入所できる有料老人ホームを案内・紹介してほしい
- ・施設に入所したい
- ・施設入所を迅速・容易にほしい
- ・特養と有料老人ホームの利用料に差が大きく不平等を感じる

【介護保険制度の安定的な運営】

○介護保険施設および介護保険事業所の整備計画

<主な意見・要望>

- ・ 安価な入所施設を作って（増やして）ほしい
- ・ 入所施設を作って（増やして）ほしい
- ・ 古い施設のリフォームや設備の充実をしてほしい
- ・ 施設の人員や教育が十分なのか疑問がある
- ・ 施設入所するために用意すべき金額を教えてください

○介護保険サービスの安定的な供給

<主な意見・要望>

- ・ 人手不足等で思い通りの介護保険サービスが受けられなかった
- ・ 横須賀市にはデイサービスが多すぎるのではないか
- ・ 介護保険料が高い
- ・ 介護保険料の大幅な値上げは避けてほしい
- ・ 高齢者が増えたので介護保険料の増額はやむを得ない
- ・ 介護サービスを使用している人としていない人で介護保険料に差をつけてほしい
- ・ 介護サービスを使用しなかったら保険料を返してほしい
- ・ 高齢者になっても介護保険料を払うのが不満だ
- ・ 値上げした介護保険料は介護に使ってほしい
- ・ 介護保険料は国民全員に支払わせてほしい
- ・ 介護保険料はしっかり払わせるべきだ
- ・ 自分が納める介護保険料で他者を支援できていることが嬉しい
- ・ 低所得者だけでなく、高所得者への配慮も大切である
- ・ 訪問介護の事業所を充実させてほしい
- ・ 介護事業所の人手不足や倒産、利用料増により介護サービスが使えなくなるのが心配

○介護給付適正化の推進

<主な意見・要望>

- ・ 介護認定の結果に不満がある
- ・ 一過性の症状で要介護認定を与えるべきではない
- ・ 不要な介護サービスを受けている人がいるので是正してほしい
- ・ 介護認定・サービスの利用までに時間がかかる
- ・ 介護事業所経営者ではなく介護が必要な人のための制度にしてほしい
- ・ デイサービスやヘルパーの利用時間が短縮され使いづらくなっている
- ・ デイサービスは、利用者の能力に応じて内容を変えるべきだ
- ・ デイサービスに行ってできることが増えると良い

- ・元気な人はデイサービスに行かず自分で頑張るべきだ
- ・介護や看護の現場の各種ハラスメントの根絶を目指してほしい
- ・介護や看護に携わる担当職員の倫理面と実技面の研修をしてほしい

【その他意見】

○今後の市政や市の職員について

<主な意見・要望>

- ・全国でも介護レベルが高い横須賀市を目指して、果敢な施策を企画・実践してほしい
- ・長期展望を含めた持続可能な計画を立ててほしい
- ・市の業務を地域に押し付けるような計画にしないでほしい
- ・細やかに実態を見ながら市政を進めてほしい
- ・安定した保健福祉制度を目指してほしい
- ・元気な高齢者への理解を求める
- ・介護サービスの向上を希望する
- ・不安な毎日を過ごしていることを考えてほしい
- ・市政に対する不信感がある
- ・横須賀市の高齢者福祉施策は十分ではない
- ・「誰も一人にさせない」の意味がわからない
- ・高齢者以外の施策に力を入れていることが不満だ
- ・仕事に対する意識の低い市職員がいる
- ・少子高齢化による介護問題の深刻化が心配だ
- ・介護保険を利用した喜びの声
- ・行政への感謝の声

○アンケートについて

<主な意見・要望>

- ・アンケートの番号の振り方などをもっとわかりやすくしてほしい
- ・アンケートの質問が不愉快だった
- ・アンケートに当てはまらない案件があった
- ・回答に迷うところが多かった
- ・数年後は異なる回答になると思う
- ・アンケートへの肯定的見方（考えるきっかけになったなど）
- ・調査結果を広報よこすかに載せてほしい・郵送してほしい

○情報発信について

<主な意見・要望>

- ・高齢者福祉、介護保険制度についてよく知らない
- ・介護サービスの使い方がわからない
- ・高齢者施策・介護保険制度・終末期医療等についてこれから勉強したい
- ・高齢者福祉、介護保険制度について説明会や教室等で理解しやすく周知してほしい
- ・文書ではなく、写真など顔の見える情報提供をしてほしい
- ・LINE での情報発信を今度も充実させてほしい
- ・介護サービスについて市のホームページに分かりやすく記載してほしい
- ・市の事業について積極的に広報してほしい
- ・インターネットはわからない・使えないため、広報よこすか等紙媒体で情報を取得したい
- ・インターネットを使えない人が不利になることが多い
- ・カタカナ用語を使わないでほしい

○介護保険制度について

<主な意見・要望>

- ・介護サービスを充実させてほしい
- ・介護サービスをもっと柔軟に受けられるようにしてほしい
- ・介護度によって受けられるサービスが違うのが不満だ
- ・介護サービスの利用料が高い・収入に応じた利用料にしてほしい
- ・介護サービスを利用していない人もいるので、利用者負担を増やすべきである
- ・若者に負担をかけないため、利用者負担を増やすべきだ
- ・介護サービスを使わず健康に気を使っている人には何かご褒美がほしい
- ・保険料を払っているのだから、家族が介護するという原則はおかしいと思う
- ・家族が世話できなくても介護サービスで在宅生活を送れるようにしてほしい
- ・介護保険制度がどんどん使いづらくなっているように思う

○介護事業所等について

<主な意見・要望>

- ・有料老人ホームへの不満

○経験談

- ・在宅での看取りの例
- ・身寄りのない高齢者の介護例
- ・自分の店での高齢者の交流の例
- ・自身の健康づくりの例

横須賀市介護保険に関するアンケート調査結果

(在宅介護実態調査を含む)

- アンケート結果の各グラフには、その設問の回答対象者の数を「回答者数」として表してあります。
- 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 回答者について

対象者： 在宅※で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、
更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受けた方 3,000人
抽出時点： 令和4年11月1日
実施期間： 令和4年11月16日～12月16日
回答者数： 1,495人(回収率 49.8%)

※「在宅」の定義については、以下の通りです。

■ 以下を除いた方を「在宅」と定義します。

(以下の方は調査の対象者ではありません)

○ 医療機関に入院している人

○ 以下の施設等に入所または入居している人

・ 特別養護老人ホーム

・ 老人保健施設

・ 介護療養型医療施設

・ 介護医療院

・ 特定施設(地域密着型を含む)

・ グループホーム

(厚生労働省「在宅介護実態調査 実施のための手引き」より)

(1) 記入した方(複数回答可)

区分	調査対象者 本人	主な介護者とな っている 家族・親族	主な介護者以外 の家族・親族	その他	無効・無回答
回答者数	599	681	39	20	268
構成比	40.1%	45.6%	2.6%	1.3%	17.9%

(2) アンケート対象者の性別

区分	男性	女性
回答者数	507	988
構成比	33.9%	66.1%

(3) アンケート対象者の年齢

区分	第2号 被保険者	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94 歳	95 歳 以上
回答者数	43	35	135	197	340	400	266	79
構成比	2.9%	2.3%	9.0%	13.2%	22.7%	26.8%	17.8%	5.3%

(4) お住まいの地区（日常生活圏域別）

区分	追浜	田浦	逸見	本庁	衣笠	大津	浦賀	久里浜	北下 浦	西
回答者数	125	71	38	229	223	158	181	200	107	163
構成比	8.4%	4.7%	2.5%	15.3%	14.9%	10.6%	12.1%	13.4%	7.2%	10.9%

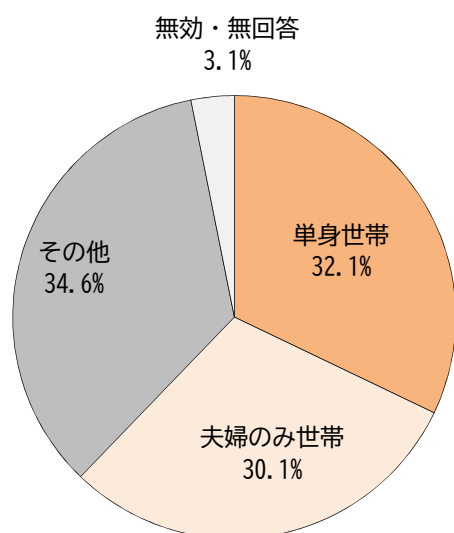
(5) 要介護度

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
回答者数	193	226	478	327	134	92	45
構成比	12.9%	15.1%	32.0%	21.9%	9.0%	6.2%	3.0%

2 アンケート結果

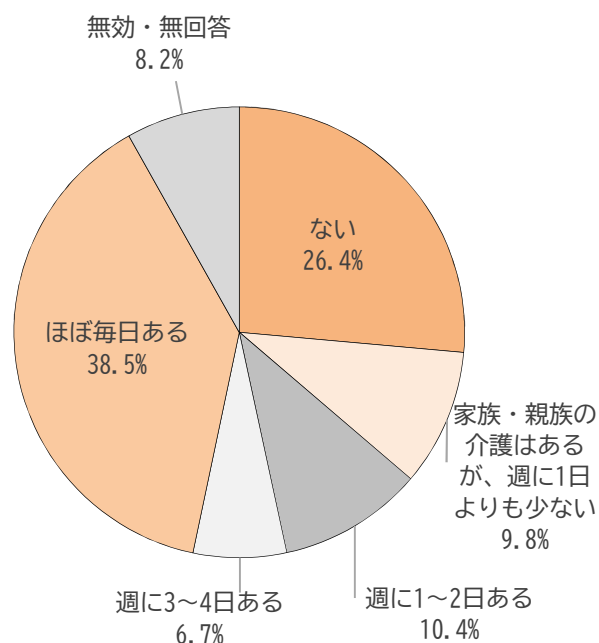
問1 から問19 は、厚生労働省が考案した「在宅介護実態調査」です。

【問1】 世帯類型について、ご回答ください
(1つを選択)



回答者数：1,495名

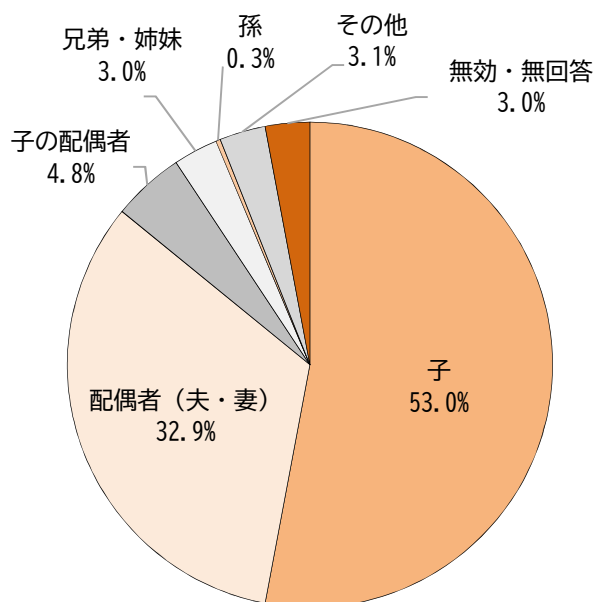
【問2】 ご家族やご親族の方からの介護は、
週にどのくらいありますか（同居し
ていない子どもや親族等からの介護
を含む）（1つを選択）



回答者数：1,495名

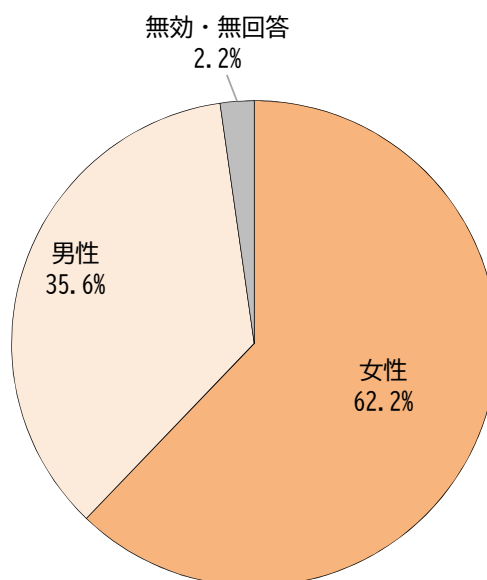
問3から問7は、問2で家族や親族からの介護があると回答した方にお伺いします。

【問3】 主な介護者の方は、どなたですか
(1つを選択)



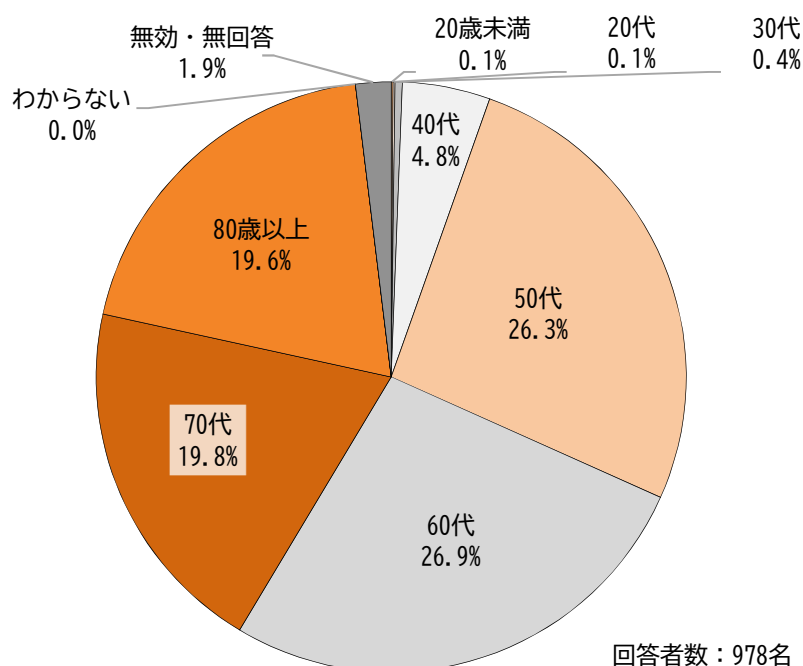
回答者数：978名

【問4】 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)



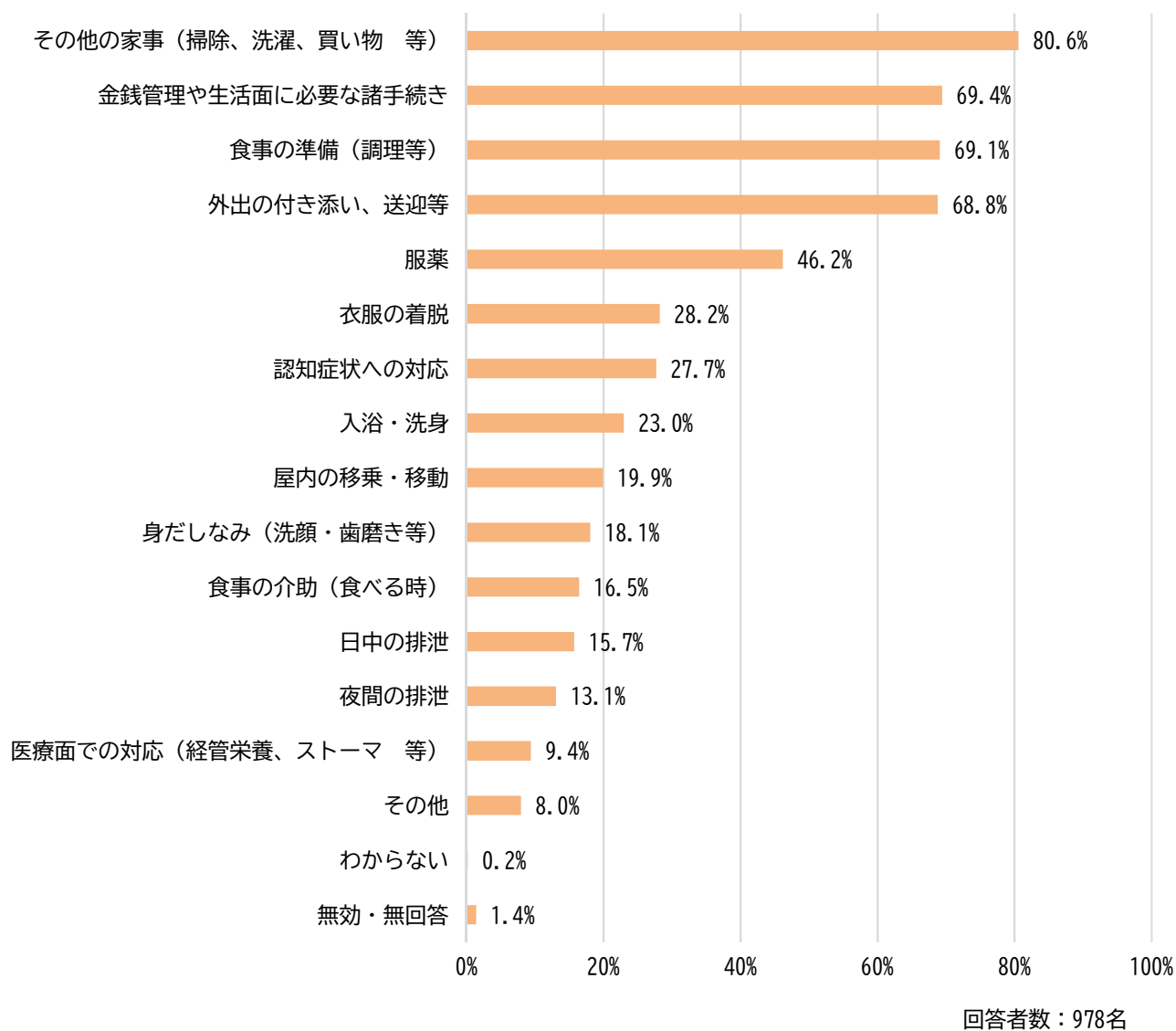
回答者数：978名

【問5】 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

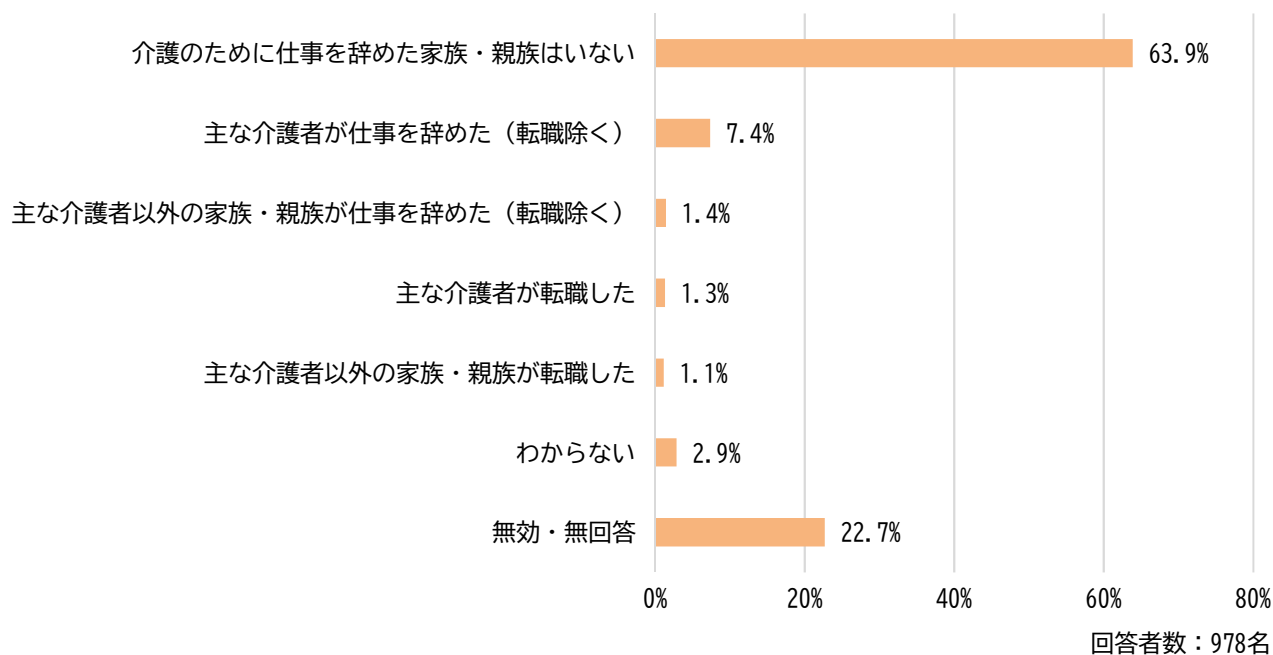


回答者数：978名

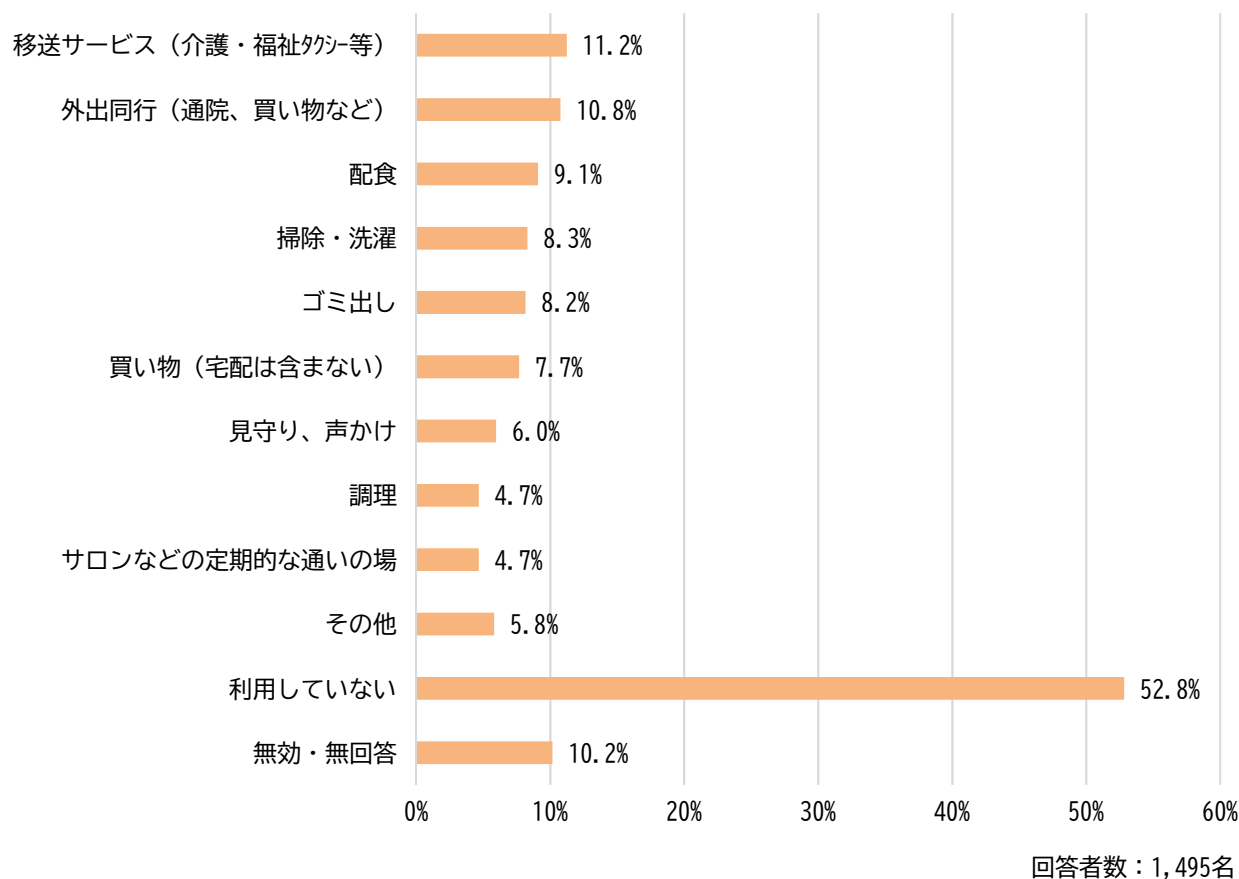
【問6】 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



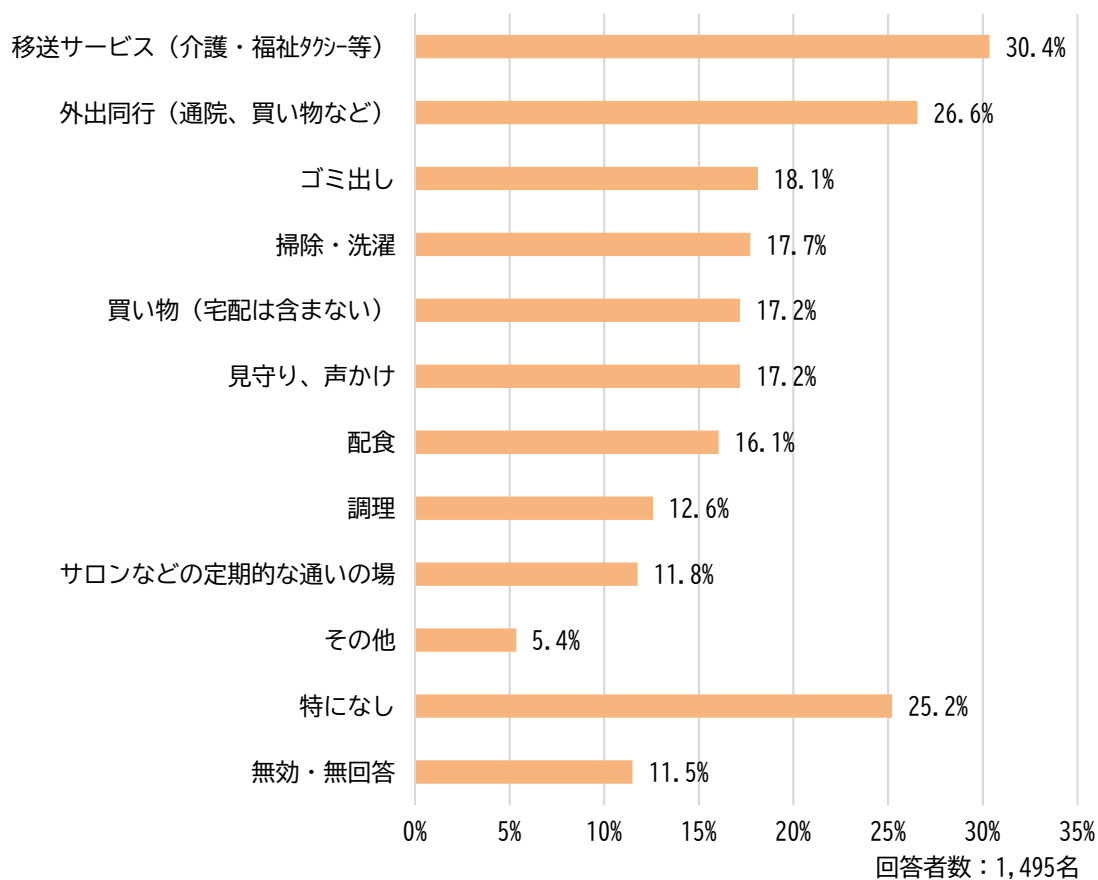
【問7】 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）
※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます



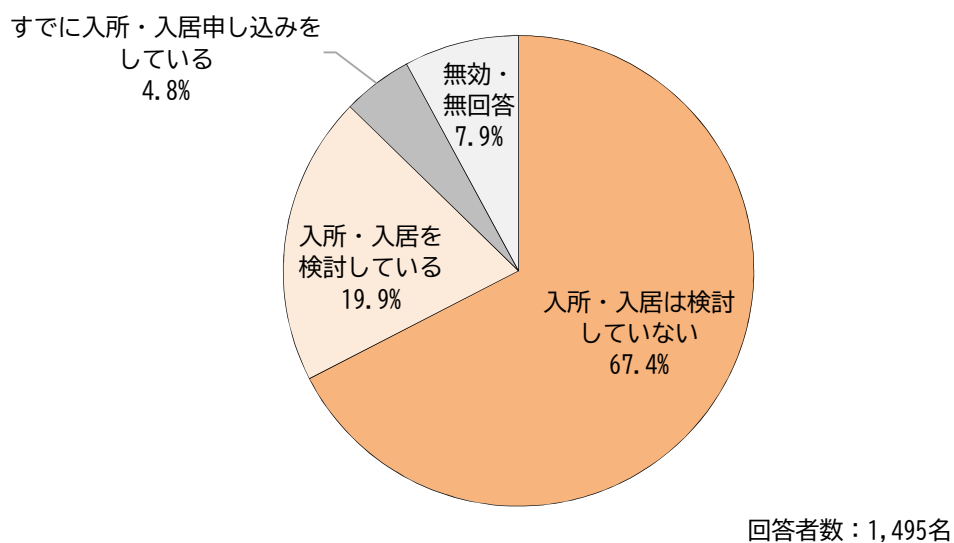
【問8】 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます



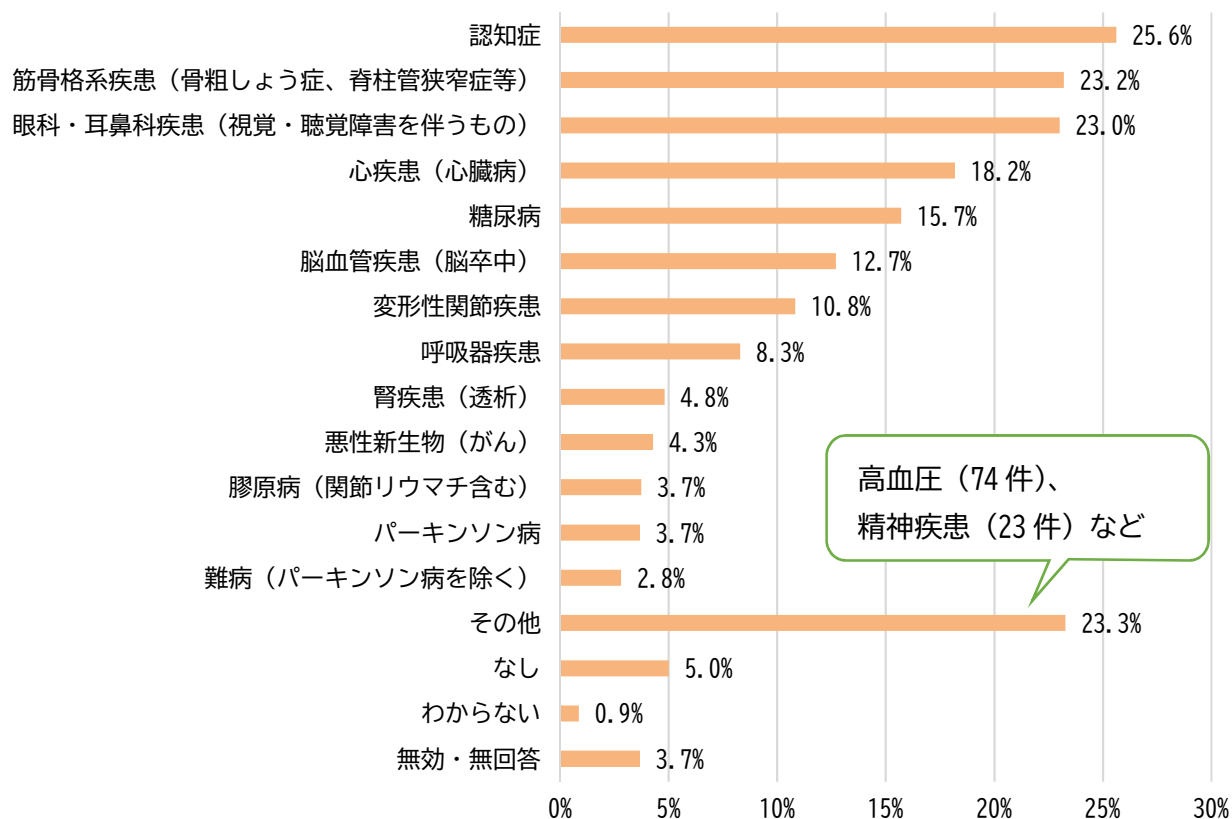
【問9】 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます



【問10】 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム、養護老人ホーム等）、グループホームを指します

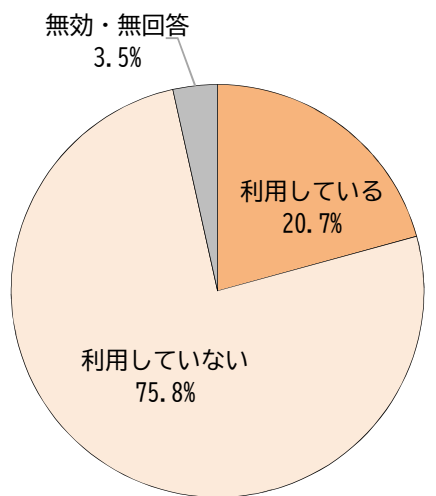


【問11】 ご本人が、現在抱えている傷病についてご回答ください（複数選択可）



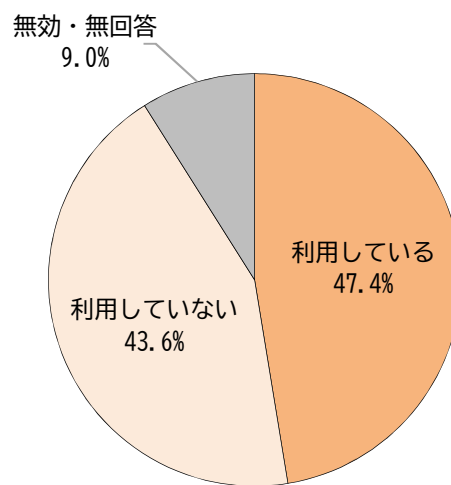
回答者数：1,495名

【問12】 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません



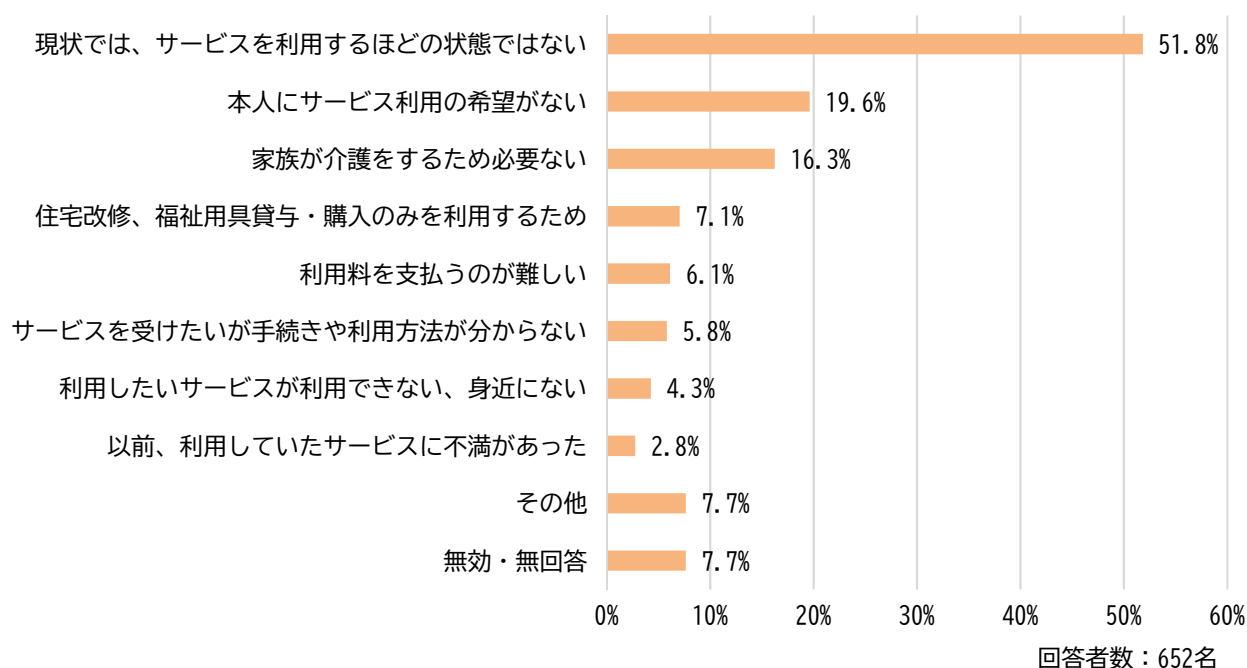
回答者数：1,494名

【問13】 現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）



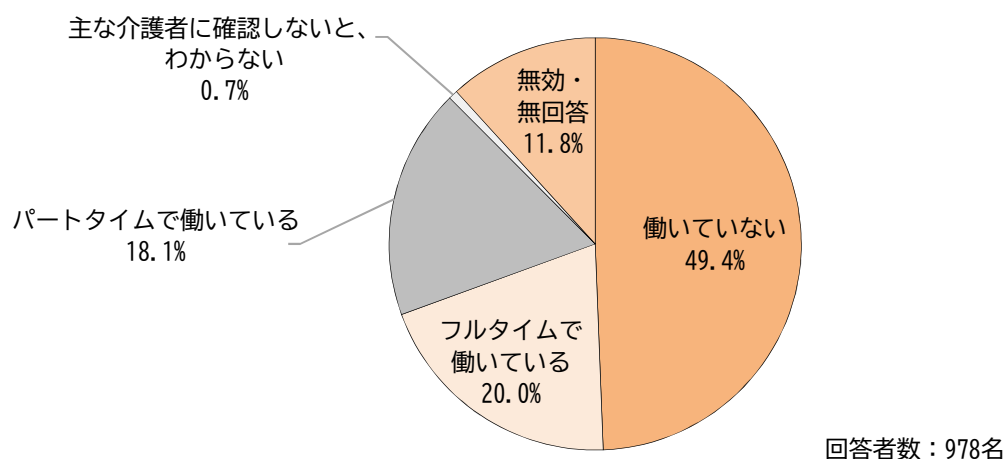
回答者数：1,495名

【問14】 問 13 で現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを「利用していない」と回答した方にお伺いします
 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

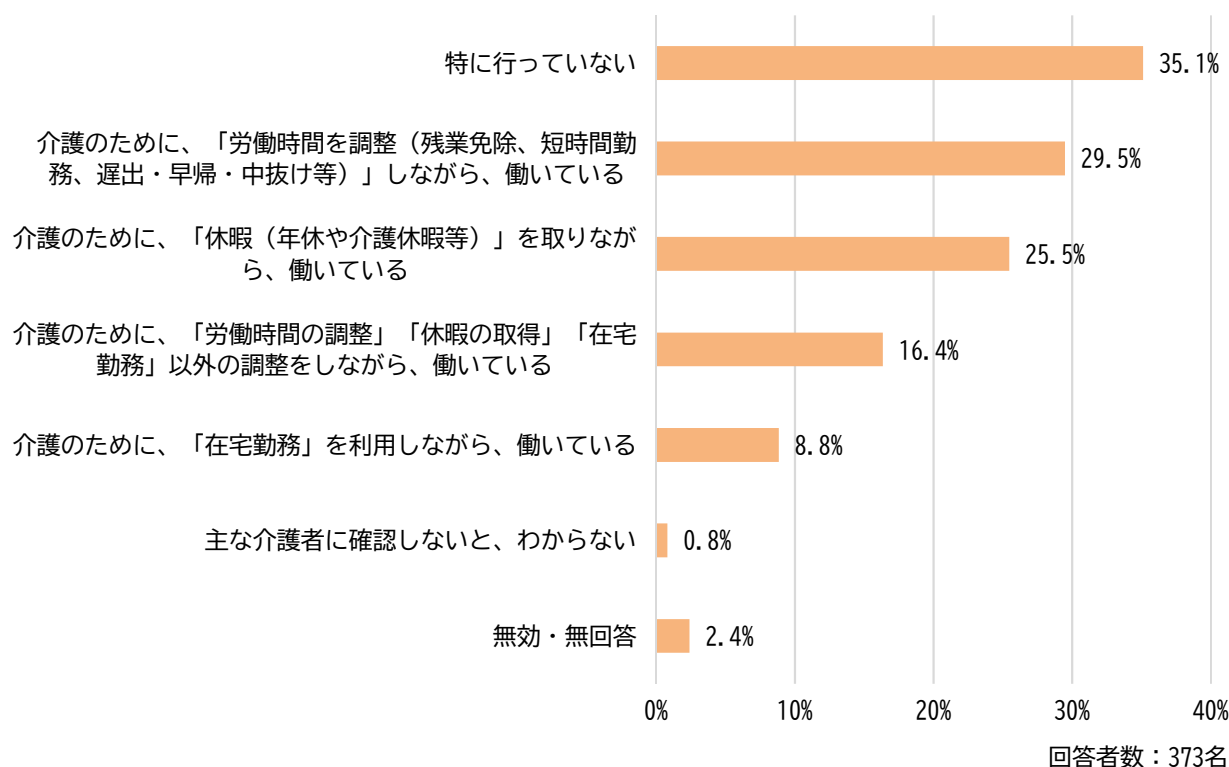


問 15 から問 21 は、問 2 で家族や親族からの介護があると回答した方の、主な介護者の方にお伺いします。（主な介護者の方によるご回答が難しい場合は、本人が回答）

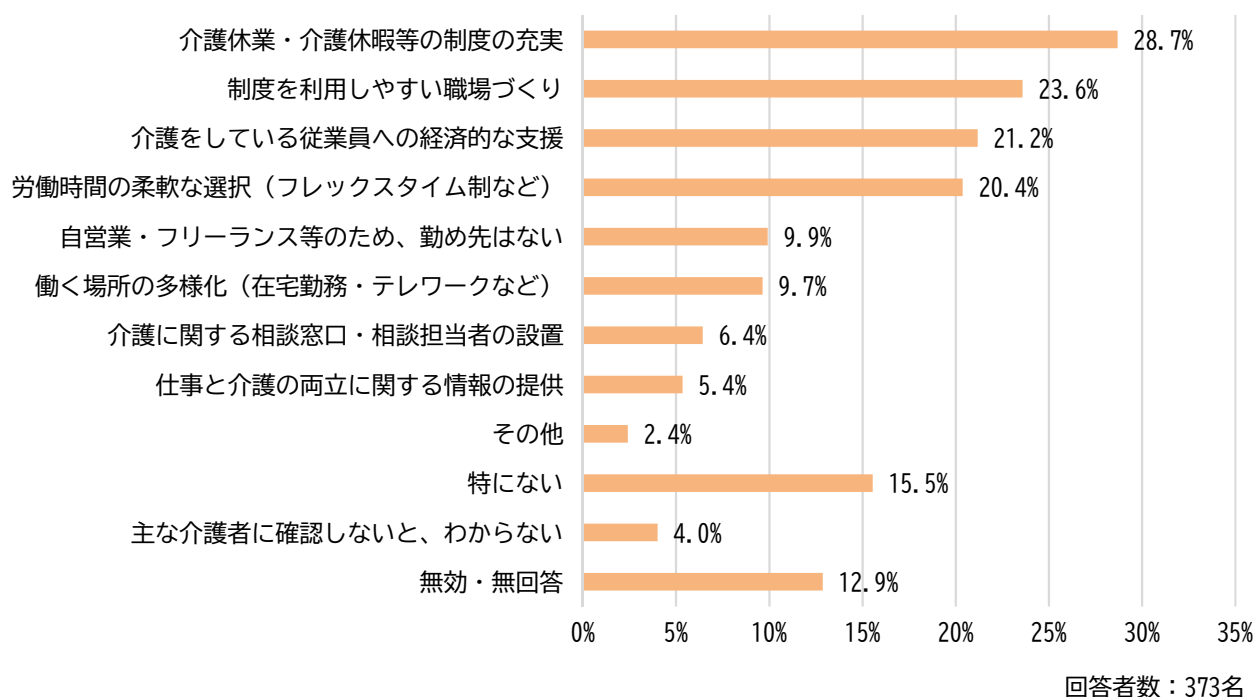
【問15】 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1 つを選択）
 ※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。



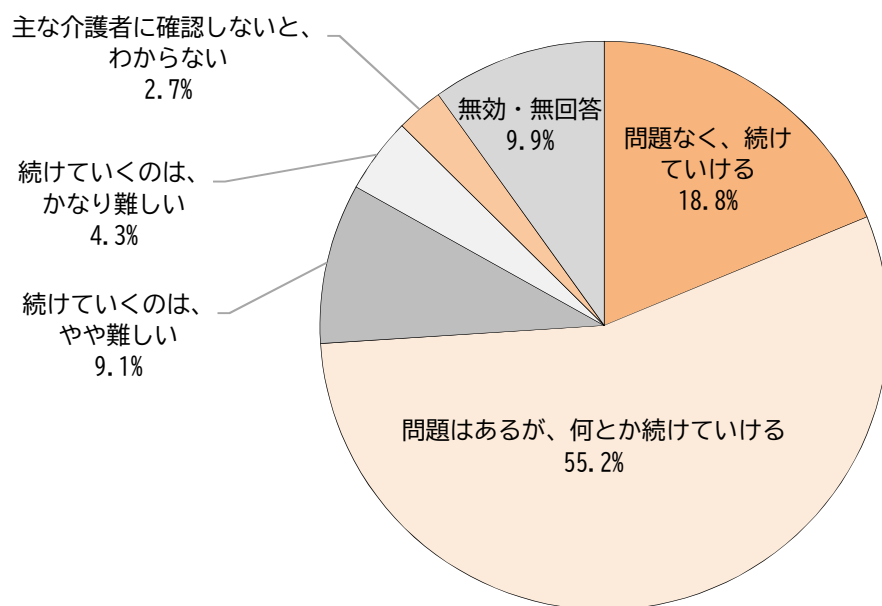
【問16】 問 15 で主な介護者の方の現在の勤務形態について、「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）



【問17】 問 15 で主な介護者の方の現在の勤務形態について、「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3 つまで選択可）

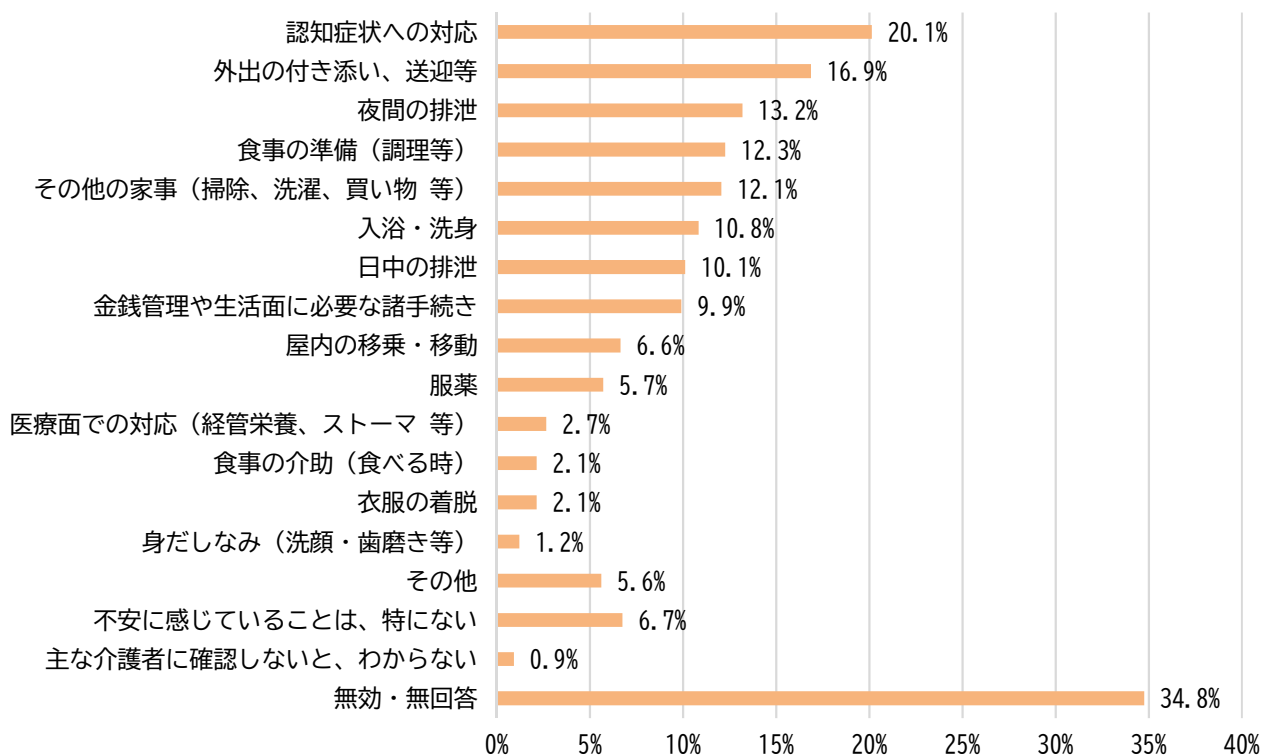


【問18】 問 15 で主な介護者の方の現在の勤務形態について、「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1 つを選択）



回答者数：373名

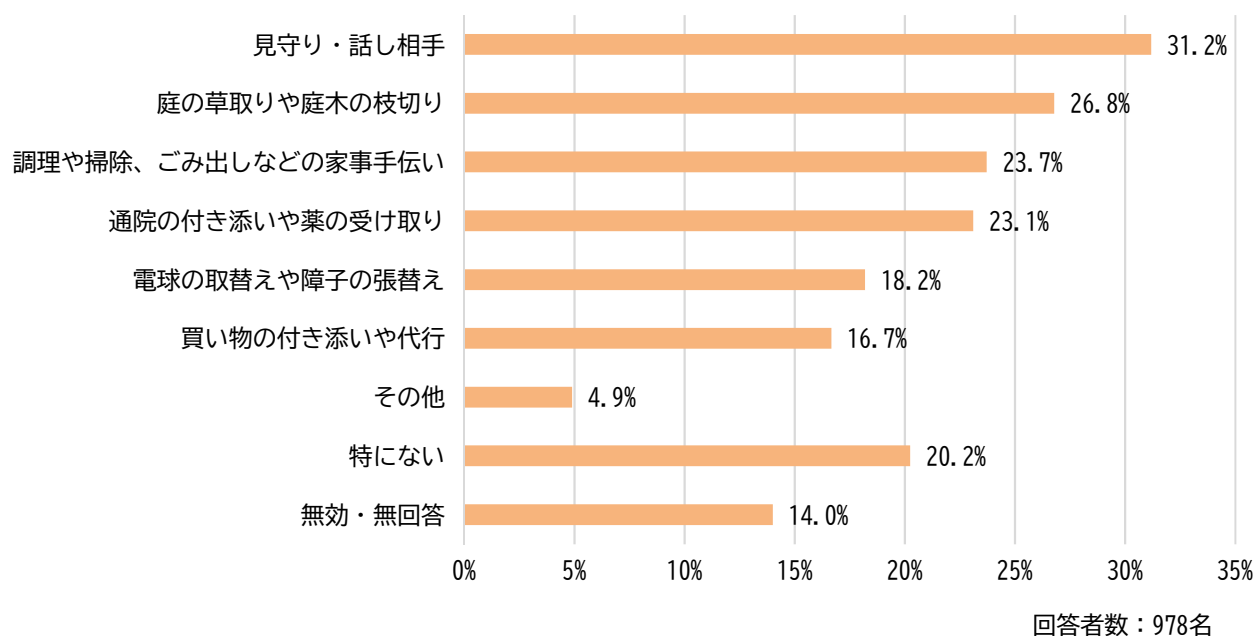
【問19】 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3 つまで選択可）



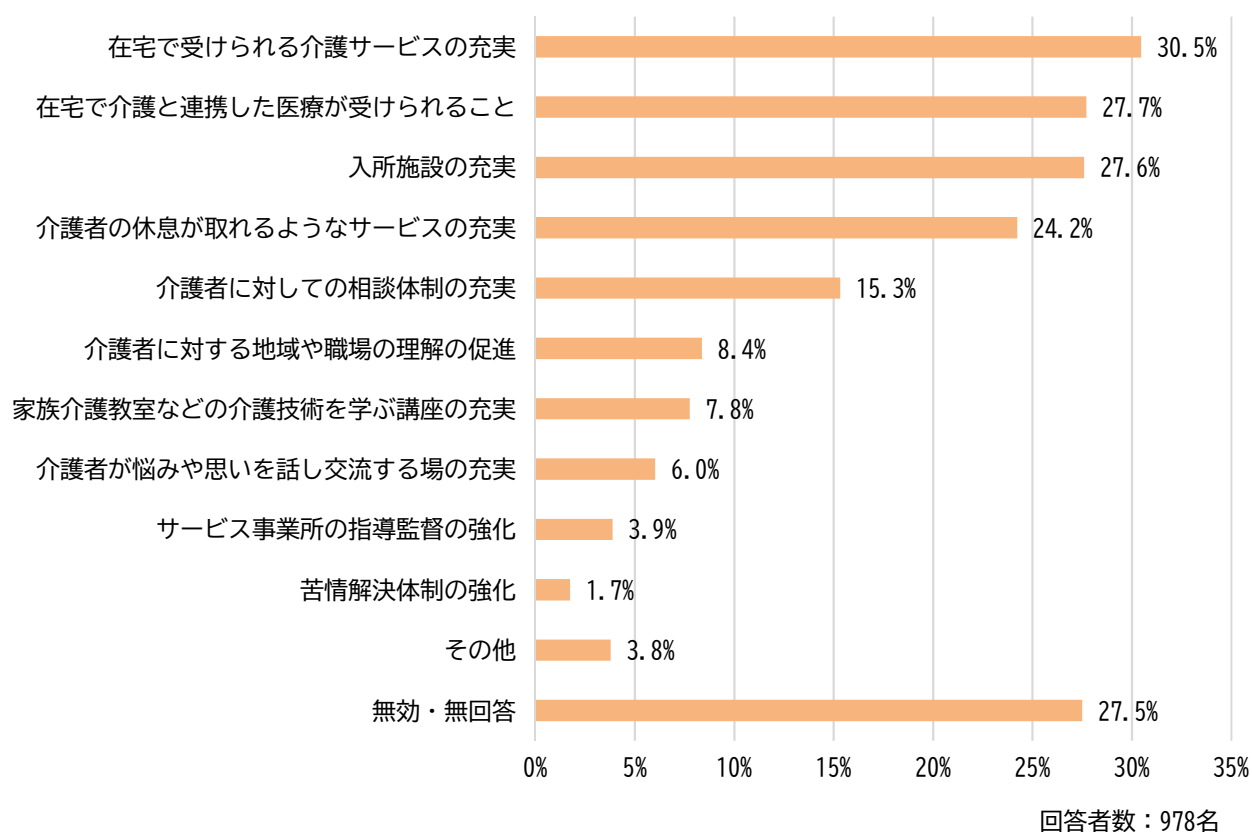
回答者数：978名

問 20 から問 37 は、横須賀市の独自質問です。

【問20】 介護を続けていく上で、地域の方の助けがあったら良いと思うものをお選びください（複数選択可）

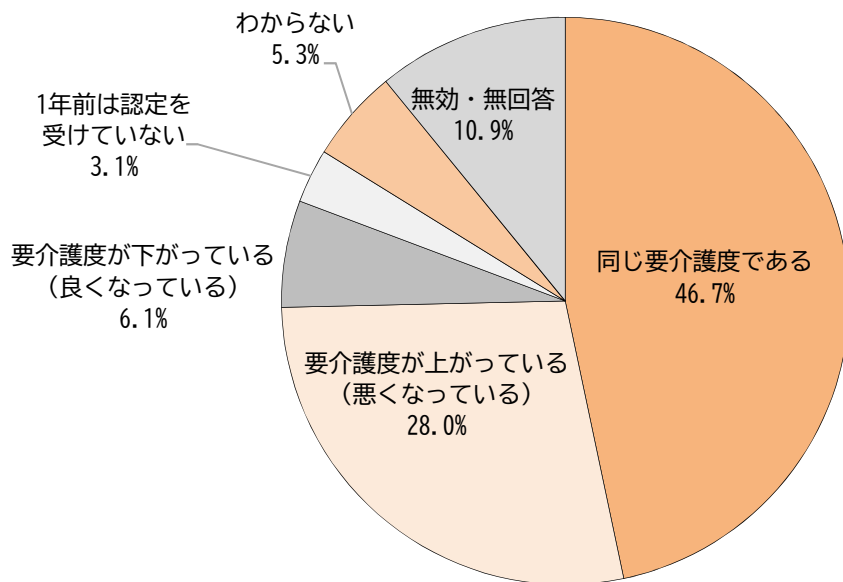


【問21】 介護をしている方（介護者）への支援として、市へ望むことは何ですか（3 つまで選択可）



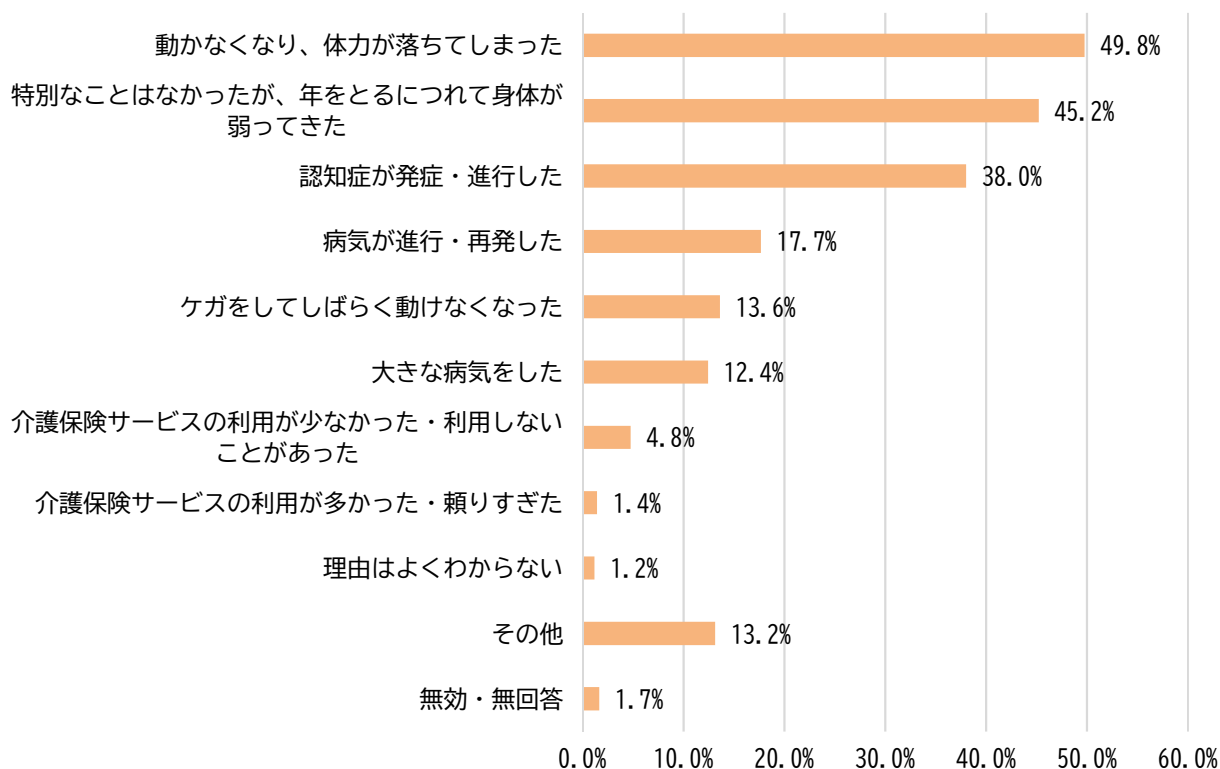
介護者の方への質問は以上です。問 22～問 37 は、再びご本人についてお聞きします。

【問22】 要介護度は、1 年前と比べて、どのように変化していますか（1 つを選択）



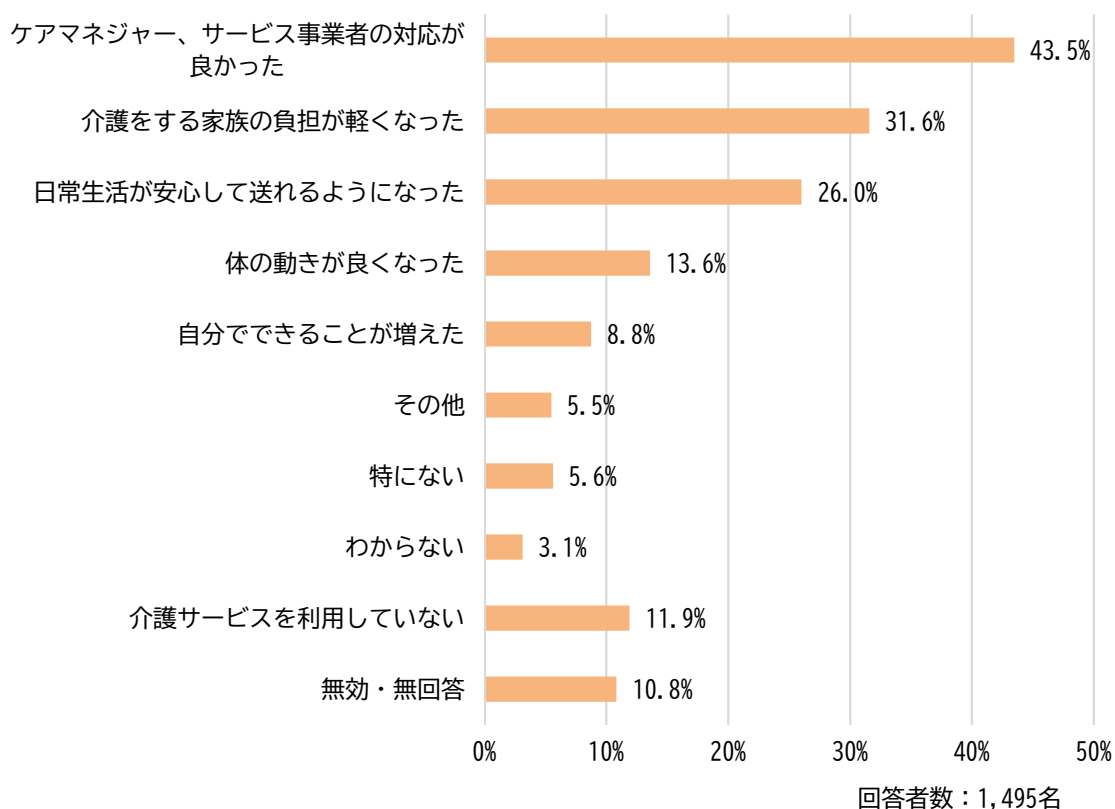
回答者数：1,495名

【問23】 問 22 で「要介護度が上がっている（悪くなっている）」と回答した方にお伺いします。その原因について思い当たることはありますか（複数選択可）

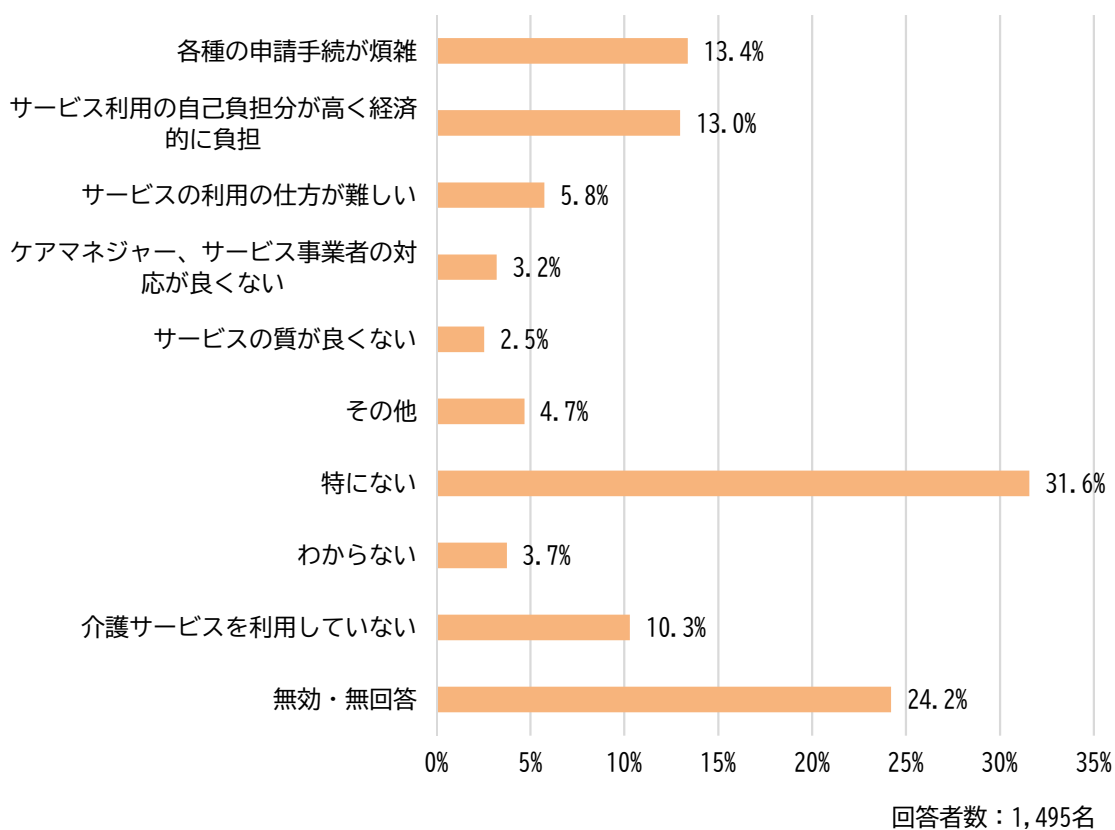


回答者数：418名

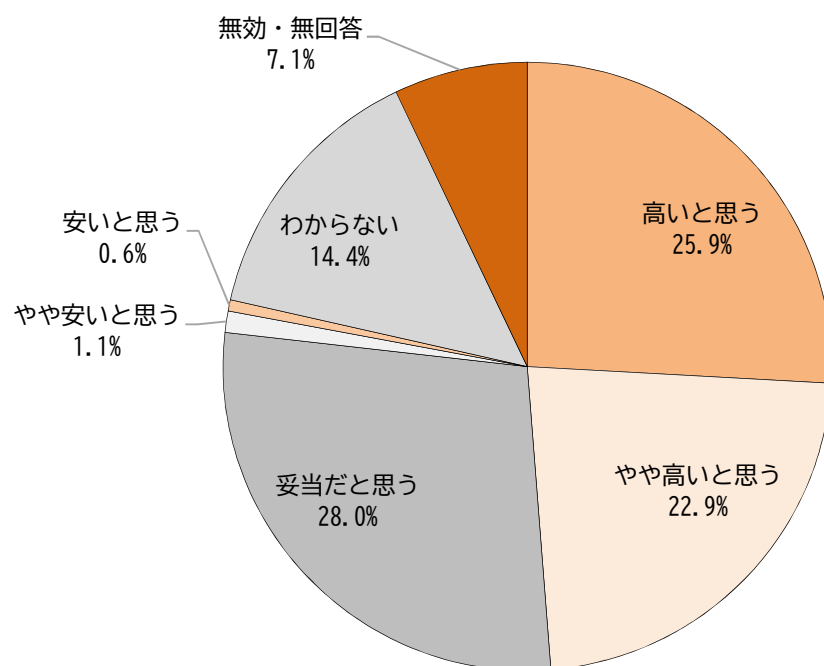
【問24】 介護サービスを利用して、良かったことは何ですか（複数選択可）



【問25】 介護サービスを利用して、良くないと感じることは何ですか（複数選択可）

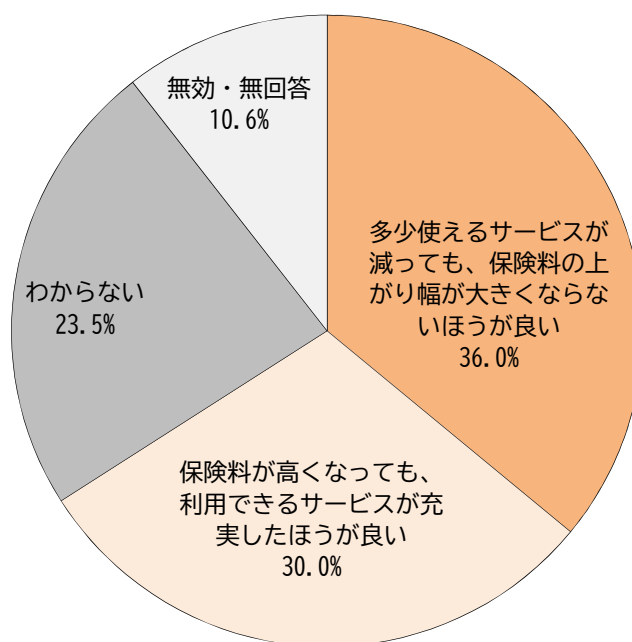


【問26】 現在の暮らしの状況からみて、今あなたが支払っている介護保険料の金額をどう思いますか（1つを選択）



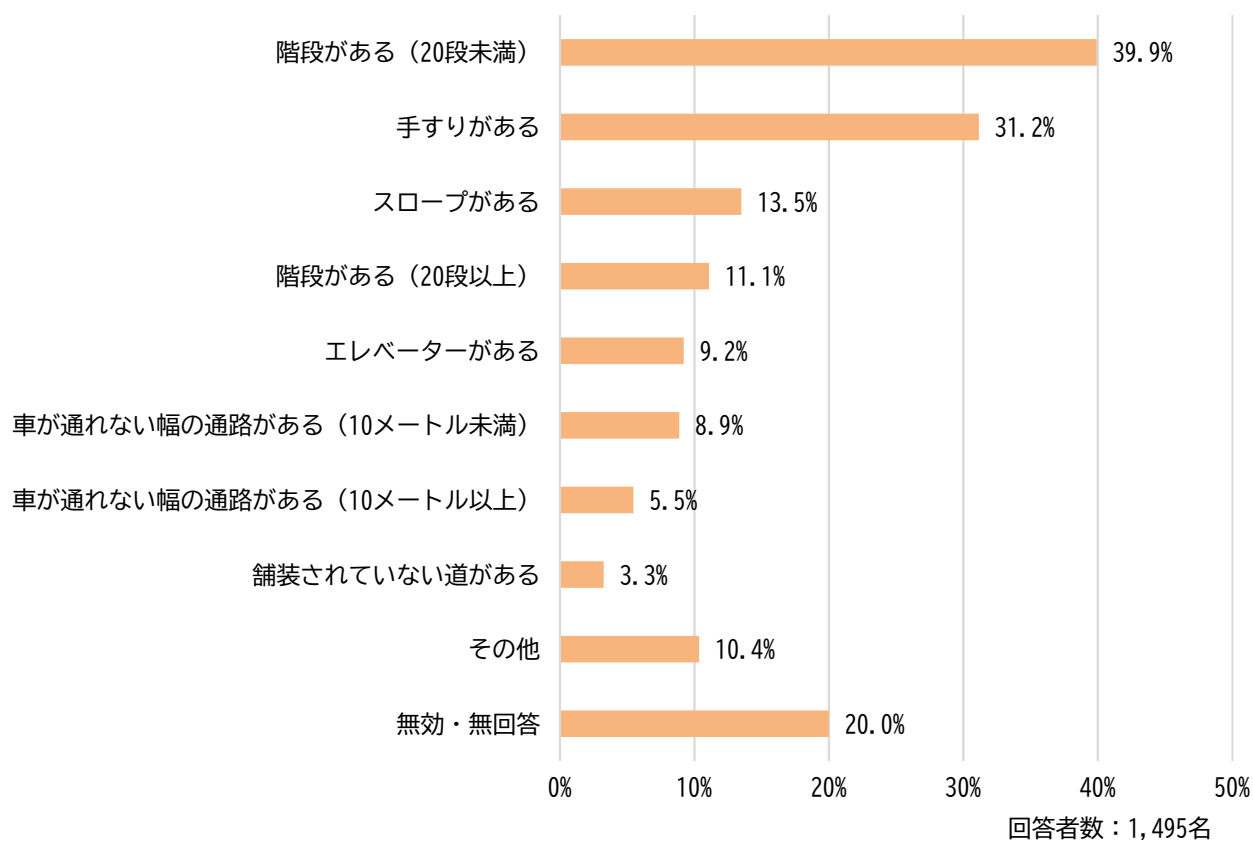
回答者数：1,495名

【問27】 介護保険のサービスは、利用者が増加したり、利用できるサービスが充実したりすると、保険料が高くなる仕組みとなっています（65歳以上の方の場合）。今後の保険料とサービスのあり方について、あなたの考えに近いものはどれですか（1つを選択）

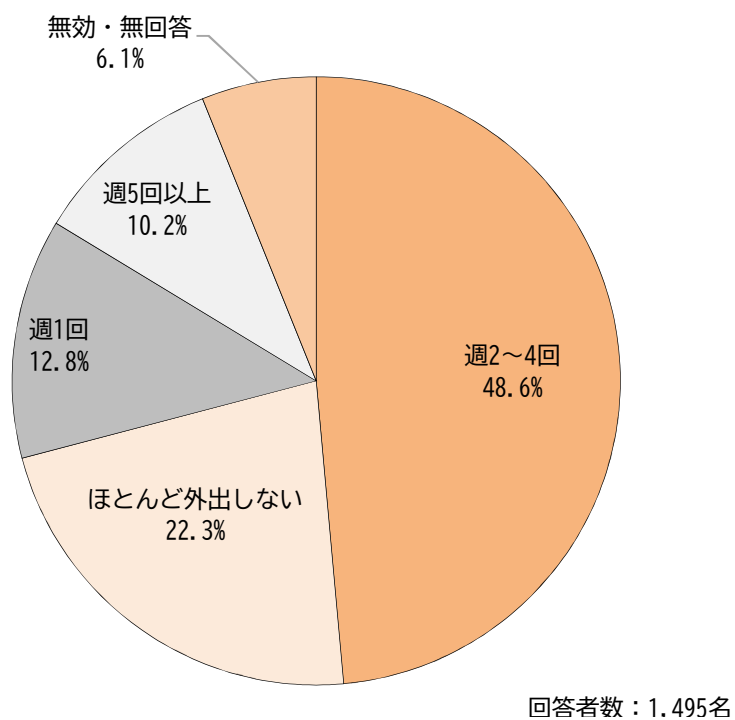


回答者数：1,495名

【問28】 自宅玄関から車を駐車できるような公道に出るまでの周辺環境について、当てはまるものをご回答ください（複数選択可）

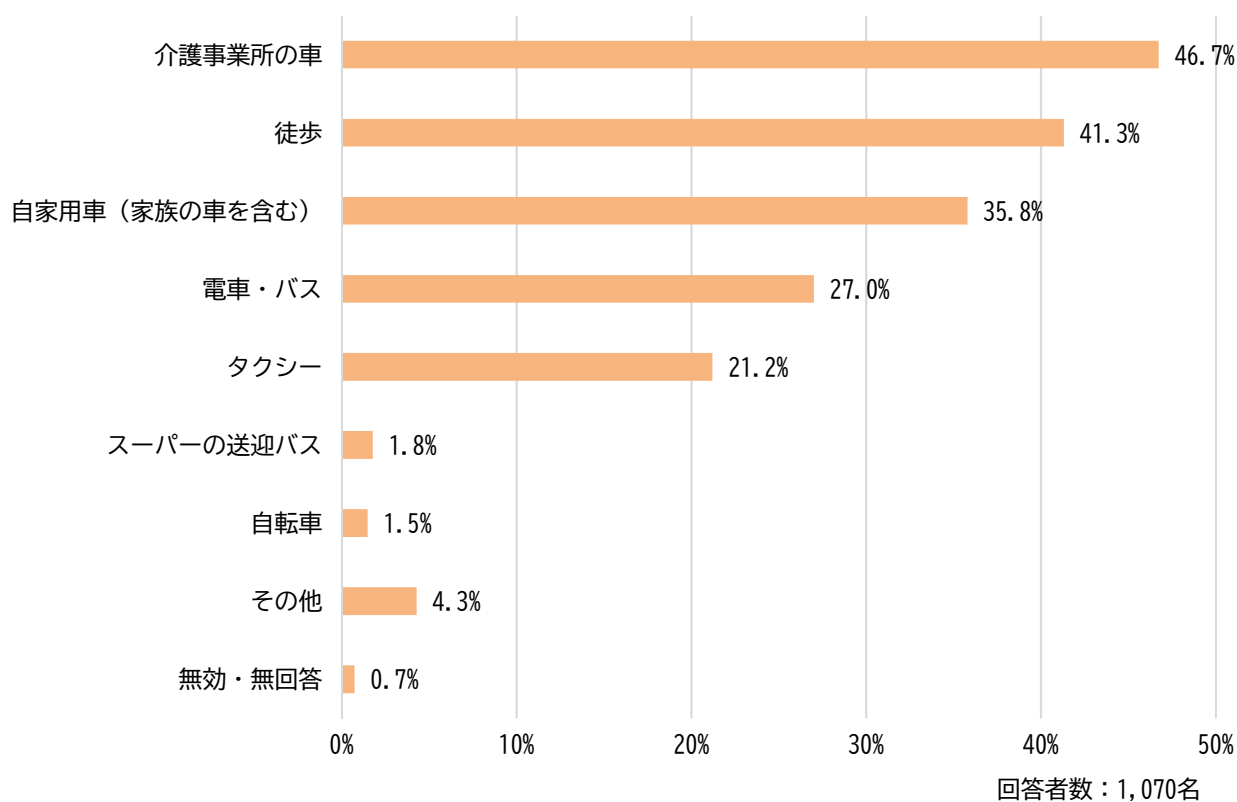


【問29】 普段、どのくらいの頻度で外出していますか（1つを選択）

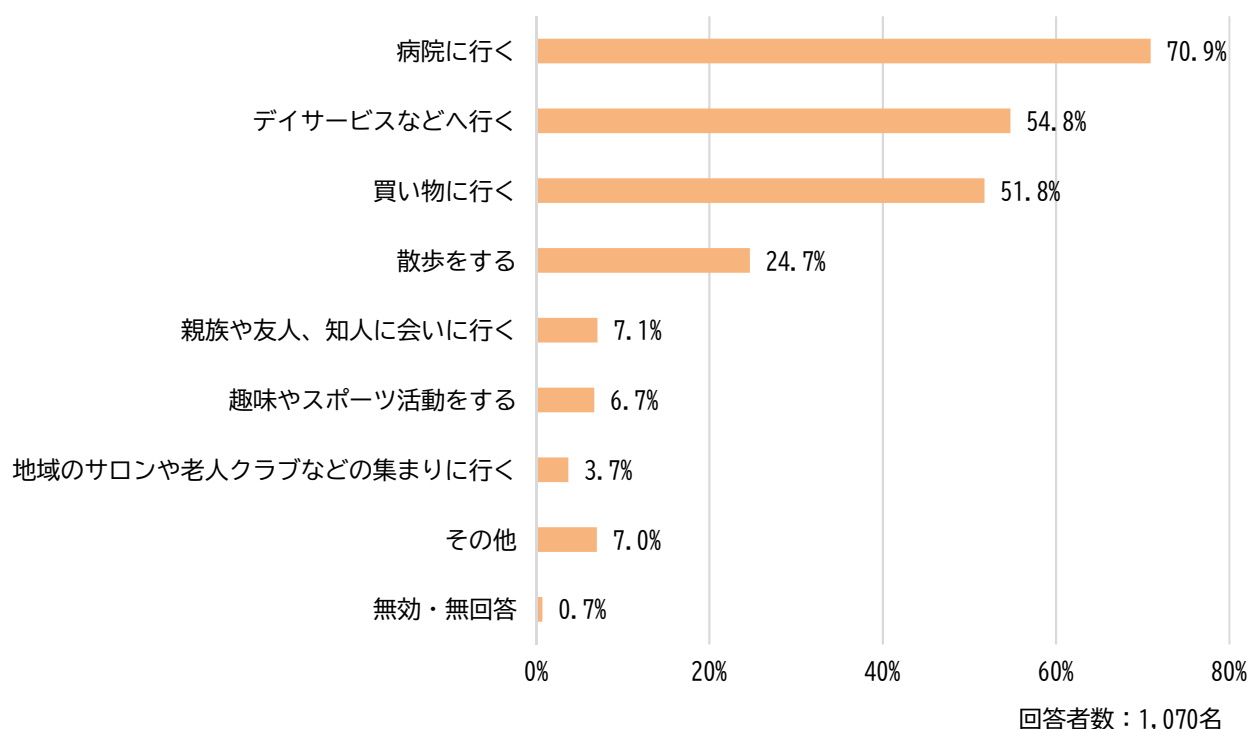


【問30】 問 29 で普段の外出頻度について「週 1 回」、「週 2～4 回」、「週 5 回以上」と回答した方にお伺いします。

外出する際に、どのような交通手段を利用することが多いですか（複数選択可）

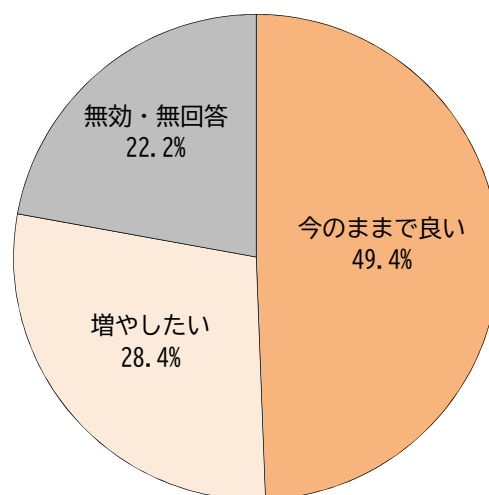
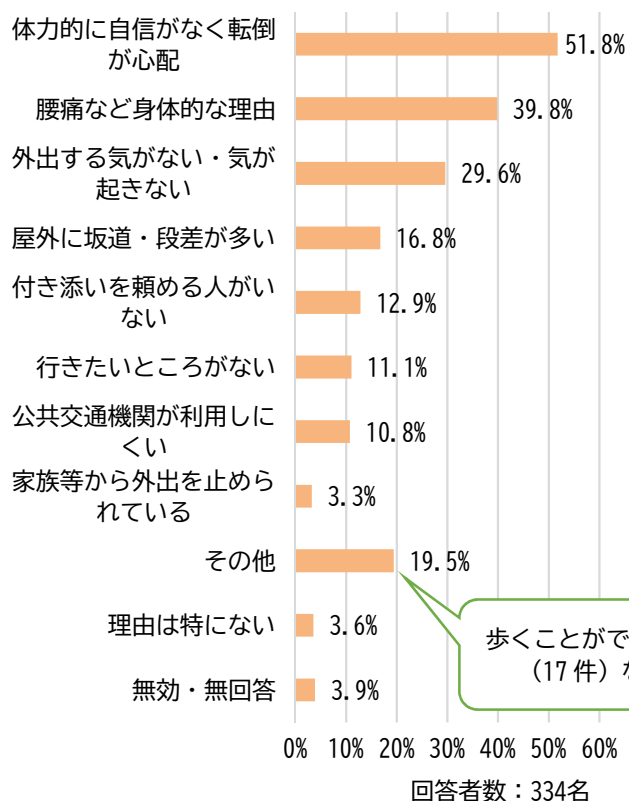


【問31】 どのような目的で外出することが多いですか（複数選択可）



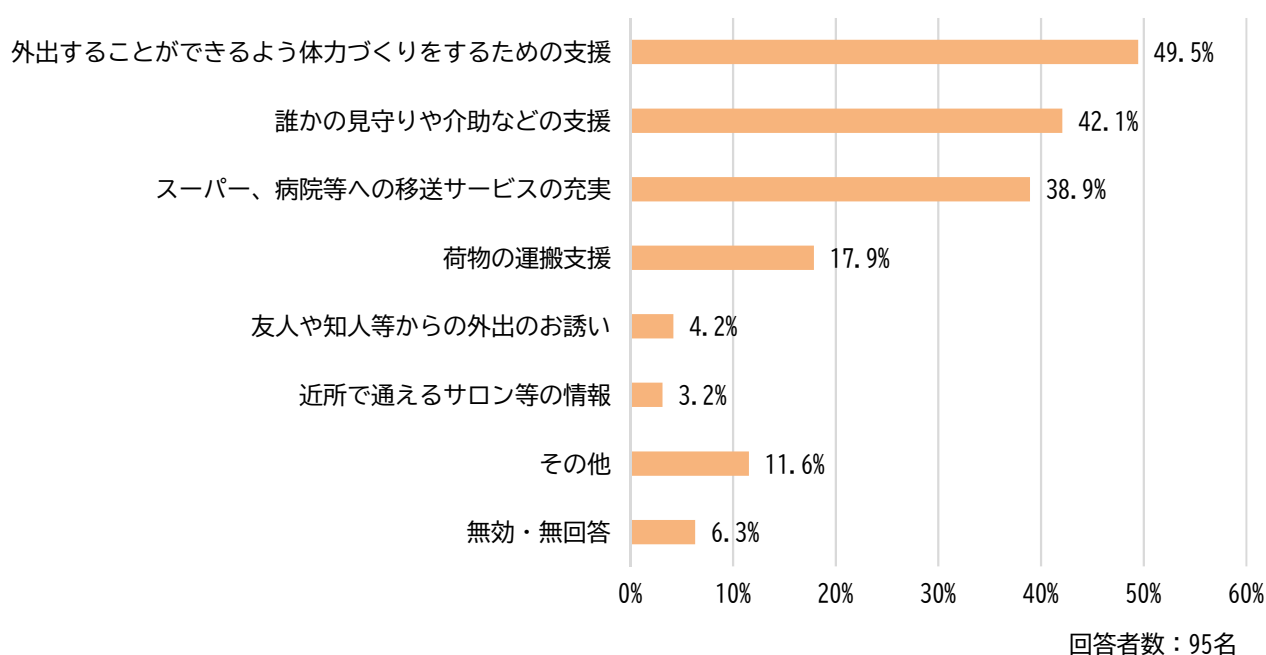
【問32】 問 29 で普段の外出頻度について「ほとんど外出しない」と回答した方にお伺いします

- ① 外出しない、または、できない理由は ② 外出する頻度を増やしたいという
次のどれですか（複数選択可） 希望は、ありますか（1つを選択）

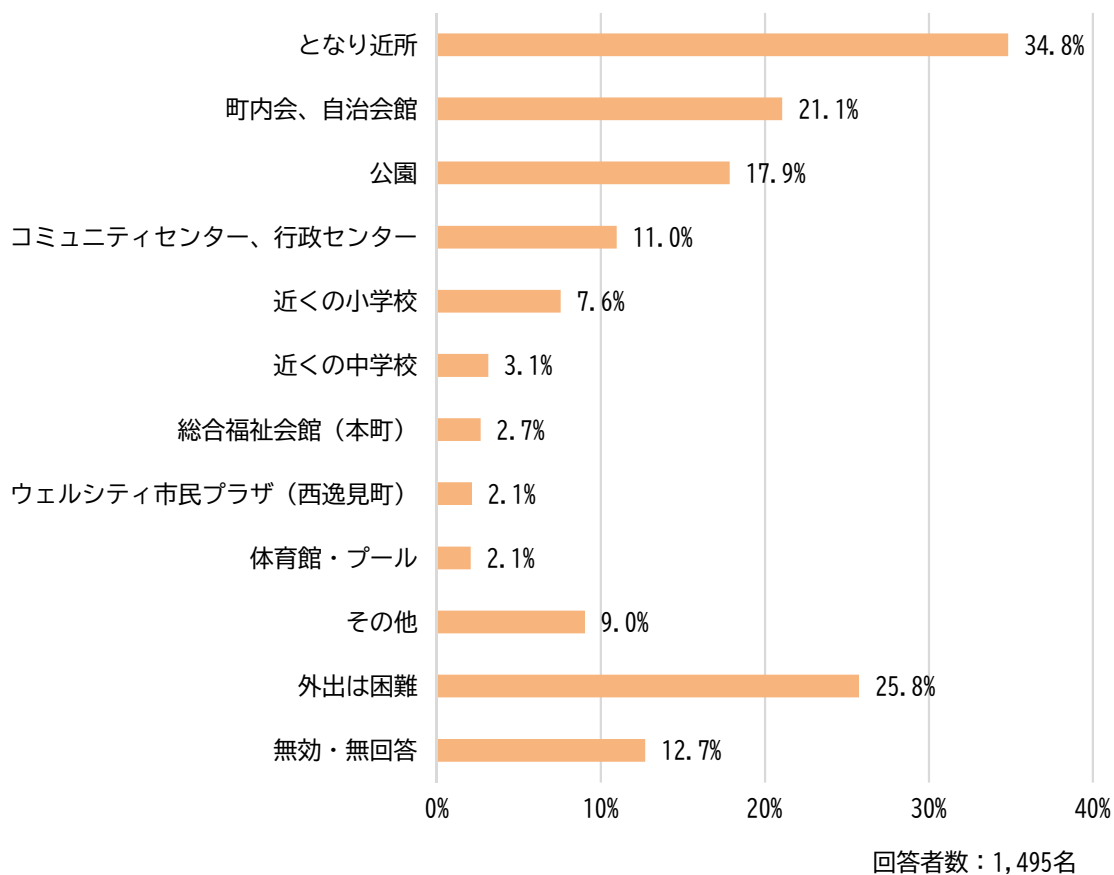


回答者数：334名

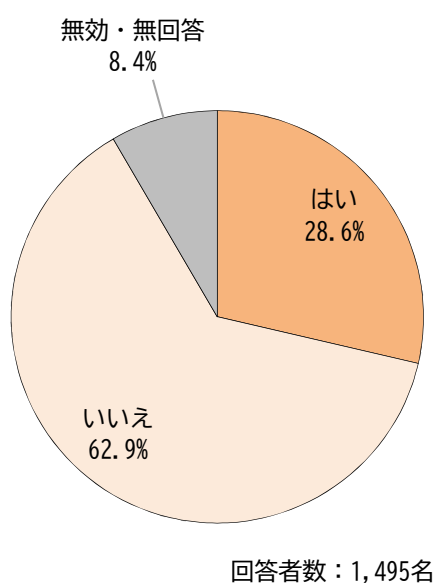
- ③ ②で外出する頻度について「増やしたい」と回答した方にお伺いします
どのような支援やきっかけがあれば、外出の頻度を増やせるとおもいますか（複数選択可）



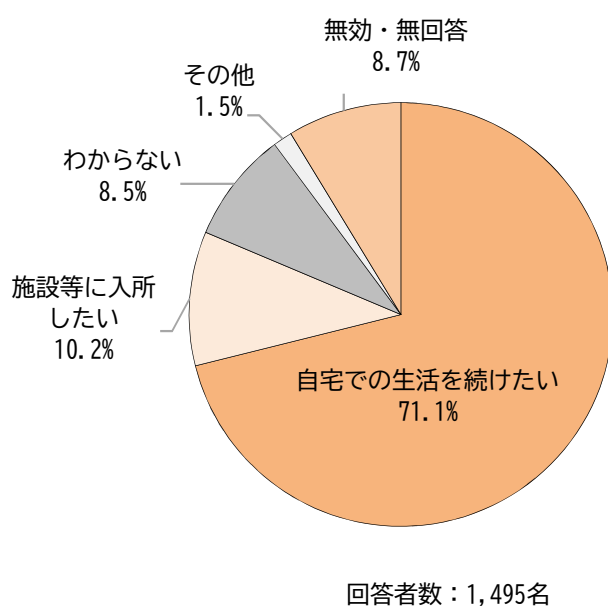
【問33】 運動や健康づくりを行う場として、どこまでなら出かけることができますか（複数選択可）



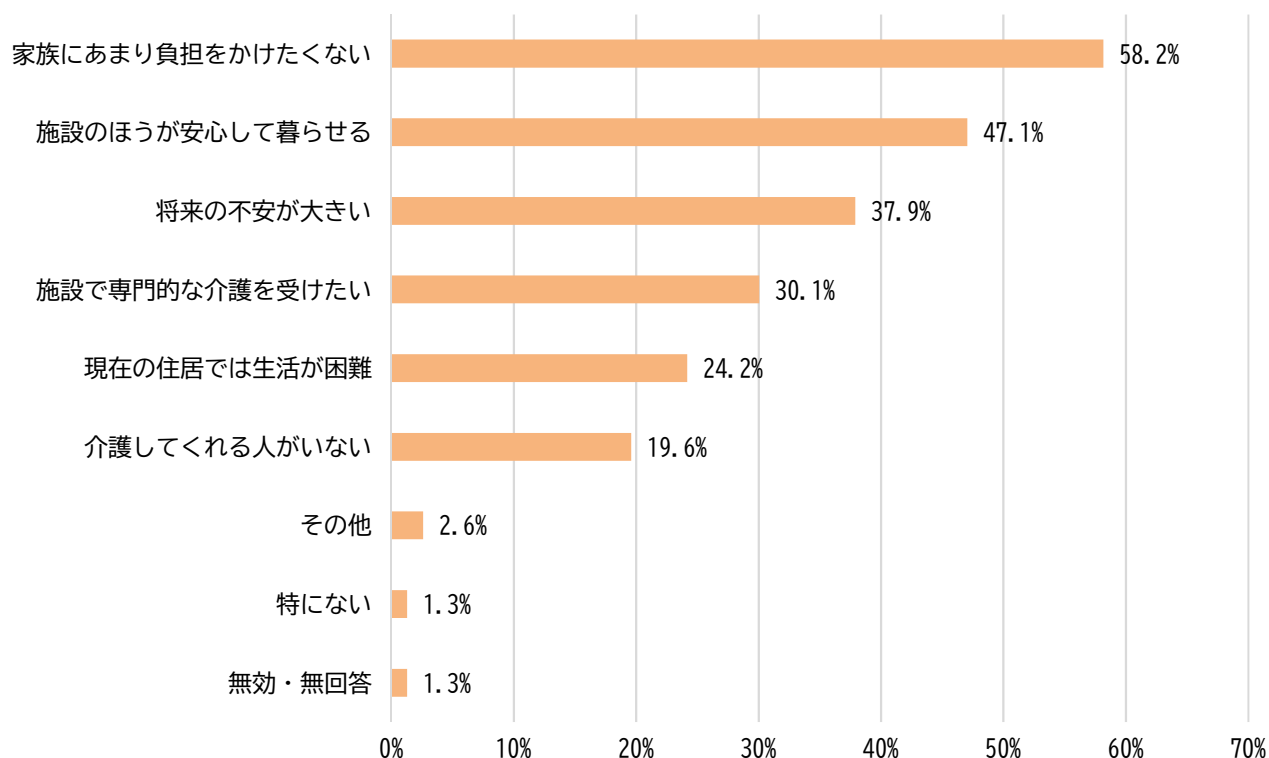
【問34】 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つを選択）



【問35】 今後の生活はどのように送りたいですか（1つを選択）

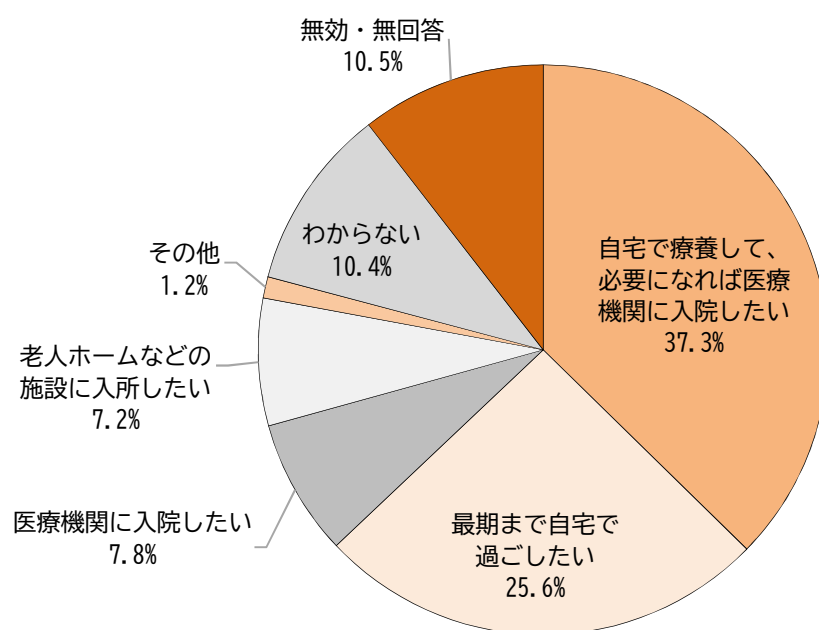


【問36】 問 35 で今後の生活について「施設等に入所したい」と回答した方にお伺いします。
施設等に入所したい理由は何ですか（複数選択可）



回答者数：153名

【問37】 あなたが病気などで回復の見込みがないと診断された場合、最期を迎える時までの間は
どこで過ごしたいと思いますか（1 つを選択）



回答者数：1,495名

自由意見の集計（横須賀市の高齢者保健福祉施策・介護保険制度へのご意見やご要望）

回答者数：417 名

延べ件数：540 件（特になし等を除く）

ご記入いただいたご意見・ご要望は横須賀市高齢者保健福祉計画（第8期介護保険事業計画を含む）の体系に沿って分類しています。

1 名が複数の意見を述べている場合があるため、件数の合計と回答数は一致しません。

項目	件数
生涯現役で生き生きと活動的に暮らせるために	15
生きがいづくり	3
健康づくり	12
地域で支え合い住み慣れたまちで暮らせるために	218
地域における支え合いの強化	24
日常生活や将来に不安を抱える方々への支援	177
適切な医療・介護体制等の整備	13
認知症施策の推進	4
自分に合った環境で安心して暮らせるために	32
高齢者の在宅生活と住まい方の支援	32
介護保険制度の安定的な運営	87
介護保険施設および介護保険事業所の整備計画	15
介護保険サービスの安定的な供給	37
介護給付適正化の推進	35
その他意見	188
今後の市政や市の職員について	52
アンケートについて	19
情報発信について	15
介護保険制度について	44
介護事業所等について	15
経験談	6
高齢者保健福祉計画外	28
その他	9

【生涯現役で生き生きと活動的に暮らせるために】

○生きがいづくり

<主な意見・要望>

- ・ コミセンや集会場の利用料が上昇して活動できなくなり困っている
- ・ 高齢者の趣味のクラブや講座を充実させてほしい
- ・ シニアパスの値段と年齢要件を下げてほしい

○健康づくり

<主な意見・要望>

- ・ ベンチなど歩行途中に休める場所を増やしてほしい
- ・ デイサービス以外で高齢者が運動できる場所が欲しい
- ・ 高齢になる前から健康や体力づくりについて考えておく必要がある
- ・ 行政センター、自治会館等で介護予防の体操教室を開催してほしい
- ・ 重症化予防としてのサービス利用をすべきだと思う
- ・ 高齢者であっても自分でできることは努力すべきだ

【地域で支え合い住み慣れたまちで暮らせるために】

○地域における支え合いの強化

<主な意見・要望>

- ・ 近所に交流ができる場がほしい、作りたい
- ・ 日常の困りごと（ゴミ出しや蛍光灯の取り換え）について支援を受けたい
- ・ 地域に支え合いの団体を作してほしい、作りたい
- ・ 市民、住民の自助力を上げる取り組みをしてほしい
- ・ 介護保険だけでは高齢者を支え切れないので、地域で支える仕組みを考えてほしい
- ・ 日常の困りごとについて、支援団体を市で紹介してほしい
- ・ 会話の相手や傾聴ボランティアが欲しい
- ・ 日常の困りごとの相談に乗ってくれる人が欲しい
- ・ 外出が困難だが、誰かのために支援活動がしたい
- ・ 年少者が高齢者を理解し、日常的に助けるよう教育を行ってほしい
- ・ 入浴券は利用する機会がないので、より利用しやすいサービスを考えてほしい
- ・ 支え手や行政、介護保険に頼りすぎている人が多く、破綻する恐れがある
- ・ 高齢者であっても自分や人のために何かできるという意識を探ることが大切だ

○日常生活や将来に不安を抱える方々への支援

●日常生活や将来への不安・困難全般について

<主な意見・要望>

- ・現在、将来に金銭的な困難や不安がある
- ・老々介護なので大変だ、不安だ
- ・将来に漠然とした不安がある
- ・人に迷惑をかけたくない
- ・家族に負担がかかっている、負担をかけたくない
- ・家族に負担をかけずに自宅で過ごしたい
- ・市や社協、町内会や近所の人に見守りや声掛け、訪問などをしてほしい
- ・民生委員に孤立している高齢者を探し出し、声掛けをしてほしい
- ・一人暮らし世帯だけでなく、高齢者のみ世帯への支援も欲しい
- ・一人暮らしなのでさみしい
- ・歩けなくなった時の対応に不安がある
- ・とにかく悲しい、つらい
- ・食事について不安がある
- ・見守りカメラを貸し出してほしい
- ・目に見えて寄り添ってほしい
- ・不安な毎日を送っていることを考えてほしい
- ・毎日を過ごすので精一杯

●日常生活における困りごとについて

<主な意見・要望>

- ・買い物に不便を感じている
- ・ゴミ出しが難しい
- ・ゴミの戸別回収を行ってほしい
- ・ゴミを当日朝だけでなく前日に出しても良いとしてほしい
- ・庭の枝や枯葉を片付けてほしい
- ・階段の上り下りが大変
- ・日常の困りごとを近所以外に安価で頼める先が欲しい
- ・お金の支払いや金銭管理を支援してほしい

●外出・移動について

<主な意見・要望>

- ・移動手段としてバスやタクシーの利用補助をしてほしい
- ・通院、その他の移動に高い費用がかかっている
- ・小型の巡回バスが欲しい
- ・外出同行をしてほしい

- ・地理的困難により外出が難しい
- ・バスだけでなく、電車にも補助を出してほしい
- ・外出時の送迎サービスが欲しい
- ・車椅子が乗車できるタクシーを増やしてほしい
- ・薬局に行くのが難しいが、薬を自宅に届けるサービスの利用料が高くて使えない

●介護者支援について

<主な意見・要望>

- ・介護者への支援が欲しい、負担を減らす方策を考えてほしい
- ・介護者の急な不在に対応できるサービスが欲しい
- ・介護する側が息抜きするような時間や場所、友人などがない状況がある
- ・福祉や医療をまとめて相談できる窓口が欲しい、あるなら周知をしてほしい
- ・介護拒否があり、思うようにサービスを使えない
- ・家族や親族の支援を受けられない
- ・家族や親族との関係が悪い、トラブルがある
- ・困難を抱えながら介護をしている
- ・介護者の相談に乗ってくれる窓口が欲しい
- ・フルタイムでも仕事を制限することなく在宅介護ができるよう支援してほしい
- ・介護サービスを使ったら家族介護慰労金の対象外になるのは残念だ

●相談窓口や手続きについて

<主な意見・要望>

- ・諸手続きの書類の量や内容を見直し、簡素化してほしい
- ・相談窓口の一覧表を配布してほしい
- ・相談窓口は知っているが、相談しても解決しないと思い、利用していない
- ・ショートメールを打てる番号を市役所に整備してほしい
- ・行政の文書をもっと簡易に、わかりやすくしてほしい
- ・仕事と介護をしながら行政の窓口に出向いて手続きをするのは困難である
- ・介護者は行動に制限があるため、手続きの数や窓口に配慮してほしい

●地域包括支援センターについて

<主な意見・要望>

- ・地域包括支援センターへの感謝の声
- ・地域包括支援センターへの不満の声
- ・地域包括支援センターの役割がわからない

●介護サービス利用について

<主な意見・要望>

- ・低所得者向けの利用者負担の助成が欲しい
- ・介護サービス利用の契約で介護者が平日何度も仕事を休まなければならない

●終活支援について

<主な意見・要望>

- ・自宅での看取りを希望する
- ・検視や司法解剖を受けたくないで自宅で亡くなりたくない
- ・遺体の焼却と骨の片づけを市に依頼したい
- ・終末医療についてこれからも考えていきたい

●その他

<主な意見・要望>

- ・補聴器への補助が欲しい

○適切な医療・介護体制等の整備

<主な意見・要望>

- ・病気についての不安がある
- ・介護職員が頻繁に変わる
- ・介護人材不足への対応策として、無資格者の雇用を増やしたらどうか
- ・在宅医療を推進してほしい
- ・内科以外の診療も在宅で受診できるようにしてほしい
- ・もっと医療と介護を連携させてほしい
- ・訪問診療の医者に不満がある
- ・適切な医療の提供について市でもきちんと見てほしい
- ・往診可能な病院が少ない、減った
- ・かかりつけの医師が見つからない
- ・リハビリが受けられる病院が少ない
- ・在宅医療の詳しい情報が欲しい

○認知症施策の推進

<主な意見・要望>

- ・認知症への恐れ
- ・認知症に対応可能な病院を増やしてほしい
- ・認知症の受診拒否があるときの対応の難しさ
- ・認知症者を在宅介護することの難しさ

【自分に合った環境で安心して暮らせるために】

○高齢者の在宅生活と住まい方の支援

●在宅支援について

<主な意見・要望>

- ・出張理美容のサービスを無料にしてほしい
- ・理美容室の割引券が欲しい
- ・おむつやストマの補助が欲しい
- ・おむつの補助を増額してほしい、対象者を広げてほしい
- ・モニター付きインターホンや防犯カメラの設置補助が欲しい
- ・在宅生活を継続するための日常的な支援をしてほしい
- ・生活支援型マンションで快適に過ごしているので、このような住まいがあることを在宅の方に周知してほしい

●施設入所について

<主な意見・要望>

- ・施設に入所したい
- ・施設入所を迅速・容易にしてほしい
- ・施設の違いや種類についてわからない
- ・特別養護老人ホームに入所を断られ、困っている
- ・有料老人ホームが高い
- ・施設入所後に趣味や手伝いをさせてほしい
- ・施設の料金体系をわかりやすくして紹介してほしい
- ・施設への申し込みを市役所等の窓口でとりまとめてほしい

【介護保険制度の安定的な運営】

○介護保険施設および介護保険事業所の整備計画

<主な意見・要望>

- ・安価な入所施設を作って（増やして）ほしい
- ・入所施設を作って（増やして）ほしい
- ・医療設備の充実した入所施設を作って（増やして）ほしい
- ・目が不自由な人用の施設を増やしてほしい

○介護保険サービスの安定的な供給

●サービスや事業所について

<主な意見・要望>

- ・ショートステイのサービスを充実させてほしい
- ・介護職員の給料を上げたり、処遇を改善したりすべきだ
- ・少子高齢化による介護問題の深刻化が心配
- ・困ったときに介護保険で助けてほしい
- ・在宅サービスの種類を増やしてほしい
- ・介護事業所の人手不足や倒産、利用料増によりサービスが使えなくなるのが心配
- ・介護職員の配置数と質を向上すべきだ
- ・歩行困難者へのリハビリ制度を作してほしい

●保険料について

<主な意見・要望>

- ・介護保険料が高い
- ・介護保険料の大幅な値上げは避けてほしい
- ・介護サービスを使用している人としていない人で介護保険料に差をつけてほしい
- ・介護サービスを使用しなかったら保険料を返してほしい
- ・高齢者になっても介護保険料を払うのが不満だ
- ・低所得者だけでなく、高所得者への配慮も大切である

○介護給付適正化の推進

●介護認定について

<主な意見・要望>

- ・介護認定の結果に不満がある
- ・介護認定の出し方について知りたい
- ・事業所への苦情や不満の相談窓口を教えてほしい
- ・入院中の認定調査について、見直しが必要だ
- ・介護認定に時間がかかる

●サービス利用について

<主な意見・要望>

- ・デイサービスの回数を増やしたい
- ・デイサービスは、利用者の能力に応じて内容を変えるべきだ
- ・デイサービスに半日ではなく1日行ってほしい
- ・市が事業所にコロナ予防の指導をしてほしい
- ・介護事業所の質に差がある
- ・保険適用と適用外の区別がわからない、わかりにくい

- ・介護保険料の無駄をなくして、必要な人がサービスを受けられるようにしてほしい

●ケアマネジャーについて

<主な意見・要望>

- ・ケアマネジャーに不満がある
- ・ケアマネジャーによって受けられるサービスに差がある
- ・ケアマネジャーによって得られる情報に差がある
- ・ケアマネジャーの教育に力を入れてほしい
- ・ケアマネジャーの能力に応じてランク付けをしてはどうか

【その他意見】

○今後の市政や市の職員について

<主な意見・要望>

- ・介護保険を利用した喜びの声
- ・市の施策や職員への感謝
- ・高齢者福祉サービスをより充実させてほしい
- ・行政センターと市役所本庁の連携を強化してほしい
- ・高齢者が安心して過ごせる社会を作してほしい
- ・長期展望を含めた持続可能な計画を立案してほしい
- ・高齢者への予算を十分に確保してほしい
- ・地域包括ケアシステムを充実させてほしい
- ・市の職員の対応がよくなかったので改善してほしい
- ・「誰も一人にさせないまち」について構想と施策の説明をしてほしい
- ・高齢者施策・介護保険制度について現状で十分だと思う
- ・保健・福祉政策に力を入れているように思えない

○アンケートについて

<主な意見・要望>

- ・アンケートへの肯定的見方（考えるきっかけになったなど）
- ・アンケートに回答しづらい部分があった
- ・要介護者には回答が難しいアンケートである
- ・アンケートの1枚目（説明書）は綴じないほうがよかったのではないかと
- ・アンケートの質問が不愉快だった
- ・調査結果をインターネットでは確認できない
- ・アンケートは家族に負担が大きいののでやめてほしい
- ・主な介護者以外の援助者にも意見を聞くようにしてほしい

○情報発信について

<主な意見・要望>

- ・高齢者福祉、介護保険制度について高齢者に理解しやすく周知してほしい
- ・高齢者福祉、介護保険制度についてよく知らない
- ・高齢者福祉や介護保険の勉強会（説明会・教室等）を開いてほしい
- ・高齢者福祉、介護保険制度の能動的な周知がない
- ・介護にかかる金額をわかるようにしてほしい
- ・医療保険と介護保険の領域の区分（リハビリなど）がよくわからない
- ・インターネットがわからないので書面で知らせてほしい

○介護保険制度について

●利用者負担について

<主な意見・要望>

- ・介護保険サービスの利用料が高い
- ・支給限度額をあげてほしい（もっとたくさん介護サービスが使えるようにしてほしい）
- ・負担割合が2割、3割であるため利用回数を減らしている
- ・介護サービスの利用者負担割合が3割なので利用に不安がある
- ・負担割合について、1～3割ではなくもっと細分化してほしい
- ・負担割合について、2～3割のボーダーが低すぎる

●介護サービスの制度設計について

<主な意見・要望>

- ・介護サービスをもっと柔軟に受けられるようにしてほしい
- ・介護サービス利用の手続きをもっと簡素にほしい
- ・訪問介護の生活援助サービスについて、もっと手伝ってほしい
- ・同居人がいる場合の生活援助サービスについて、もっと柔軟にほしい
- ・介護サービス利用の手続きが難しい
- ・介護保険制度の在り方に不満がある
- ・介護保険制度がどんどん使いづらくなっているように思う
- ・ケアマネジャーの変更手続きを簡易にほしい
- ・介護保険と障害者支援を併用したい
- ・介護サービスの提供ではなく現金支給にすべきだ
- ・デイサービスが長期休みの際の入浴サービスが欲しい
- ・デイサービスを2、3か所同時に契約できるようにしてほしい
- ・デイサービスの利用時間を延長できるようにしてほしい
- ・シャワー付きトイレを福祉用具にほしい
- ・保険適用外の福祉用具がある
- ・福祉用具を無料にほしい

- ・シャッターを住宅改修の対象にしてほしい
- ・月1回のケアマネ等との面談をしたくない
- ・介護保険を任意保険にしてほしい

●介護事業所等について

<主な意見・要望>

- ・介護事業所に不満がある
- ・施設の人員や教育が十分なのか疑問がある
- ・施設内にカメラを設置してほしい
- ・思い通りのサービスが受けられなかった
- ・突発的な対応ができるようにしてほしい
- ・リハビリデイサービスに理学療法士を増やしてほしい
- ・訪問介護の生活援助について、保険外サービスを利用できるようにしてほしい
- ・坂や細い道に事業所が対応してくれなくて困った
- ・介護職員の態度に不満がある
- ・複数回キャンセルしたらサービスの利用を断られてしまった
- ・事業所とトラブルがあり、必要なサービスが受けられない

○経験談

- ・在宅介護の具体的なエピソード
- ・自身の健康づくりの例
- ・要介護認定を申請した経緯
- ・保険外サービス利用のエピソード

介護人材実態調査

調査の対象

横須賀市内の全指定介護保険サービス事業所

(福祉用具貸与・販売、居宅療養管理指導、介護予防支援、養護老人ホーム及び医療みなし事業所は除く)

実施期間：令和4年11月16日～令和5年1月31日

発送事業所数：570件

事業所票回収数：385件(回収率 67.5%)

介護職員票回収数：1,839件

調査の目的

- ・介護人材実態調査では、介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去1年間の採用・離職の状況、各事業所の①従業員の過不足状況とその理由、②従業員確保の方策、③需給の状況、④事業所運営上の問題点などを把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、地域内の介護人材の確保・サービス提供方法の改善などにつなげていくことを目的としています。

調査の概要

- ・アンケートは、事業所票については事業所、施設・居住系サービスの管理者の方などに、職員票については各事業所で勤務する介護職員の方に回答をお願いしました。
- ・このアンケートにおける「介護職員」とは、直接介護を行う職員を指し、訪問介護員も含むこととします。資格の有無にかかわらず、現在主に直接介護を行っている職員を対象とします。また、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません)

注目すべきポイント

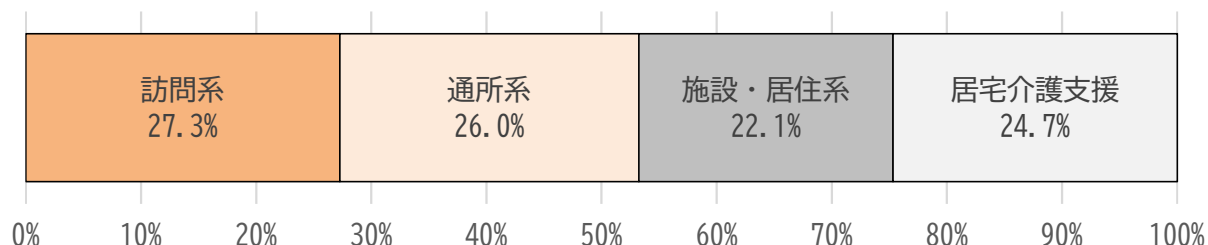
- ・サービス系統別の、介護職員の性別・雇用形態別の年齢構成は？
(サービス系統別に大きな偏りはみられないか)
- ・過去1年間の、サービス系統別の採用・離職の実態は？
(要介護者数の増加に比して、介護職員数は増加しているか)
- ・訪問介護のサービス提供に、見直しの余地はないか？
(生活援助について、地域のボランティア等が担う余地はないか)

1. 調査の結果（事業所票）

回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

（1）サービス種別の類型化

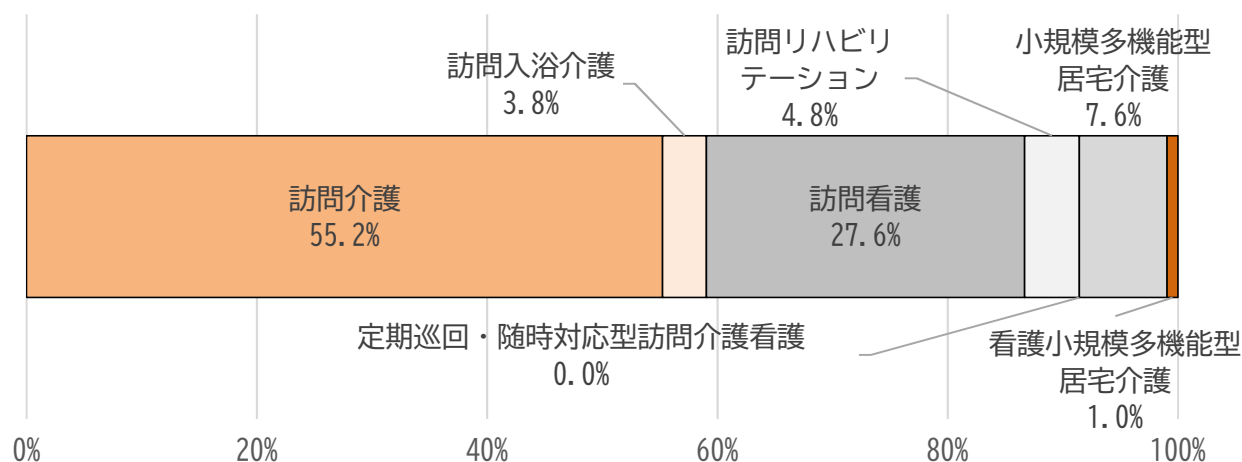
① 事業所の割合（全体）



回答事業所数：385事業所

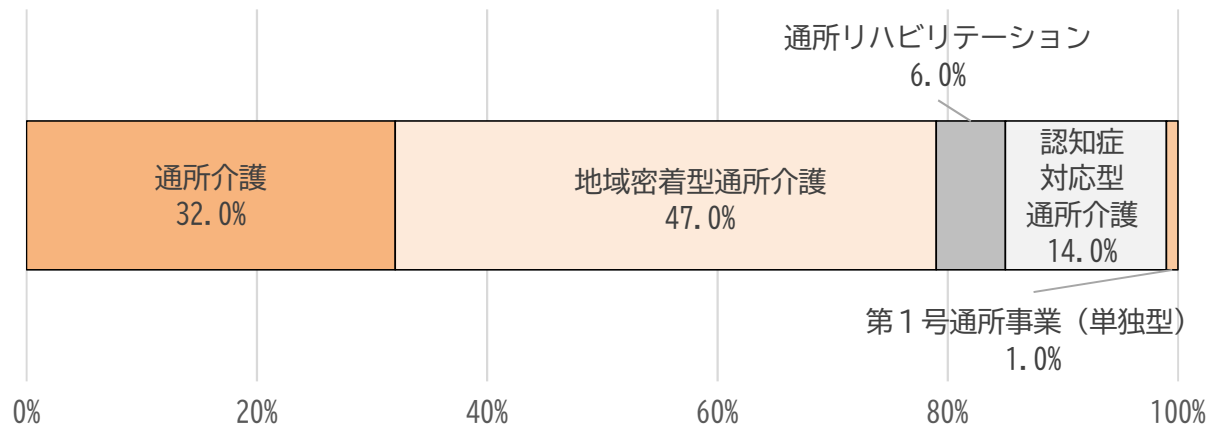
② 事業所の割合（各サービス種別の内訳）

【訪問系】



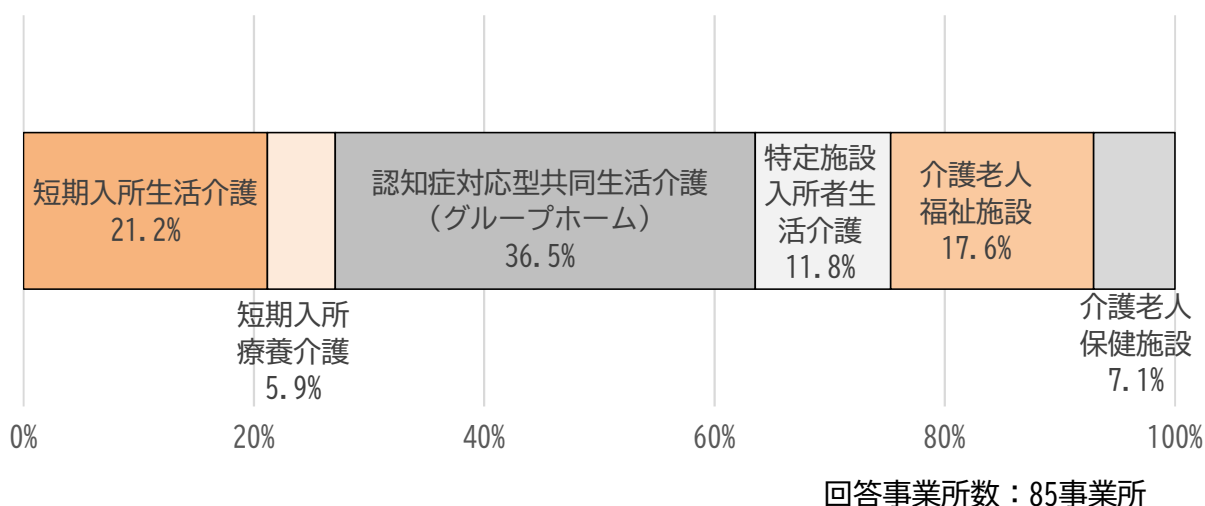
回答事業所数：105事業所

【通所系】



回答事業所数：100事業所

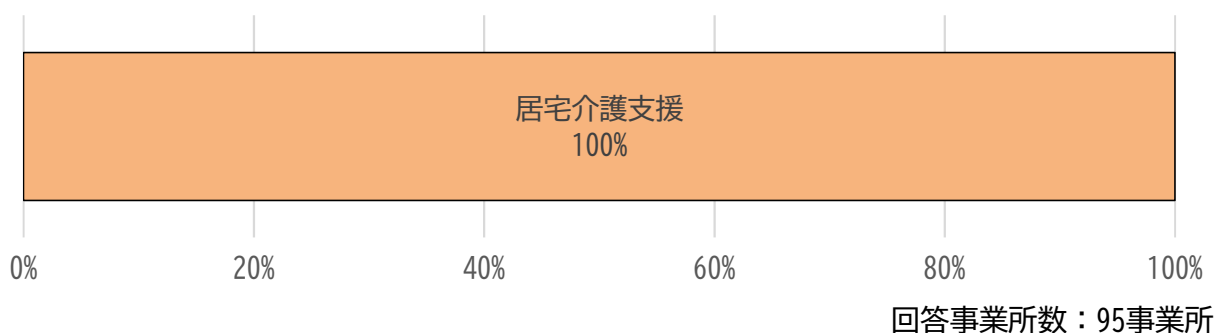
【施設・居住系】



※短期入所生活介護・短期入所療養介護…ショートステイ

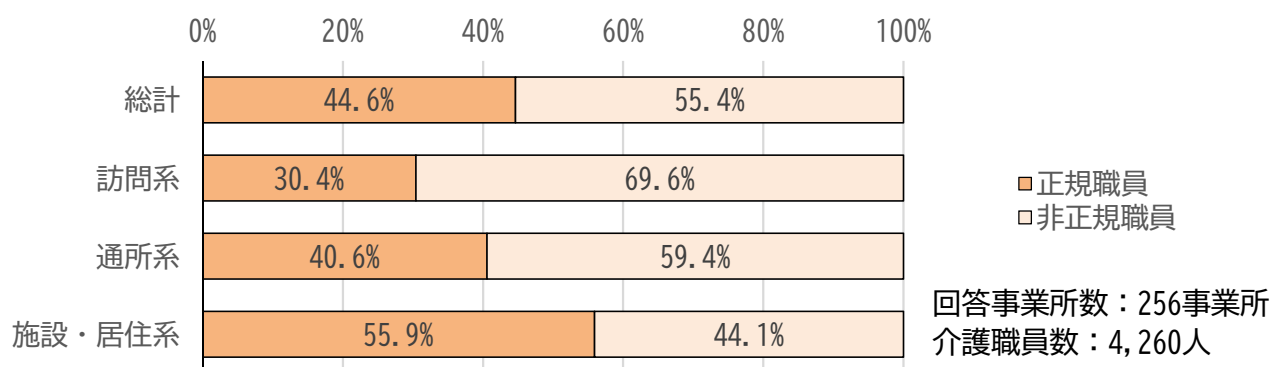
※介護老人福祉施設…特別養護老人ホーム

【居宅介護支援系】



（２） 介護職員数の変化について

① 介護職員の総数



※「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

※介護職員を雇用している事業所が対象です。

② 介護職員数の変化

サービス 系統 (該当事業所数)	職員総数 (人)			採用者数 (人)			離職者数 (人)			昨年比 (%)		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス (n=256)	1,902	2,358	4,260	243	371	614	228	317	545	100.8	102.3	101.6
訪問系 (n=71)	396	906	1,302	50	95	145	47	85	132	100.8	101.1	101.0
通所系 (n=100)	391	573	964	47	93	140	32	77	109	104.0	102.9	103.3
施設・居住系 (n=85)	1,115	879	1,994	146	183	329	149	155	304	99.7	103.3	101.3

③ 年齢・雇用形態別の過去1年間の採用者

【実数】

	総計(n=256)		訪問系(n=71)		通所系(n=100)		施設・居住系(n=85)	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
20歳未満	5人	8人	0人	0人	2人	1人	3人	7人
20～29歳	44人	50人	11人	7人	8人	7人	25人	36人
30～39歳	47人	53人	10人	12人	9人	11人	28人	30人
40～49歳	72人	81人	14人	23人	13人	26人	45人	32人
50～59歳	47人	97人	11人	24人	11人	25人	25人	48人
60～69歳	19人	59人	4人	18人	4人	18人	11人	23人
70～79歳	9人	23人	0人	11人	0人	5人	9人	7人
80歳以上	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
年齢不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

【割合】

	総計(n=256)		訪問系(n=71)		通所系(n=100)		施設・居住系(n=85)	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
20歳未満	0.8%	1.3%	0.0%	0.0%	1.4%	0.7%	0.9%	2.1%
20～29歳	7.2%	8.1%	7.6%	4.8%	5.7%	5.0%	7.6%	10.9%
30～39歳	7.7%	8.6%	6.9%	8.3%	6.4%	7.9%	8.5%	9.1%
40～49歳	11.7%	13.2%	9.7%	15.9%	9.3%	18.6%	13.7%	9.7%
50～59歳	7.7%	15.8%	7.6%	16.6%	7.9%	17.9%	7.6%	14.6%
60～69歳	3.1%	9.6%	2.8%	12.4%	2.9%	12.9%	3.3%	7.0%
70～79歳	1.5%	3.7%	0.0%	7.6%	0.0%	3.6%	2.7%	2.1%
80歳以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

④ 年齢・雇用形態別の過去1年間の離職者

【実数】

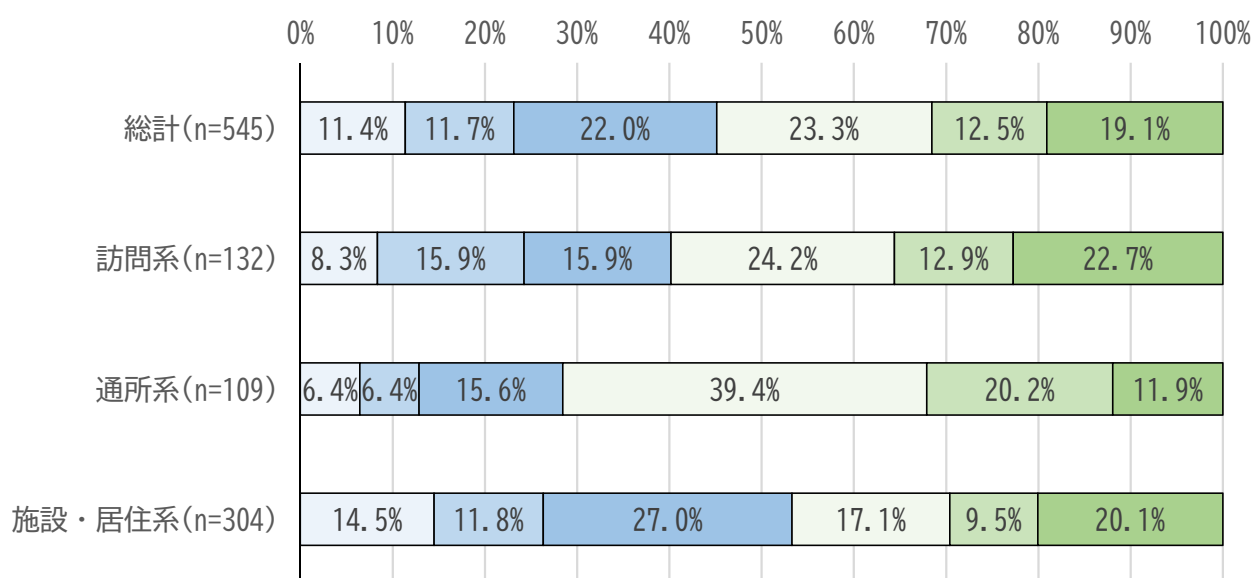
	総計(n=256)		訪問系(n=71)		通所系(n=100)		施設・居住系(n=85)	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
20歳未満	2人	3人	1人	0人	0人	0人	1人	3人
20～29歳	28人	26人	5人	6人	2人	5人	21人	15人
30～39歳	42人	47人	5人	7人	5人	14人	32人	26人
40～49歳	64人	72人	11人	18人	11人	17人	42人	37人
50～59歳	67人	65人	18人	17人	9人	23人	40人	25人
60～69歳	21人	65人	6人	20人	4人	9人	11人	36人
70～79歳	4人	38人	1人	17人	1人	9人	2人	12人
80歳以上	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
年齢不明	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

【割合】

	総計(n=256)		訪問系(n=71)		通所系(n=100)		施設・居住系(n=85)	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
20歳未満	0.4%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.0%
20～29歳	5.1%	4.8%	3.8%	4.5%	1.8%	4.6%	6.9%	4.9%
30～39歳	7.7%	8.6%	3.8%	5.3%	4.6%	12.8%	10.5%	8.6%
40～49歳	11.7%	13.2%	8.3%	13.6%	10.1%	15.6%	13.8%	12.2%
50～59歳	12.3%	11.9%	13.6%	12.9%	8.3%	21.1%	13.2%	8.2%
60～69歳	3.9%	11.9%	4.5%	15.2%	3.7%	8.3%	3.6%	11.8%
70～79歳	0.7%	7.0%	0.8%	12.9%	0.9%	8.3%	0.7%	3.9%
80歳以上	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
年齢不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

⑤ 過去1年間の離職者の勤務年数ごとの内訳

サービス系統 (該当事業所数)	離職者の勤務年数ごとの内訳					
	1年未満		1年以上3年未満		3年以上	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
全サービス(n=256)	62人	127人	64人	68人	120人	104人
訪問系(n=71)	11人	32人	21人	17人	21人	30人
通所系(n=100)	7人	43人	7人	22人	17人	13人
施設・居住系(n=85)	44人	52人	36人	29人	82人	61人

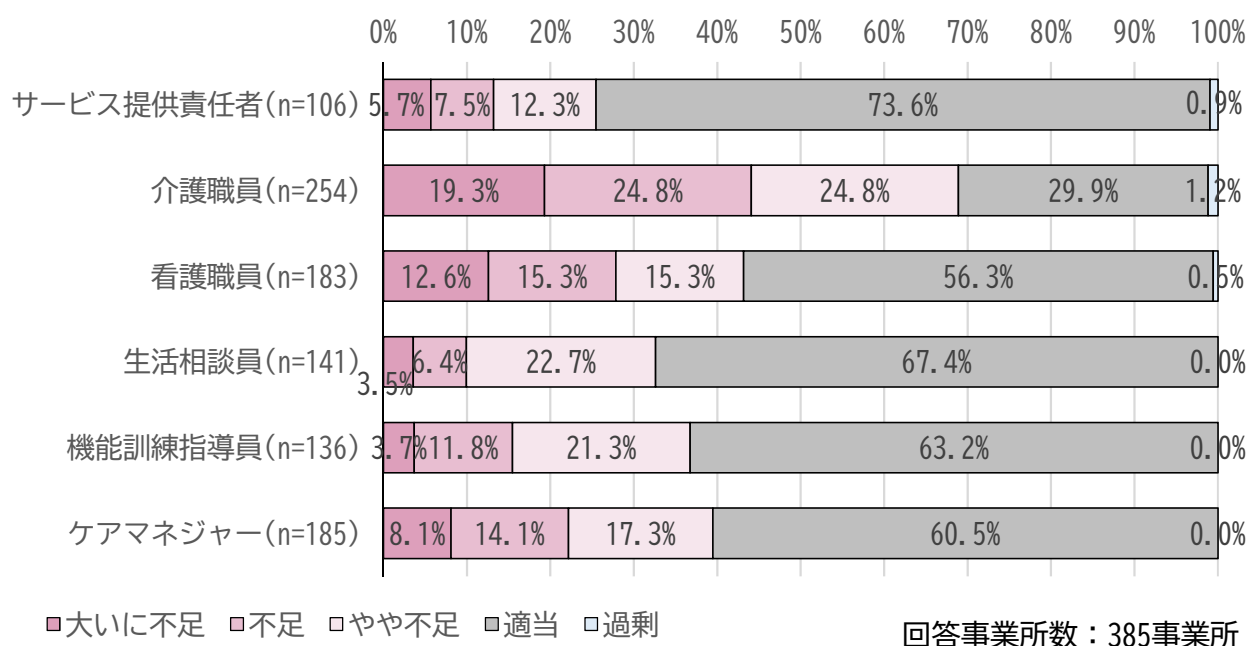


☐ 正規職員(1年未満) ☐ 正規職員(1年以上3年未満) ☐ 正規職員(3年以上)
☐ 非正規職員(1年未満) ☐ 非正規職員(1年以上3年未満) ☐ 非正規職員(3年以上)

回答事業所数：256 事業所
 離職者数 ：545 人

(3) 事業所における従業員の過不足について

① 従業員の過不足状況



② 従業員が不足している理由（すべてを選択）

	総計 (n=251)	訪問系 (n=78)	通所系 (n=64)	施設・居住系 (n=67)	居宅介護支援 (n=42)
採用が困難 (募集しても人が 集まらない等)	88.0%	84.6%	82.8%	100.0%	83.3%
離職率が高い	19.9%	20.5%	14.1%	32.8%	7.1%
事業を拡大して 人が足りない	5.2%	10.3%	1.6%	1.5%	7.1%
その他	10.8%	14.1%	17.2%	0.0%	11.9%
無効・無回答	1.6%	1.3%	1.6%	0.0%	4.8%

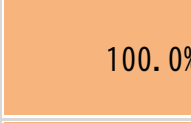
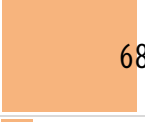
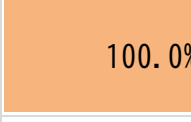
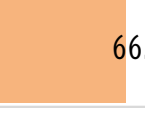
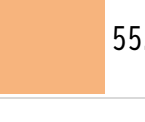
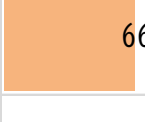
回答事業所数：251 事業所

③ 採用が困難な理由（すべてを選択）

	総計 (n=221)	訪問系 (n=66)	通所系 (n=53)	施設・居住系 (n=67)	居宅介護支援 (n=35)
他業種に比べ 賃金水準が低い	66.1%	56.1%	71.7%	70.1%	68.6%
資格や技術を持った 人材が地域に不足し ている	34.4%	33.3%	34.0%	35.8%	34.3%
同業他社との人材 獲得競争が厳しい	51.6%	62.1%	47.2%	59.7%	22.9%
仕事がつい（身体 的・精神的）という イメージがある	58.4%	63.6%	45.3%	62.7%	60.0%
雇用が不安定という イメージがある	12.7%	24.2%	11.3%	3.0%	11.4%
社会的評価が低いと いうイメージがある	36.7%	53.0%	34.0%	23.9%	34.3%
その他	11.8%	9.1%	18.9%	10.4%	8.6%
無効・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

回答事業所数：221 事業所

④ 離職率が高い理由（すべてを選択）

	総計 (n=50)	訪問系 (n=16)	通所系 (n=9)	施設・居住系 (n=22)	居宅介護支援 (n=3)
勤務時間が長い	 16.0%	 18.8%	 0.0%	 18.2%	 33.3%
休暇が取りにくい	 42.0%	 37.5%	 44.4%	 50.0%	 0.0%
仕事がきつい（身体的・精神的）	 62.0%	 62.5%	 11.1%	 77.3%	 100.0%
賃金が低い（業務量と見合わない）	 68.0%	 43.8%	 77.8%	 77.3%	 100.0%
キャリアアップの機会が不十分	 16.0%	 18.8%	 11.1%	 18.2%	 0.0%
社会的評価が低いと感じる	 22.0%	 31.3%	 11.1%	 22.7%	 0.0%
職場の人間関係	 40.0%	 37.5%	 66.7%	 36.4%	 0.0%
利用者やその家族との人間関係	 18.0%	 25.0%	 0.0%	 18.2%	 33.3%
身内のケア（介護・看護・育児等）	 22.0%	 25.0%	 22.2%	 22.7%	 0.0%
定年や高齢になったため	 36.0%	 31.3%	 55.6%	 36.4%	 0.0%
その他	 18.0%	 12.5%	 0.0%	 22.7%	 66.7%
無効・無回答	 0.0%	 0.0%	 0.0%	 0.0%	 0.0%

回答事業所数：50 事業所

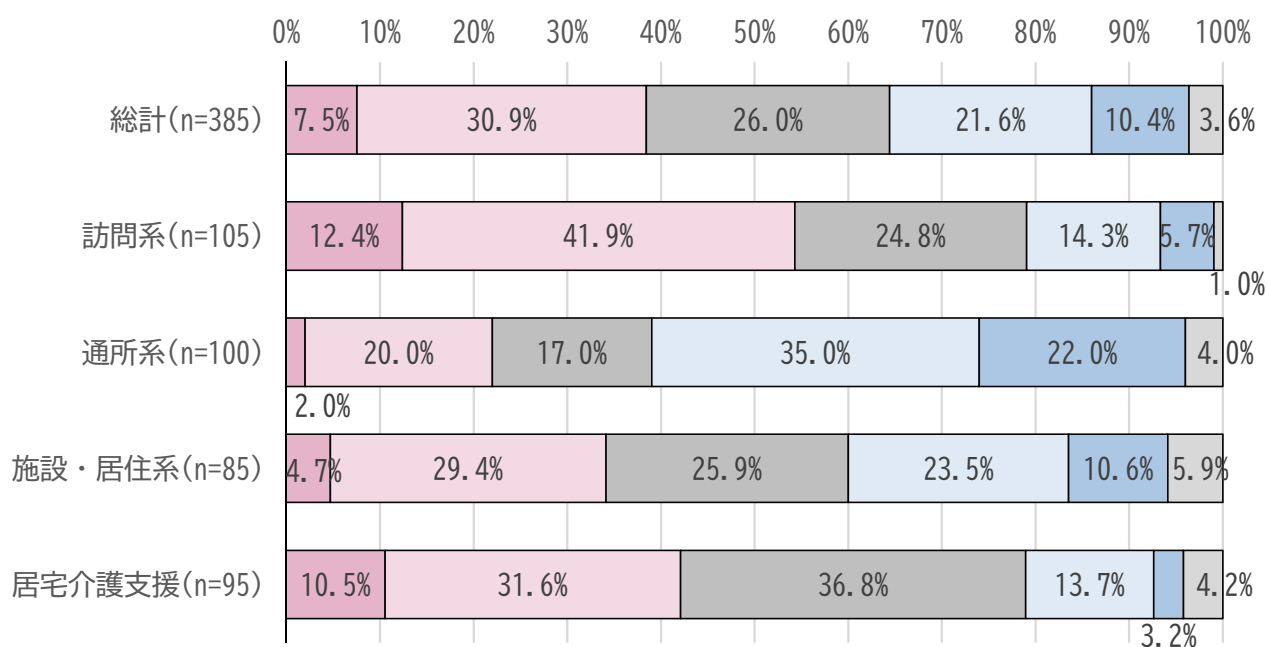
- ⑤ 今後の要介護・要支援認定者の増加に伴う介護需要の増加と人材不足を見込み、
今後の人材不足の状況を克服するために、事業所として優先度の高い方策
(3つまで選択)

	総計 (n=385)	訪問系 (n=105)	通所系 (n=100)	施設・居住系 (n=85)	居宅介護支援 (n=95)
職員の離職防止・ 定着促進	57.1%	59.0%	55.0%	65.9%	49.5%
若手職員の新規採用	44.9%	46.7%	42.0%	49.4%	42.1%
高齢者（アクティブ シニア層）の活用	15.8%	15.2%	14.0%	17.6%	16.8%
介護助手や 未経験者の活用	14.8%	11.4%	22.0%	22.4%	4.2%
外国人労働者の活用	11.7%	11.4%	15.0%	18.8%	2.1%
介護業界の イメージアップ	23.9%	18.1%	31.0%	17.6%	28.4%
若い世代への 介護の仕事のPR	20.8%	24.8%	21.0%	20.0%	16.8%
介護ロボットや ICTの導入による 職員の負担軽減	14.8%	11.4%	16.0%	18.8%	13.7%
業務の効率化や 生産性向上	44.7%	46.7%	43.0%	34.1%	53.7%
無効・無回答	6.2%	4.8%	5.0%	8.2%	7.4%

回答事業所数：385 事業所

(4) 介護事業所の運営について

① 事業所が受けられる利用者の数（供給※¹）と 事業所の利用を希望する人の数（需要※²）の関係



- 需要が供給を大きく上回る（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者の方が多い）
- 需要が供給をやや上回る（待機やお断りをせざるを得ない利用希望者の方がある）
- 需給が均衡
- 需要が供給をやや下回る（利用者が事業所の受け入れ可能人数より若干少ない）
- 需要が供給を大きく下回る（利用者が事業所の受け入れ可能人数より少ない）
- 無効・無回答

回答事業所数：385 事業所

※1 供給は、定員、ベッド数、人員体制等

※2 需要には、現在の利用者も含める

② 運営上の問題点（すべてを選択）

	総計 (n=385)	訪問系 (n=105)	通所系 (n=100)	施設・ 居住系 (n=85)	居宅 介護支援 (n=95)
今の介護報酬では、人材の確保・ 定着のために十分な賃金を払えない	55.8%	47.6%	53.0%	62.4%	62.1%
経営（収支）が苦しく、労働条件や 労働環境改善をしたくてもできない	39.5%	30.5%	44.0%	54.1%	31.6%
良質な人材の確保が難しい	62.9%	62.9%	65.0%	76.5%	48.4%
新規利用者の確保が難しい	29.6%	26.7%	39.0%	42.4%	11.6%
介護従事者の介護業務に関する 知識や技術が不足している	20.0%	14.3%	28.0%	29.4%	9.5%
介護従事者の介護業務に挑む意欲や 姿勢に問題がある	16.6%	18.1%	15.0%	23.5%	10.5%
管理者の指導・管理能力が不足して いる	15.1%	21.9%	14.0%	16.5%	7.4%
教育・研修の時間が十分に取れない	38.2%	44.8%	33.0%	43.5%	31.6%
介護従事者間のコミュニケーション が不足している	12.5%	12.4%	14.0%	18.8%	5.3%
経営者・管理者と職員間のコミュニ ケーションが不足している	15.1%	20.0%	10.0%	17.6%	12.6%
利用者や利用者の家族の介護サービ スに対する理解が不足している	14.3%	19.0%	7.0%	9.4%	21.1%
介護保険の改正等についての的確な 情報や説明が得られない	10.1%	9.5%	12.0%	9.4%	9.5%
指定介護サービス提供に関する書類 作成が煩雑で、時間に追われている	55.1%	49.5%	59.0%	54.1%	57.9%
雇用管理等についての情報や指導が 不足している	6.0%	6.7%	1.0%	8.2%	8.4%
その他	7.0%	10.5%	4.0%	7.1%	6.3%
特にない	2.3%	2.9%	4.0%	1.2%	1.1%
無効・無回答	2.3%	1.9%	1.0%	4.7%	2.1%

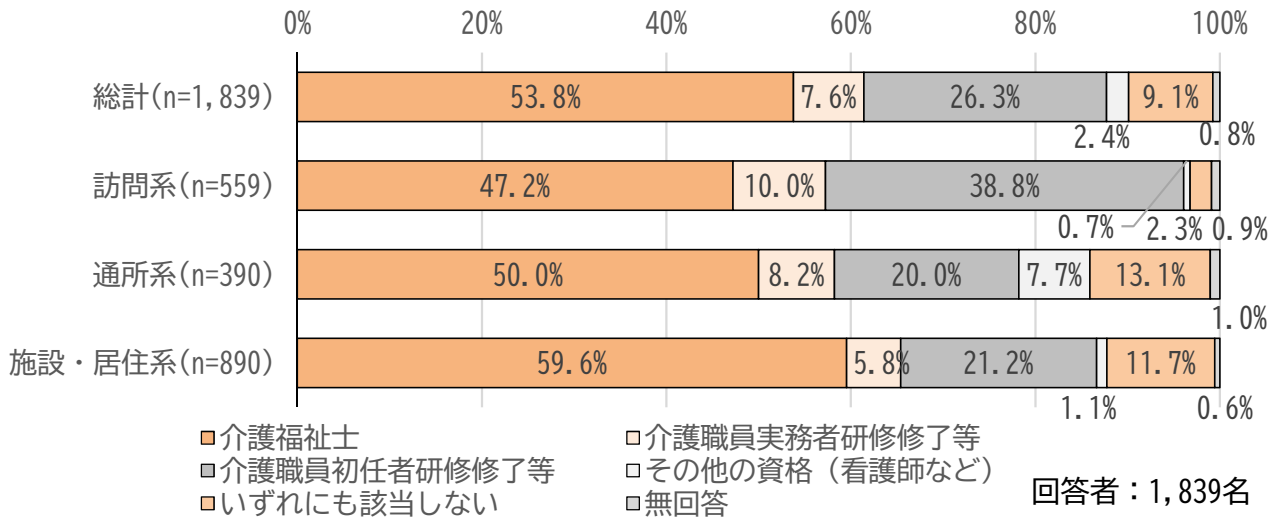
※介護従事者には、介護職員のほか、各専門職を含む

回答事業所数：385 事業所

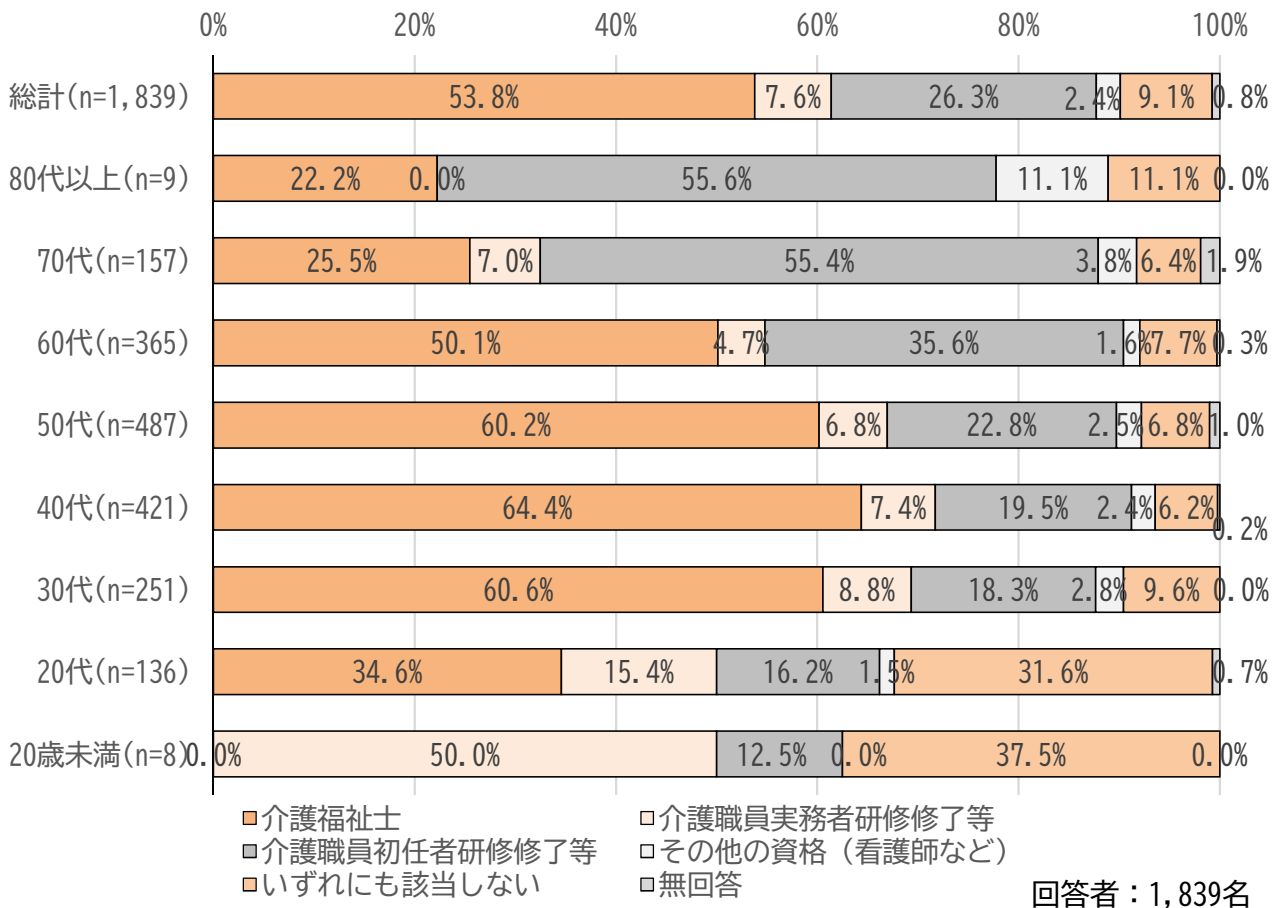
2. 調査の結果（介護職員票）

（1） 資格保有の状況

① サービス系統別

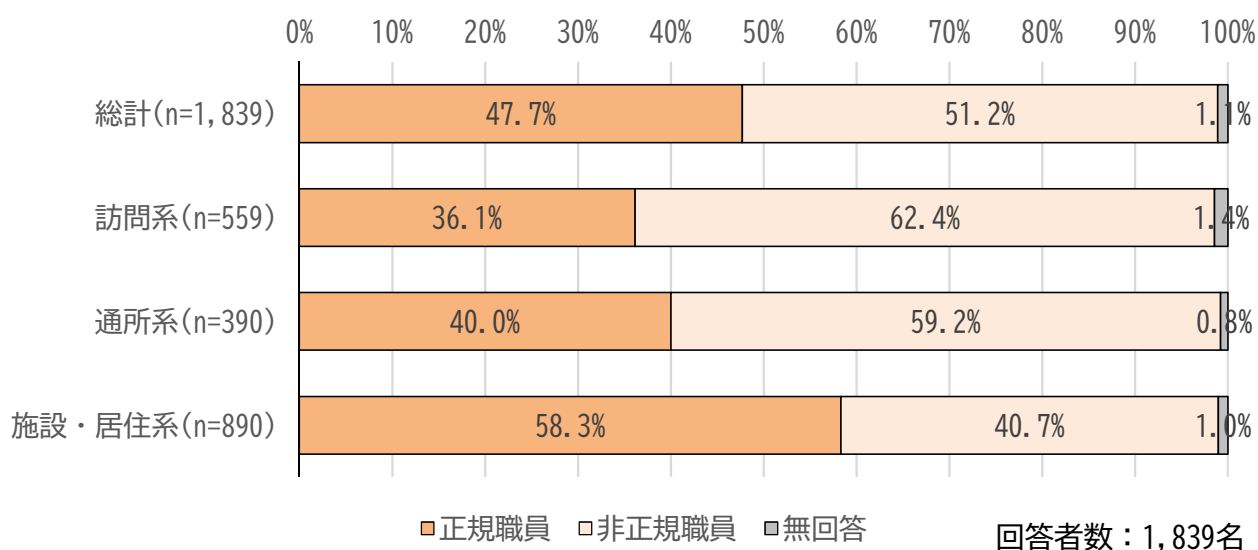


② 年齢別

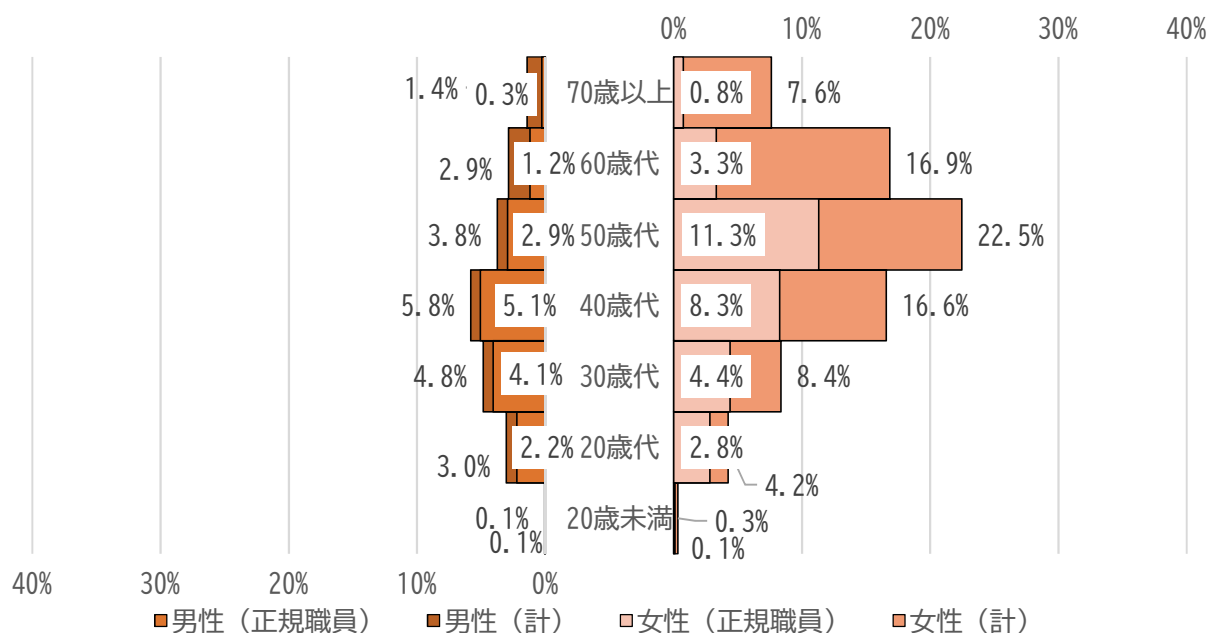


(2) 正規職員・非正規職員の割合と年齢構成

① サービス系統別

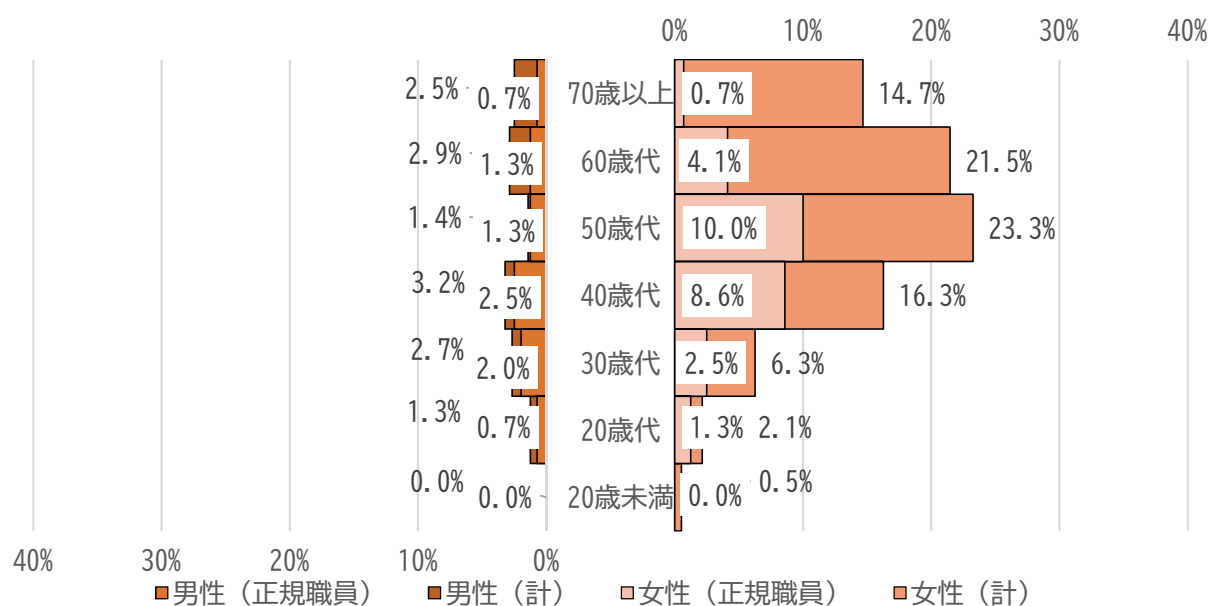


② 性別・年齢別の雇用形態の構成比



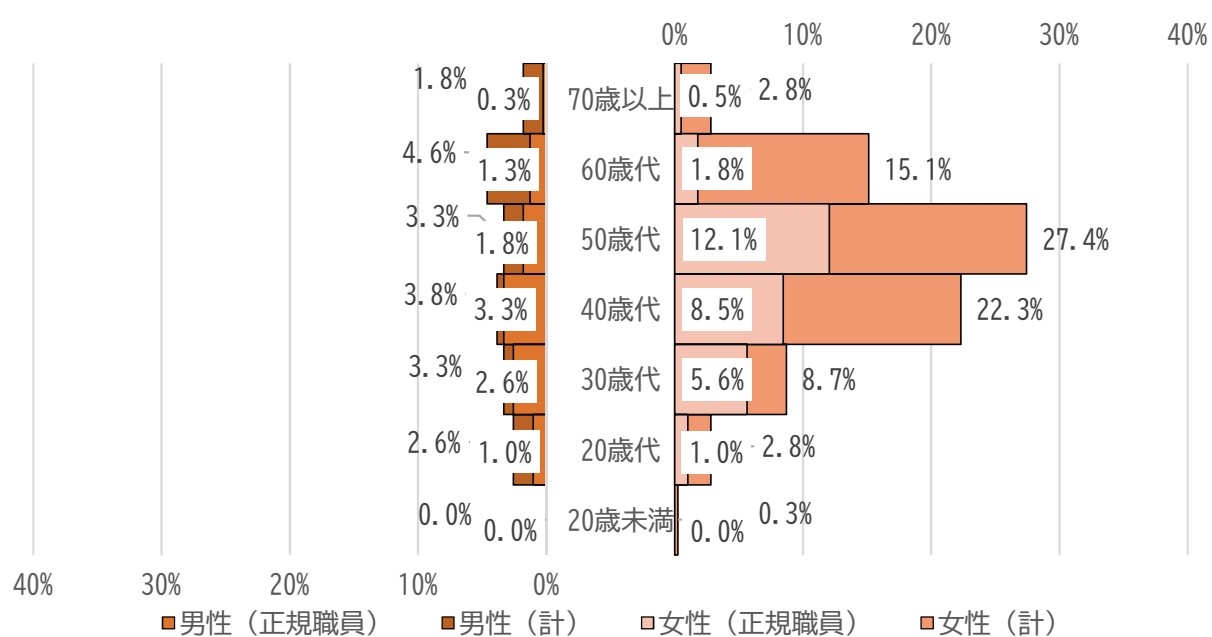
③ 性別・年齢別の雇用形態の構成比（サービス系統別）

【訪問系】



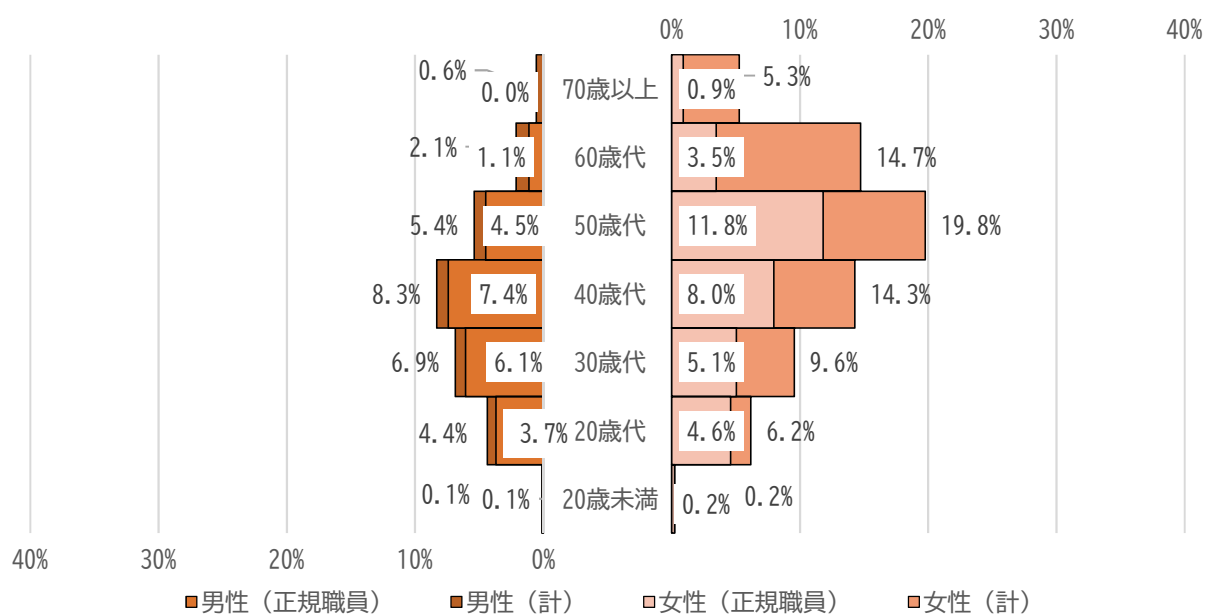
回答者数：559 名

【通所系】



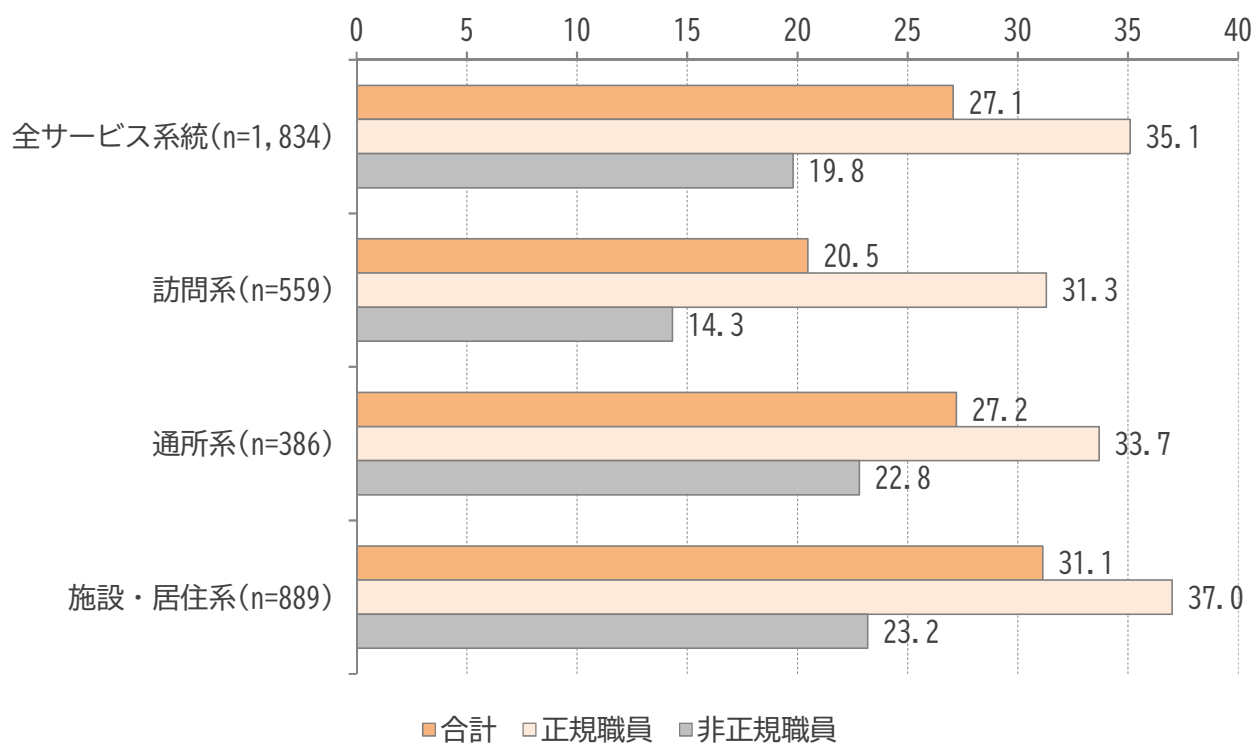
回答者数：390 名

【施設・居住系】



回答者数：890 名

（３） 職員１人あたりの１週間の勤務時間（単位：時間）



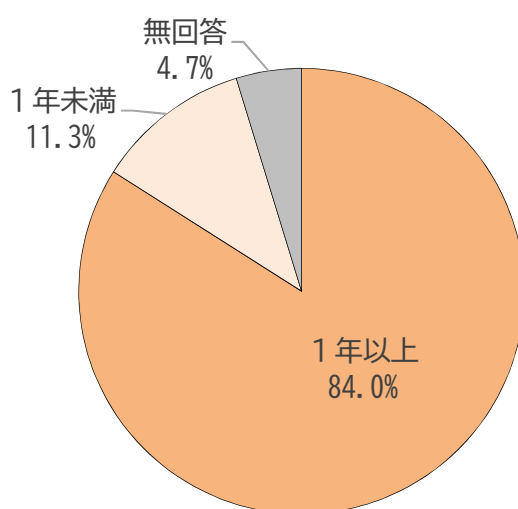
回答者数：1,834 名

※ 1 週間の勤務時間として明らかにふさわしくないもの（168 時間以上など）は除去して集計しています。

(4) 介護職員として働く中で不満に感じていること

	総計 (n=1,839)	訪問系 (n=559)	通所系 (n=390)	施設・居住系 (n=890)
勤務時間が長い	9.2%	3.9%	11.3%	11.6%
休暇が取りにくい	26.7%	21.8%	22.8%	31.5%
仕事がきつい（身体的・精神的）	31.7%	18.2%	22.8%	44.0%
賃金が低い （業務量と見合わない）	52.6%	38.3%	53.1%	61.5%
キャリアアップの機会が不十分	9.9%	6.4%	12.3%	11.0%
社会的評価が低いと感じる	32.1%	25.6%	27.9%	38.0%
職場の人間関係	16.6%	8.2%	20.0%	20.3%
利用者やその家族との人間関係	9.3%	7.0%	9.0%	10.9%
身内のケア（介護・看護・育児等）との両立が難しい	9.3%	8.6%	8.7%	10.0%
その他	4.4%	2.7%	4.6%	5.4%
特にない	18.8%	30.4%	17.7%	11.9%
無回答	4.2%	6.6%	3.8%	2.8%

(5) 現在の職場での勤務年数



回答者数：1,839名

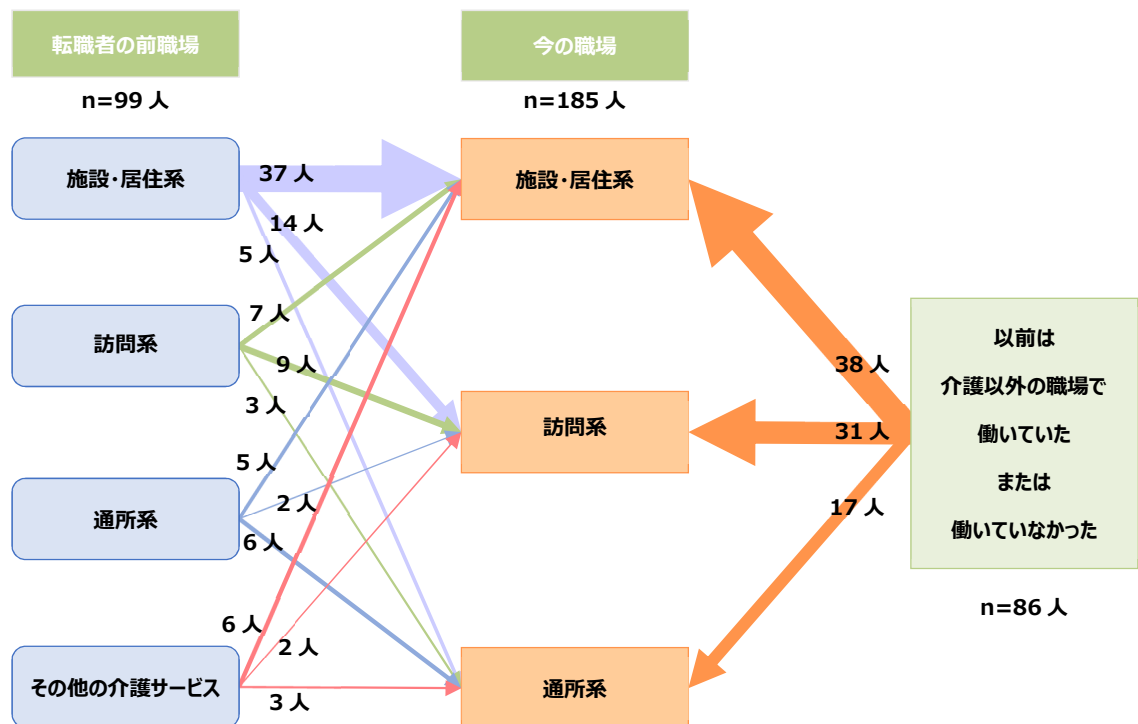
(6) 介護職員の職場の変化

① 前の職場が介護事業所である職員の前の職場の場所

前の職場の場所	現在の職場							
	全サービス系統		訪問系		通所系		施設・居住系	
合計	115 人	100.0%	32 人	100.0%	22 人	100.0%	61 人	100.0%
同一市区町村	77 人	67.0%	26 人	81.3%	14 人	63.6%	37 人	60.7%
他の市区町村	37 人	32.2%	6 人	18.8%	8 人	36.4%	23 人	37.7%

※上表・下表の「全サービス系統」にはサービス系統不詳の事業所を含めています。
また、下表の「合計」には前の職場の場所が不詳の方を含めています。

② 過去1年間の介護職員の職場の変化（同一法人・グループ内での異動は除く）



※上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています

在宅生活改善調査

調査の対象

横須賀市内のすべての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所

実 施 期 間： 令和4年11月16日～令和5年1月31日

発 送 事 業 所 数： 133件

事業所票回収数： 103件（回収率 77.4%）

調査の目的

- ・在宅生活改善調査では、過去1年で在宅生活ではなくなった利用者と、現在居宅サービスを使用しながら自宅等※にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」の、①人数、②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映していくことを目的としています。

※自宅等及びサ高住、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームを「在宅」とする

調査の概要

- ・アンケートは、事業所票を居宅介護支援事業所の管理者の方に、利用者票を居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきました。各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答しました。
- ・それぞれのケアマネジャーが判断する、「生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
- ・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

注目すべきポイント

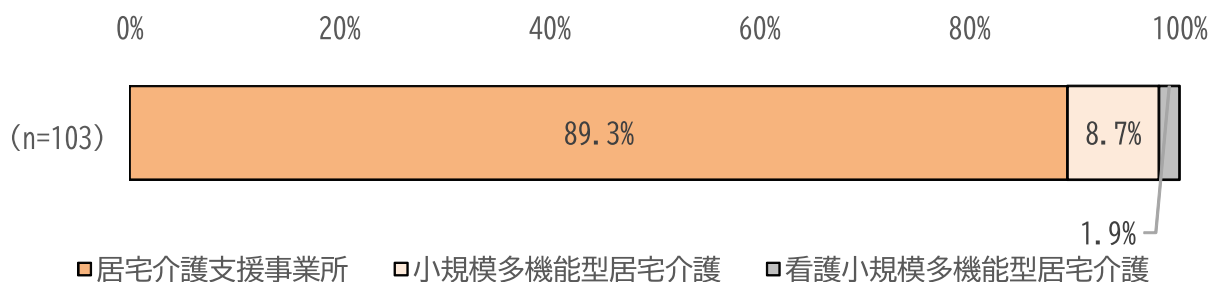
- ・過去1年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人）は、どの程度いるか？
- ・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
- ・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？（サービス提供体制の構築方針の検討）

1. 調査の結果

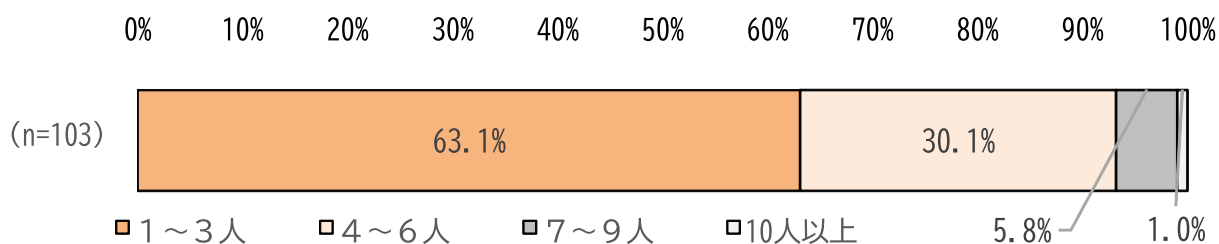
回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(1) 基礎情報

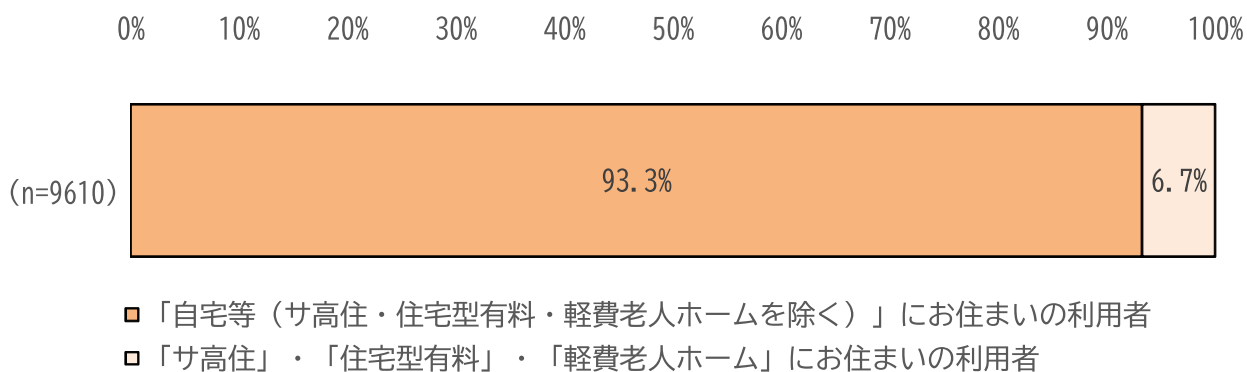
① 回答事業所のサービス種別割合



② 所属するケアマネジャーの数



③ 利用者の居住地



(2) 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者について

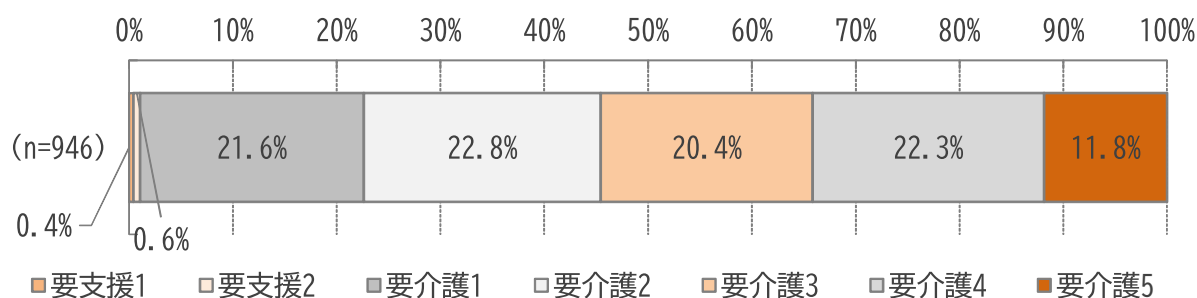
① 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	19 人	27 人	46 人
	2.0%	2.9%	4.9%
住宅型有料老人ホーム	101 人	22 人	123 人
	10.7%	2.3%	13.0%
軽費老人ホーム (特定施設除く)	5 人	1 人	6 人
	0.5%	0.1%	0.6%
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	43 人	12 人	55 人
	4.5%	1.3%	5.8%
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	54 人	8 人	62 人
	5.7%	0.8%	6.6%
特定施設入居者生活介護	52 人	17 人	69 人
	5.5%	1.8%	7.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0 人	0 人	0 人
	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	147 人	19 人	166 人
	15.5%	2.0%	17.5%
介護療養型医療施設・介護医療院	0 人	8 人	8 人
	0.0%	0.8%	0.8%
上記を除く病院・診療所 (一時的な入院を除く)	85 人	10 人	95 人
	10.7%	1.0%	10.0%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	222 人	9 人	231 人
	23.5%	1.0%	24.4%
地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0 人	2 人	2 人
	0.0%	0.2%	0.2%
その他	68 人	10 人	78 人
	7.2%	1.0%	8.2%
把握していない			5 人
			0.5%
合計	796 人	145 人	946 人
	84.1%	15.3%	100.0%

(注1) 過去1年間とは、令和3年10月1日～令和4年9月30日とします。(以下、本調査については同じ扱いとします)

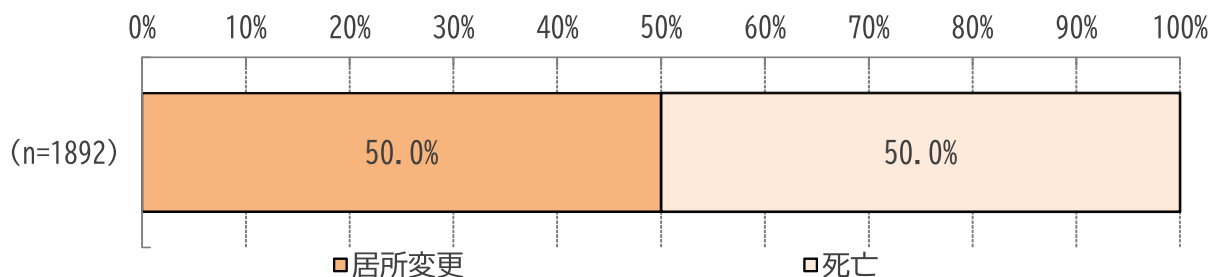
(注2) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

② 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



(注)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

③ 過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



横須賀市全体で、過去1年間に
自宅等から居所を変更した利用者数（粗推計）

➡ 1,222 人

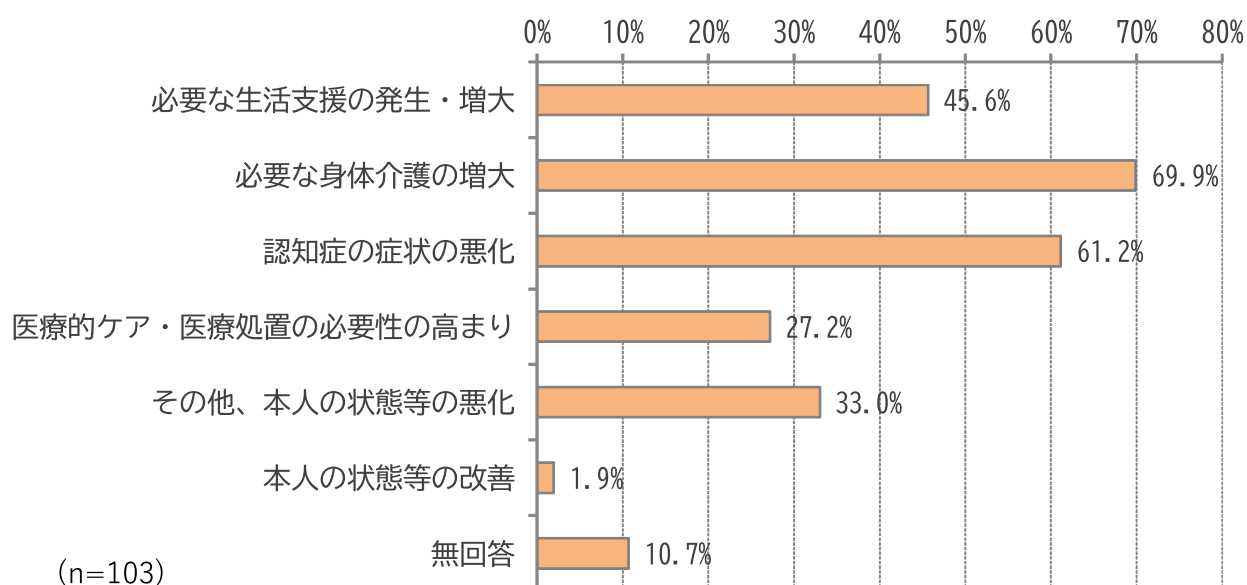
横須賀市全体で、過去1年間に
自宅等で死亡した利用者数（粗推計）

➡ 1,222 人

(注1)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

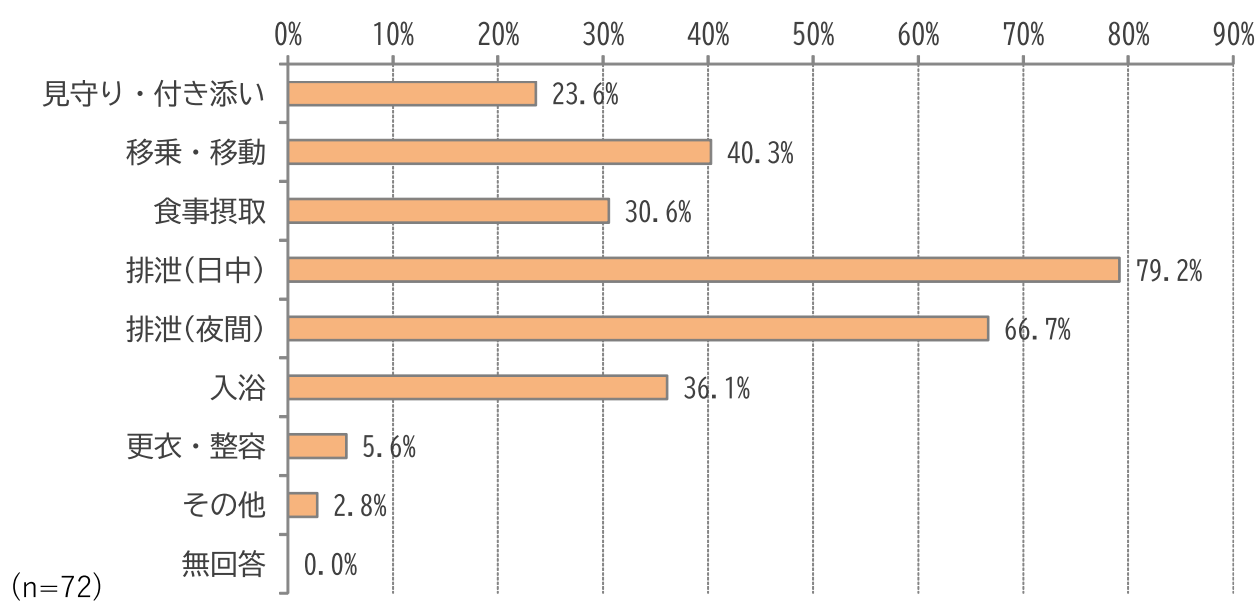
(注2)「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

④ 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の変更した理由（3つまで）



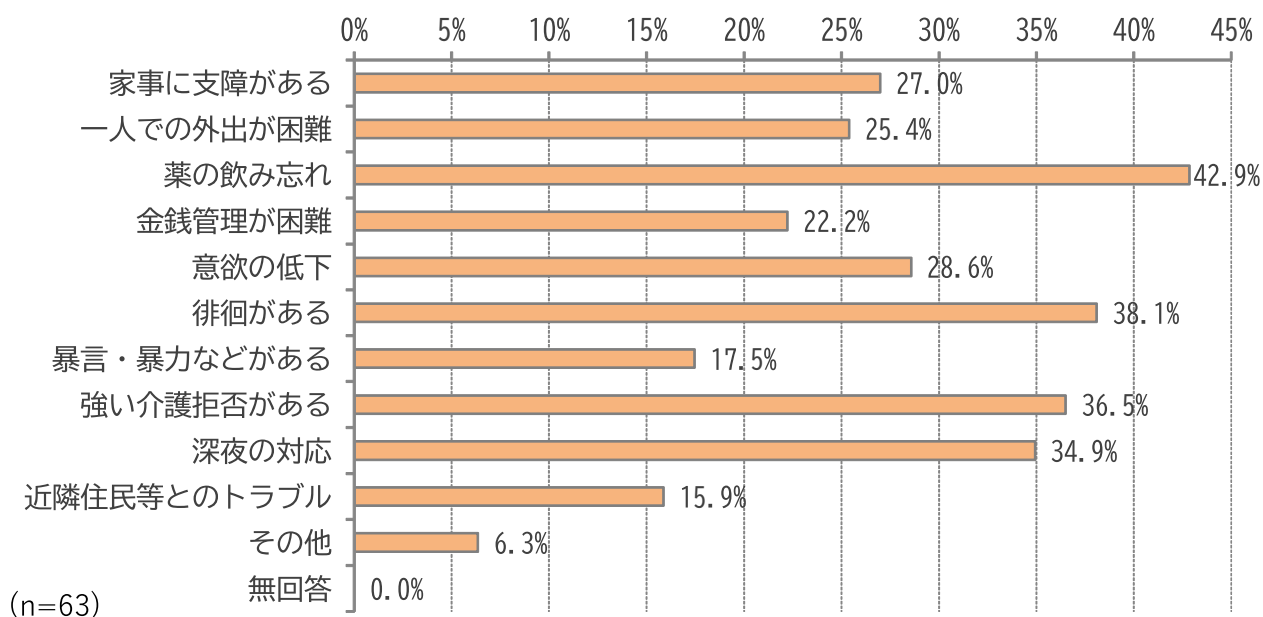
(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

⑤ 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（3つまで）



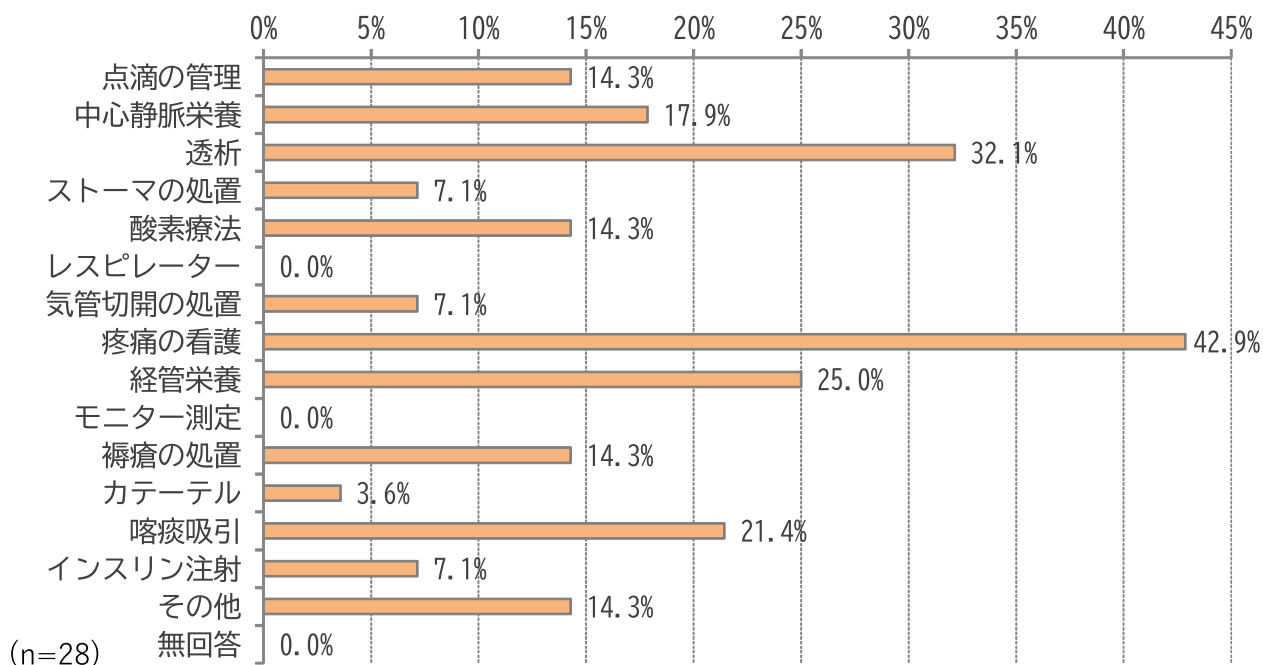
(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

⑥ 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（3つまで）



(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

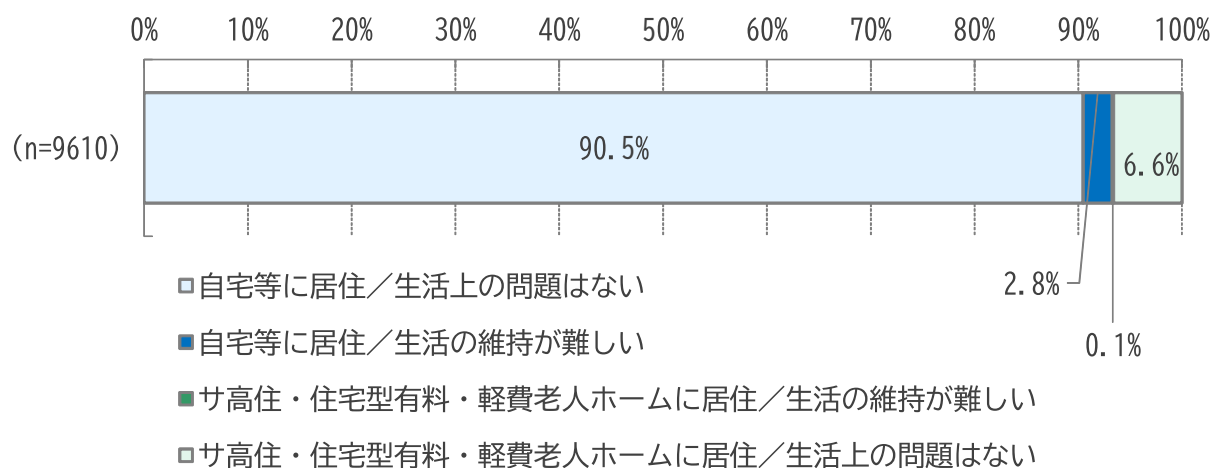
⑦ 「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（3つまで）



(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

(3) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者について

① 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の割合と人数



自宅・サ高住・住宅型有料・

軽費老人ホームに居住する利用者のうち、
生活の維持が難しくなっている割合



2.9%

横須賀市全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数（粗推計）



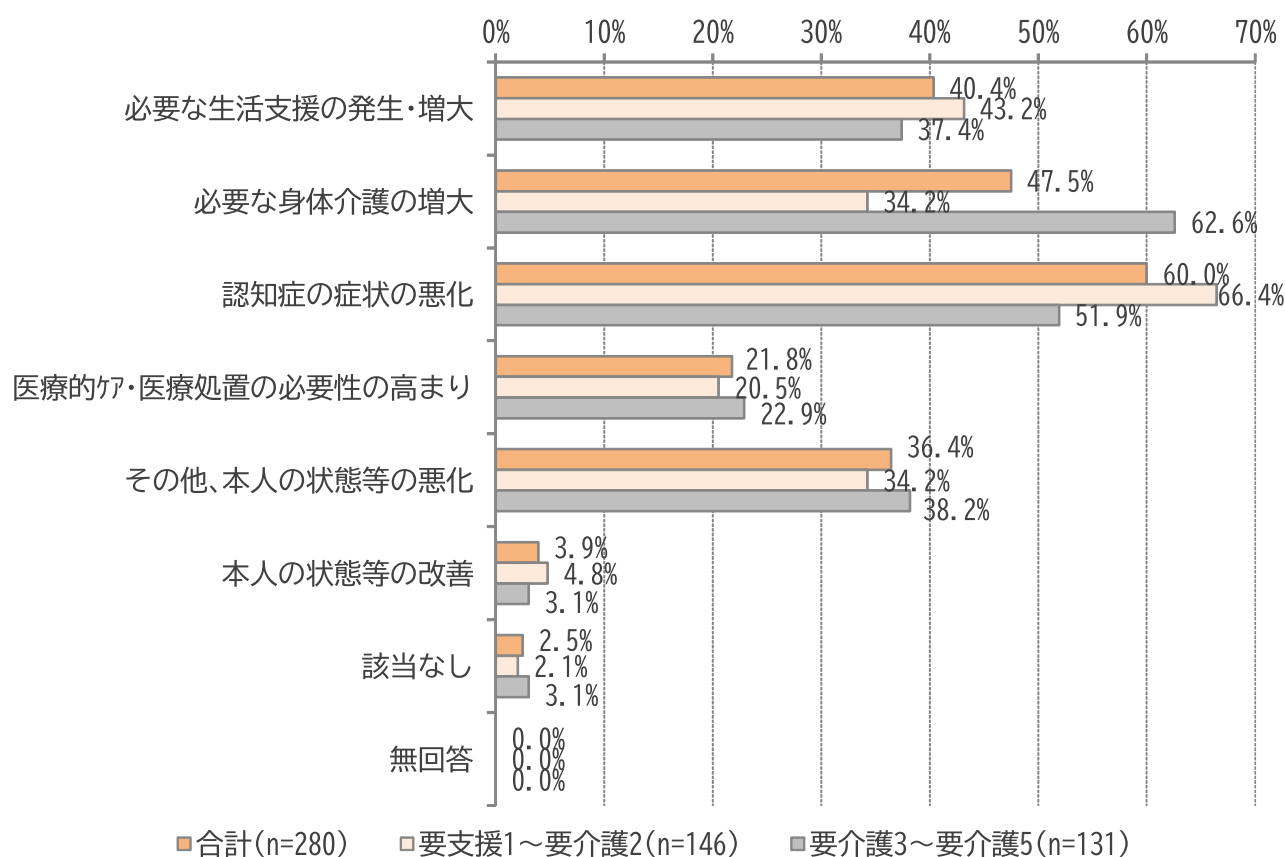
362 人

② 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

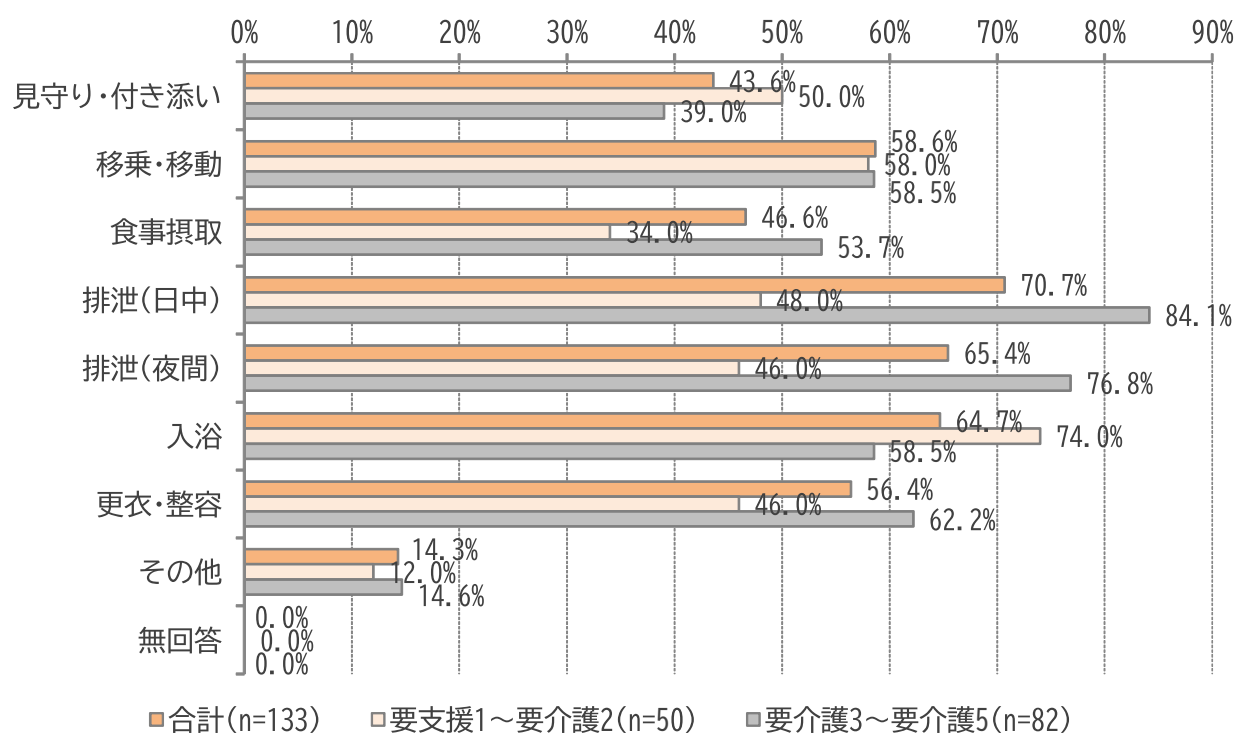
順位 (上位10類型)	回答数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等 (持ち家)	自宅等 (借家)	サ高住・住宅型有料・軽費	介2以下	介3以上
1	54人	70人	19.3%	★				★			★	
2	32人	41人	11.4%		★			★				★
3	25人	32人	8.9%		★			★			★	
3	25人	32人	8.9%	★					★		★	
5	22人	28人	7.9%	★					★			★
6	21人	27人	7.5%				★	★				★
6	21人	27人	7.5%			★		★				★
8	15人	19人	5.4%				★	★			★	
8	15人	19人	5.4%	★				★				★
10	11人	14人	3.9%			★		★			★	
上記以外	39人	53人	13.9%									
合計	280人	362人	100.0%									

(注)「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

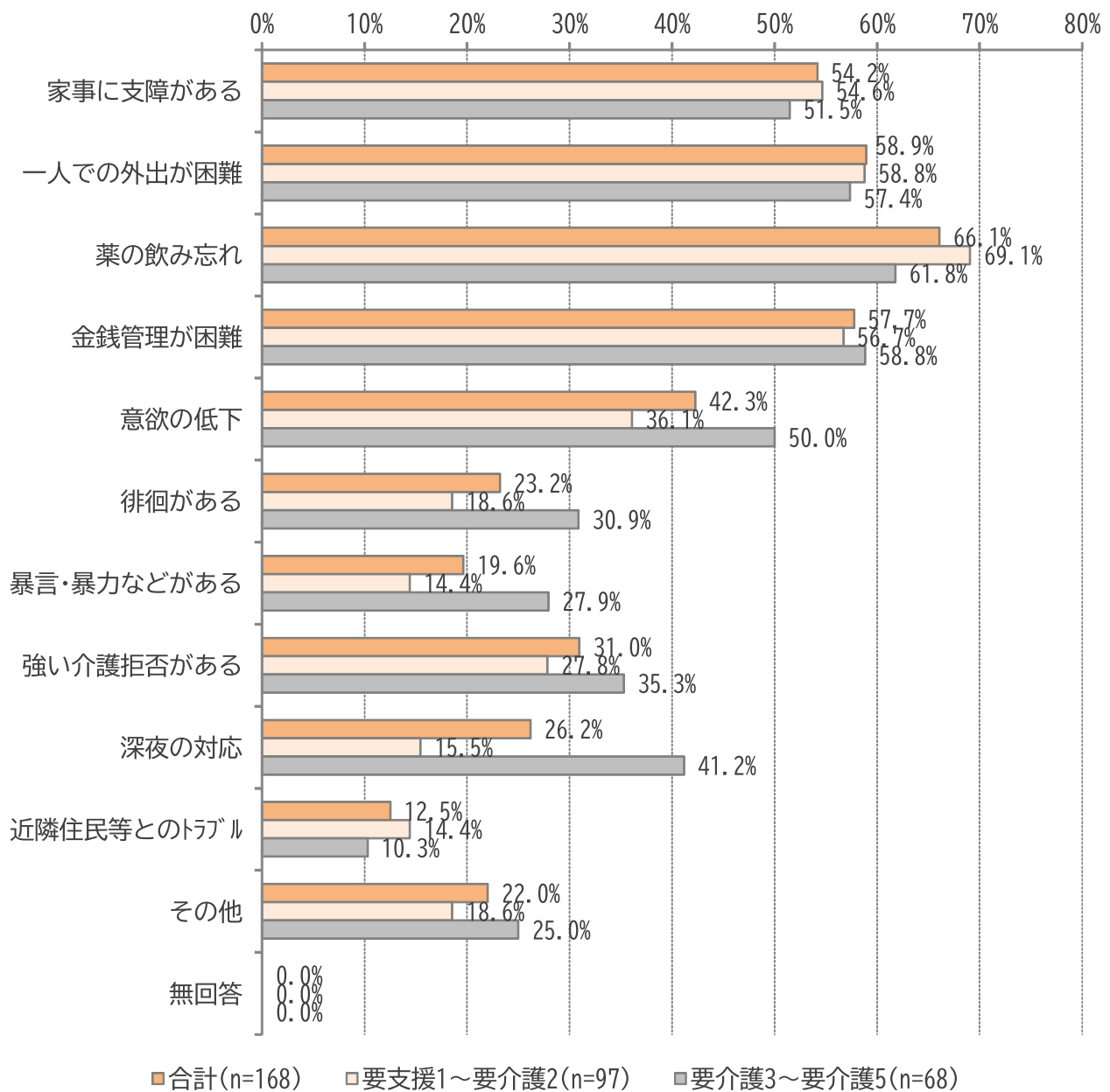
③ 生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態に属する理由、複数回答）



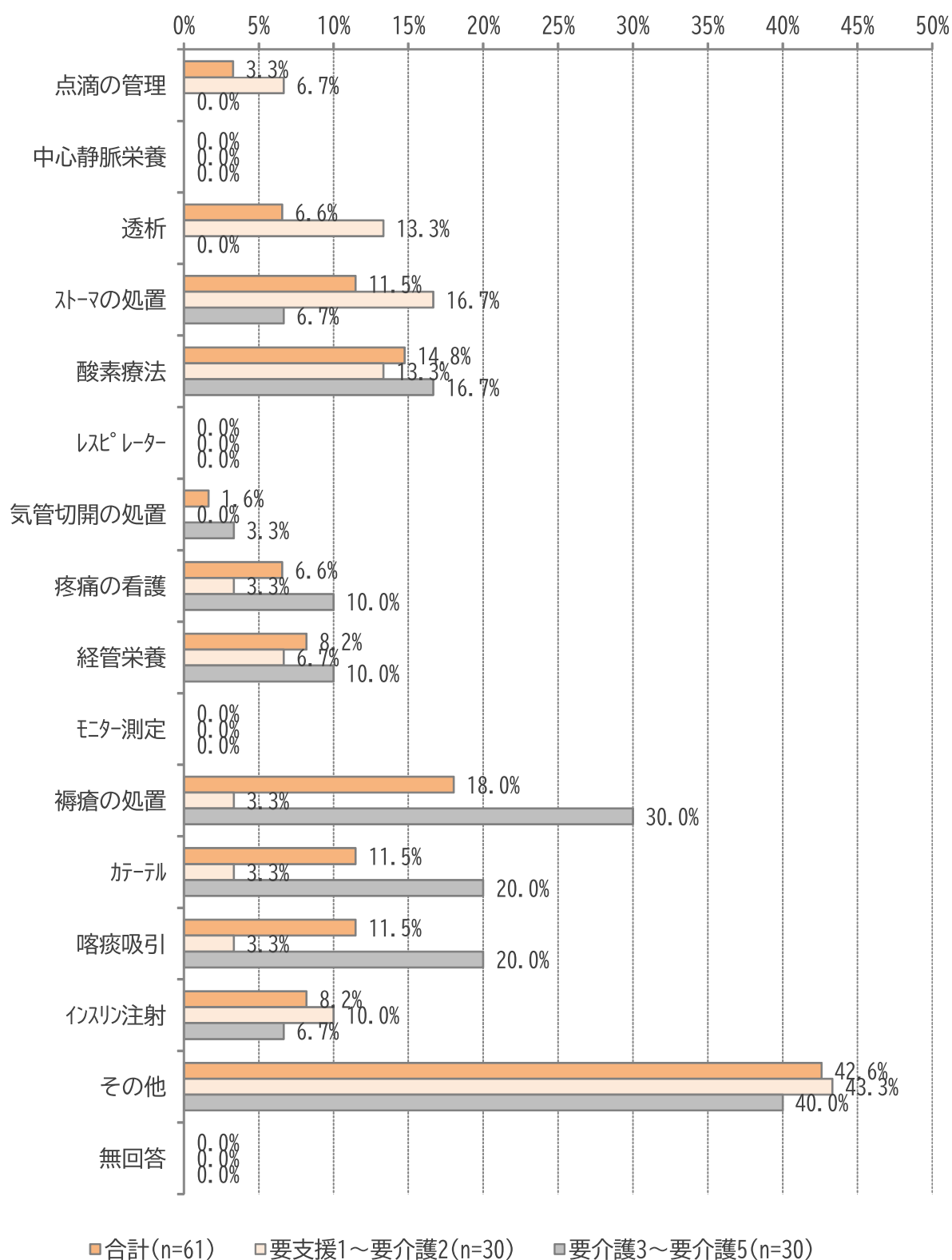
④ 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



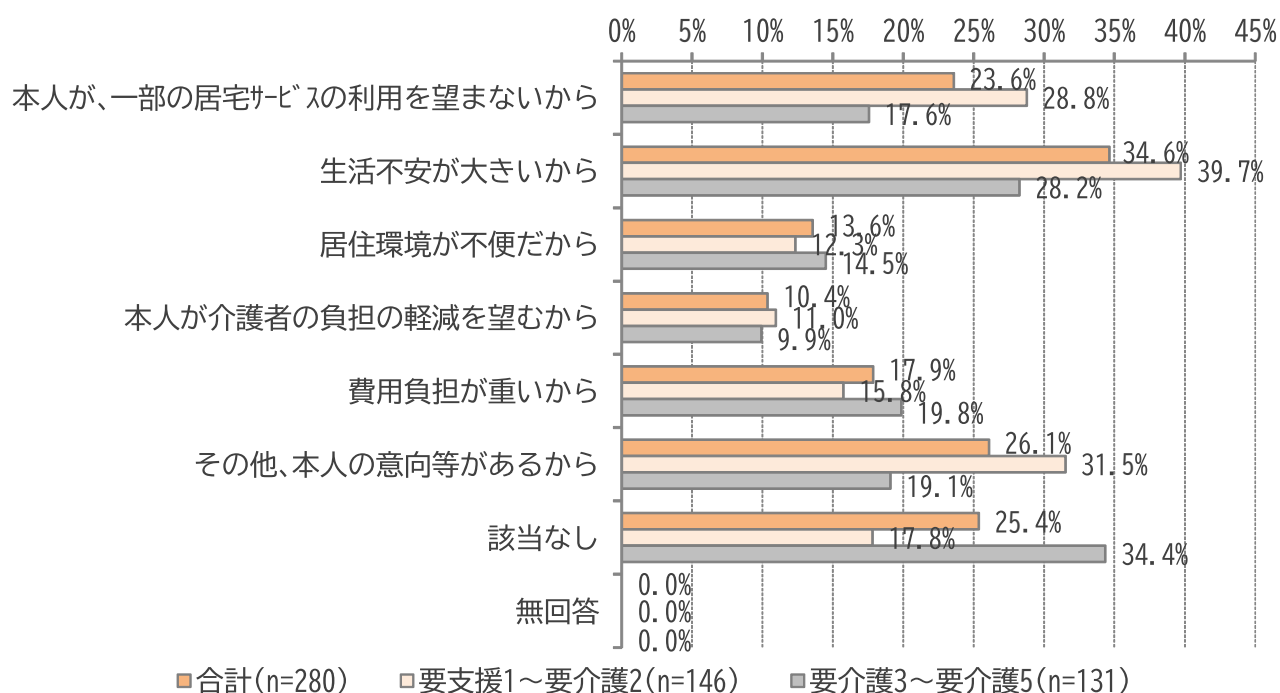
⑤ 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



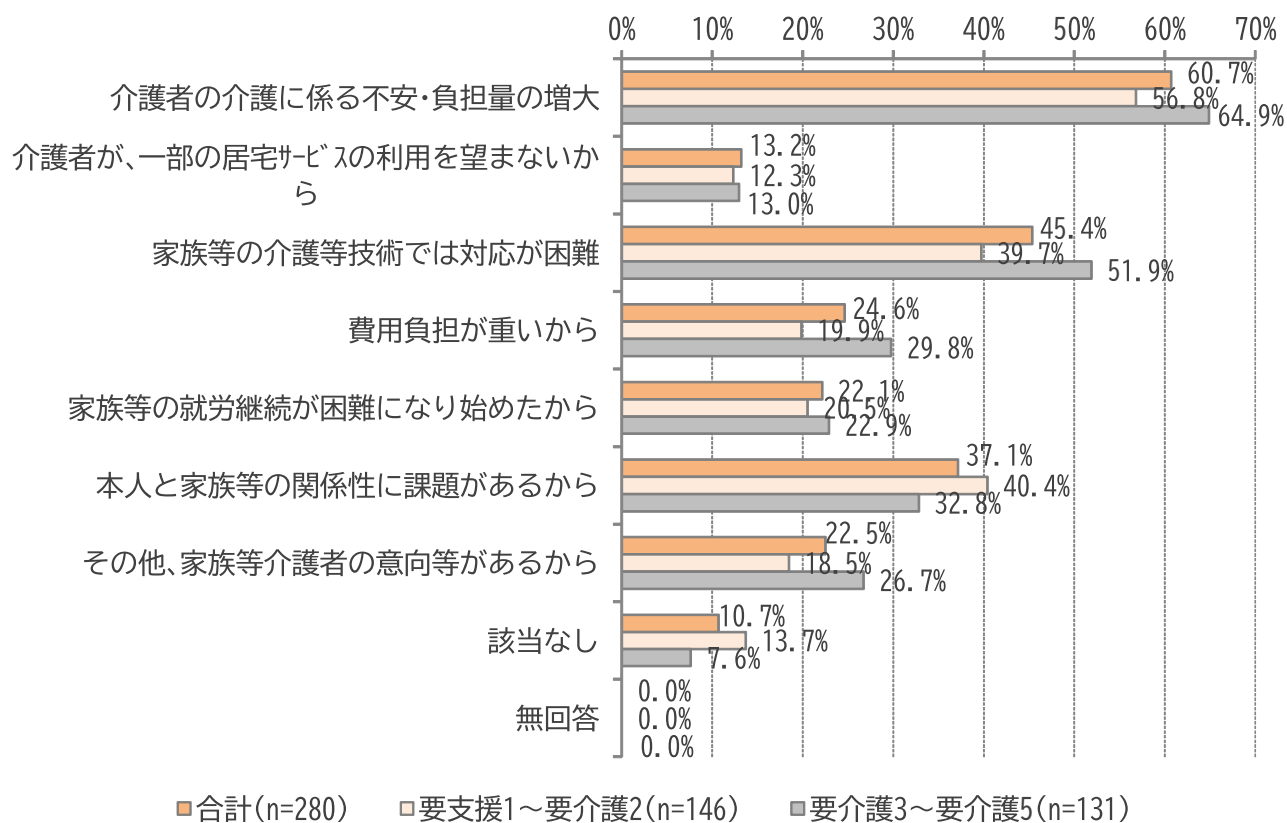
⑥ 「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



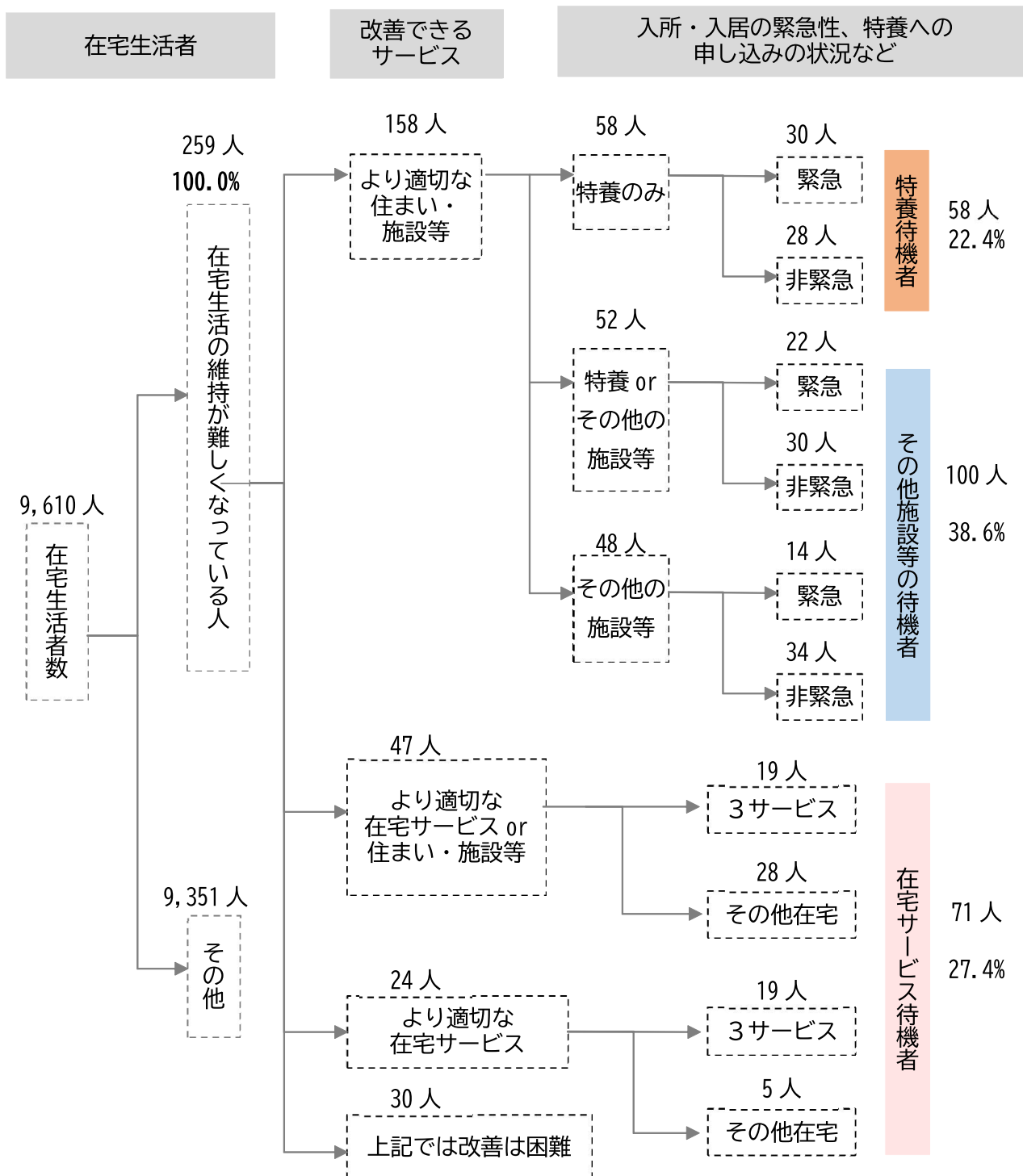
⑦ 生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向に属する理由、複数回答）



⑧ 生活の維持が難しくなっている理由（家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答）



⑨ 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



(注1)「より適切な在宅サービス or 住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2)「生活の維持が難しくなっている人」の合計280人のうち、上記の分類が可能な259人について分類しています(分類不能な場合は「その他」に算入しています)。割合(%)は、259人を分母として算出したものです。

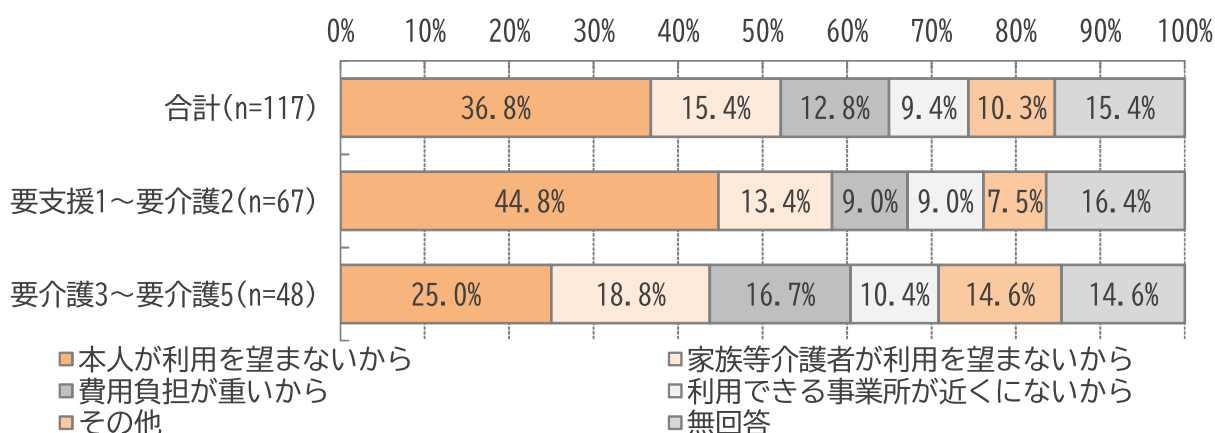
(注3)「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

⑩ 「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス
(複数回答)

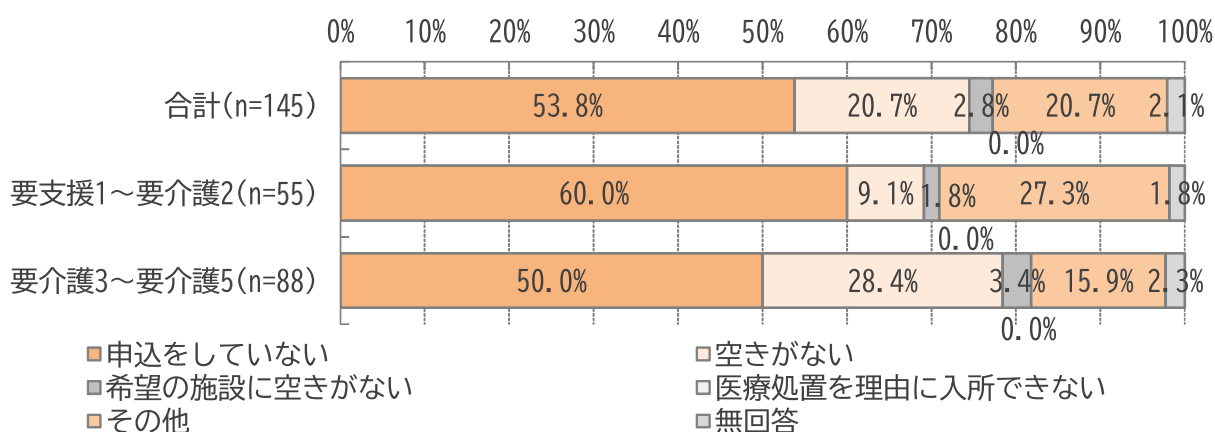
生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(100人)			在宅サービス待機者(71人)		
住まい・施設等	住宅型有料	19人	19.0%	住宅型有料	12人	16.9%
	サ高住	7人	7.0%	サ高住	9人	12.7%
	軽費老人ホーム	9人	9.0%	軽費老人ホーム	4人	5.6%
	グループホーム	47人	47.0%	グループホーム	18人	25.4%
	特定施設	24人	24.0%	特定施設	9人	12.7%
	介護老人保健施設	21人	21.0%	介護老人保健施設	11人	15.5%
	療養型・介護医療院	8人	8.0%	療養型・介護医療院	3人	4.2%
	特別養護老人ホーム	52人	52.0%	特別養護老人ホーム	35人	49.3%
在宅サービス	—			ショートステイ	37人	52.1%
				訪問介護、訪問入浴	17人	23.9%
				夜間対応型訪問介護	12人	16.9%
				訪問看護	10人	14.1%
				訪問リハ	4人	5.6%
				通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	24人	33.8%
				定期巡回サービス	12人	16.9%
				小規模多機能	22人	31.0%
				看護小規模多機能	13人	18.3%

生活の改善に向けて、代替が可能

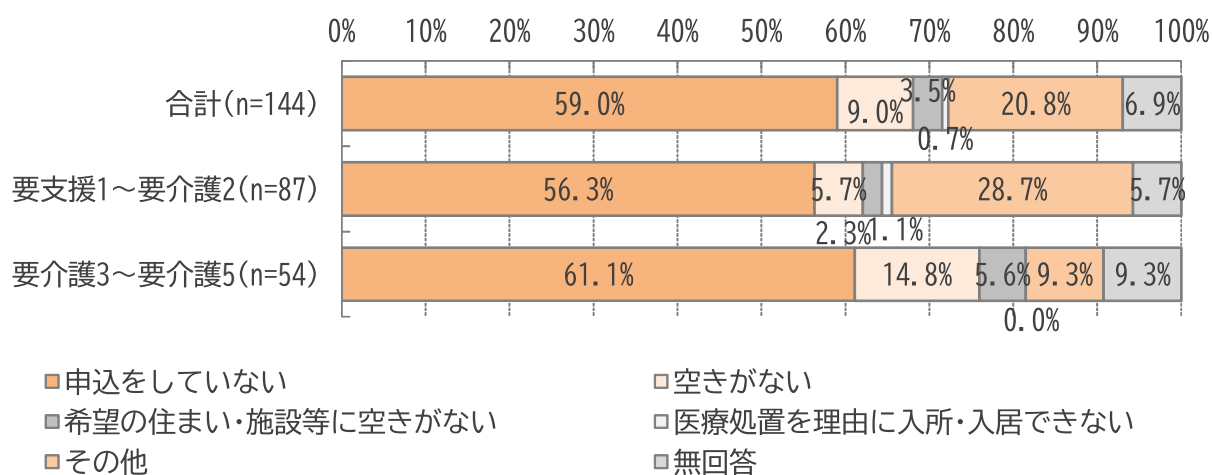
⑪ 在宅サービスを利用できていない理由（改善に必要なサービスで、在宅サービスを選択した人）



⑫ 特養に入所できていない理由（改善に必要なサービスで、特養を選択した人）



⑬ 特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由（改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人）



居所変更実態調査

調査の対象

横須賀市内のすべての住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、介護老人保健施設、介護老人福祉施設

実施期間：令和4年11月16日～令和5年1月31日

発送事業所数：133件

事業所票回収数：73件（回収率 54.9%）

調査の目的

- ・居所変更実態調査では、①過去1年間で施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数や、②その理由等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能や、外部サービス資源との連携等を検討し、具体的な取組につなげていくことを目的としています。

調査の概要

- ・アンケートは、施設・居住系サービスの管理者の方などにご回答いただきました。
- ・調査では、各施設・居住系サービスから過去1年間で居所を変更した方の人数と行先、居所変更の理由などを把握しますが、これは、「要介護者が、住み慣れた住まいで暮らし続けることができる」という、地域のビジョンを達成するために、各施設・居住系サービスに「どのような機能が必要か」を検討することが目的となっています。
- ・今後は、介護人材の確保が困難となる地域も多い中、地域の施設・居住系サービスで最後まで暮らし続けるために、「量の拡大」ではなく、どのような「機能の強化」が必要かを検討することが重要になるのではないか、という考えに基づいています。

注目すべきポイント

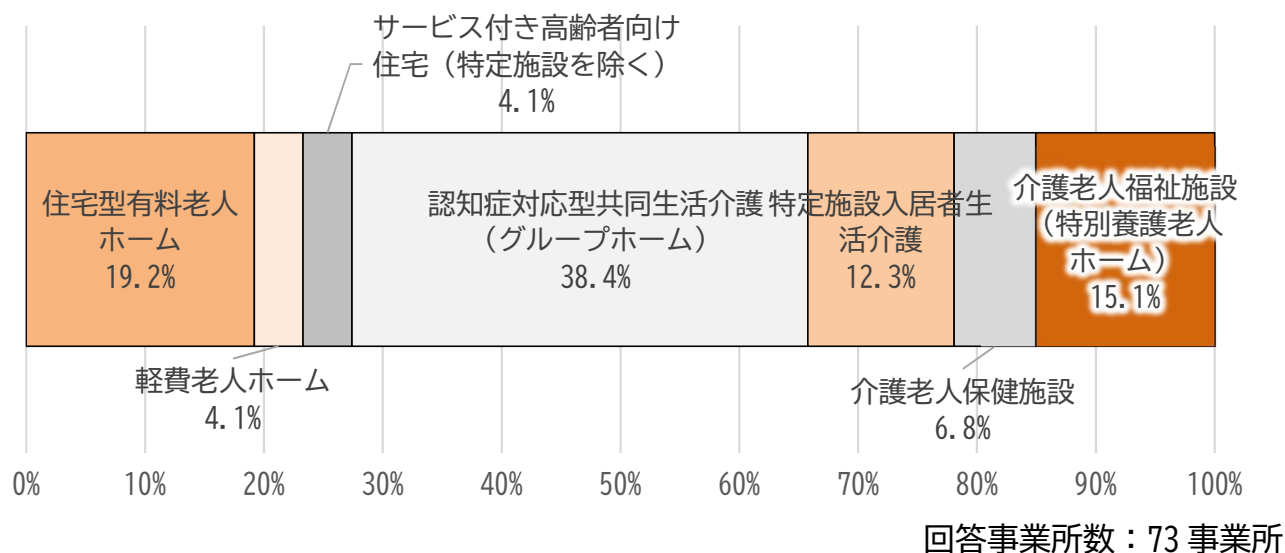
- ・過去1年間で居所を変更した人と、死亡した人は、どの程度いるか？（どの程度の方が、最後までその施設等で暮らし続けることができたのか）
- ・居所を変更する理由として、多いものは何か？（どのような機能を強化することで、その施設等で暮らし続けることができるようになるのか）
- ・各施設・居住系サービスで、各医療処置を受けている人の人数はどの程度か？（各医療処置への対応が可能な施設・居住系サービスはどこか）

1. 調査の結果

回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(1) サービス種別の類型化

① 回答事業所の割合



このアンケートでは、上記の施設等について、以下のように略称を用いて結果を掲載します。

施設等のサービス種	略称	概要
住宅型有料老人ホーム	住宅型有料	入浴・食事・家事等の日常生活上必要なサービスを提供する施設。
軽費老人ホーム	軽費	自炊ができない程度の身体機能の低下により自立した生活に不安がある人を対象とした施設。
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設を除く）	サ高住	安否確認と生活相談が必須サービスの、比較的自立した高齢者が賃貸契約を結び入居する施設。
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	グループホーム	認知症の人が共同生活する住居で、食事・入浴などの介助や機能訓練が受けられる施設。
特定施設入居者生活介護	特定施設	入浴・食事・家事等の日常生活上必要なサービスを提供する施設。介護サービスを受ける場合は特定施設入居者生活介護を利用する。
介護老人保健施設	老健	状態が安定し在宅復帰を目指している人が対象の施設。
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	特養	常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が対象の施設。

(2) 事業所の概要

① 定員数など

	住宅型 有料 (n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健 (n=5)	特養 (n=11)
(室・戸・人)	居室数	居室数	住宅戸数	定員数	定員数	定員数	定員数
0～19	7 事業所		2 事業所	27 事業所	1 事業所		
20～39	5 事業所	1 事業所		1 事業所			
40～59	1 事業所	1 事業所	1 事業所		3 事業所	1 事業所	
60～79	1 事業所				1 事業所		1 事業所
80～99		1 事業所			2 事業所		3 事業所
100～119					1 事業所	2 事業所	3 事業所
120～139							2 事業所
140～159						2 事業所	1 事業所
200～219							1 事業所
300～319					1 事業所		

回答事業所数：73 事業所

② 入所・入居者数

	住宅型 有料 (n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健 (n=5)	特養 (n=11)
(人)							
0～19	8 事業所		2 事業所	27 事業所	1 事業所		
20～39	4 事業所	1 事業所		1 事業所	1 事業所		
40～59	2 事業所	1 事業所	1 事業所		2 事業所	1 事業所	
60～79					3 事業所		2 事業所
80～99		1 事業所				2 事業所	4 事業所
100～119					1 事業所		3 事業所
120～139						2 事業所	
140～159					1 事業所		1 事業所
200～219							1 事業所

回答事業所数：73 事業所

③ 自施設の入所・入居待機者数

(人)	住宅型 有料 (n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健 (n=5)	特養 (n=11)
0 (いない)	11 事業所	1 事業所	1 事業所	9 事業所	5 事業所	5 事業所	1 事業所
1～19	2 事業所		1 事業所	17 事業所	3 事業所		
20～39		1 事業所		1 事業所			
60～79							1 事業所
100～119							3 事業所
120～139							1 事業所
160～179							1 事業所
200～219							1 事業所
260～279							1 事業所
300～319							1 事業所
不明・無回答	1 事業所	1 事業所	1 事業所	1 事業所	1 事業所		1 事業所

回答事業所数：73 事業所

④ 入所・入居までの平均待機期間

	住宅型有料 (n=14)	軽費老人ホ ーム(n=3)	サ高住 (n=3)	グループホ ーム(n=28)	特定施設 (n=9)
0 (待機なし)	6 事業所	1 事業所	1 事業所	7 事業所	4 事業所
3 か月未満	2 事業所			3 事業所	1 事業所
3 か月以上6 か月未満				2 事業所	1 事業所
6 か月以上9 か月未満	1 事業所			4 事業所	1 事業所
1 年以上1 年半未満				1 事業所	
1 年半以上2 年未満				2 事業所	
2 年以上				5 事業所	
不明・無回答	5 事業所	2 事業所	2 事業所	4 事業所	2 事業所

回答事業所数：57 事業所

⑤ 施設等の入所・入居者のうち、特養の待機者数

(人)	住宅型有料 (n=14)	軽費老人ホ ーム(n=3)	サ高住 (n=3)	グループホ ーム(n=28)	特定施設 (n=9)	老健 (n=5)
0 (いない)	7 事業所	1 事業所	3 事業所	15 事業所	5 事業所	
1～9	5 事業所	1 事業所		13 事業所	1 事業所	1 事業所
10～19						1 事業所
50～59						1 事業所
不明・無回答	2 事業所	1 事業所			3 事業所	2 事業所

回答事業所数：62 事業所

(3) 現在の入所・入居者の要支援・要介護

① 実数

	総計 (n=73)	住宅型有 料(n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健(n=5)	特養 (n=11)
自立	162人	4人	49人	4人	0人	105人	0人	0人
要支援1	68人	6人	19人	5人	0人	37人	0人	1人
要支援2	47人	1人	19人	3人	0人	24人	0人	0人
要介護1	392人	49人	51人	25人	58人	130人	68人	11人
要介護2	368人	42人	15人	12人	81人	97人	90人	31人
要介護3	665人	69人	3人	5人	93人	83人	124人	288人
要介護4	937人	80人	4人	6人	92人	86人	160人	509人
要介護5	525人	58人	0人	0人	40人	39人	53人	335人
申請中・不明	12人	2人	0人	0人	4人	5人	1人	0人
入所・入居者合	3,176人	311人	160人	60人	368人	606人	496人	1,175人

回答事業所数：73 事業所

② 割合

	総計 (n=73)	住宅型有 料(n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健(n=5)	特養 (n=11)
自立	5.1%	1.3%	30.6%	6.7%	0.0%	17.3%	0.0%	0.0%
要支援1	2.1%	1.9%	11.9%	8.3%	0.0%	6.1%	0.0%	0.1%
要支援2	1.5%	0.3%	11.9%	5.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%
要介護1	12.3%	15.8%	31.9%	41.7%	15.8%	21.5%	13.7%	0.9%
要介護2	11.6%	13.5%	9.4%	20.0%	22.0%	16.0%	18.1%	2.6%
要介護3	20.9%	22.2%	1.9%	8.3%	25.3%	13.7%	25.0%	24.5%
要介護4	29.5%	25.7%	2.5%	10.0%	25.0%	14.2%	32.3%	43.3%
要介護5	16.5%	18.6%	0.0%	0.0%	10.9%	6.4%	10.7%	28.5%
申請中・不明	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	1.1%	0.8%	0.2%	0.0%

回答事業所数：73 事業所

(4) 医療処置を受けている人数と割合

① 実数

	総計 (n=73)	住宅型有 料(n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健(n=5)	特養 (n=11)
点滴の管理	8人	3人	0人	0人	1人	3人	1人	0人
中心静脈栄養	2人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
透析	4人	3人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
ストーマの処置	26人	5人	2人	0人	3人	2人	3人	11人
酸素療法	29人	10人	1人	0人	1人	10人	0人	7人
レスピレーター	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
気管切開の処置	2人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
疼痛の看護	22人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	20人
経管栄養	89人	16人	0人	0人	1人	12人	11人	49人
モニター測定	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
褥瘡の処置	46人	12人	0人	0人	4人	5人	7人	18人
カテーテル	95人	15人	0人	0人	3人	14人	19人	44人
喀痰吸引	62人	25人	0人	0人	1人	8人	1人	27人
インスリン注射	22人	6人	0人	1人	0人	9人	1人	5人

回答事業所数：73 事業所

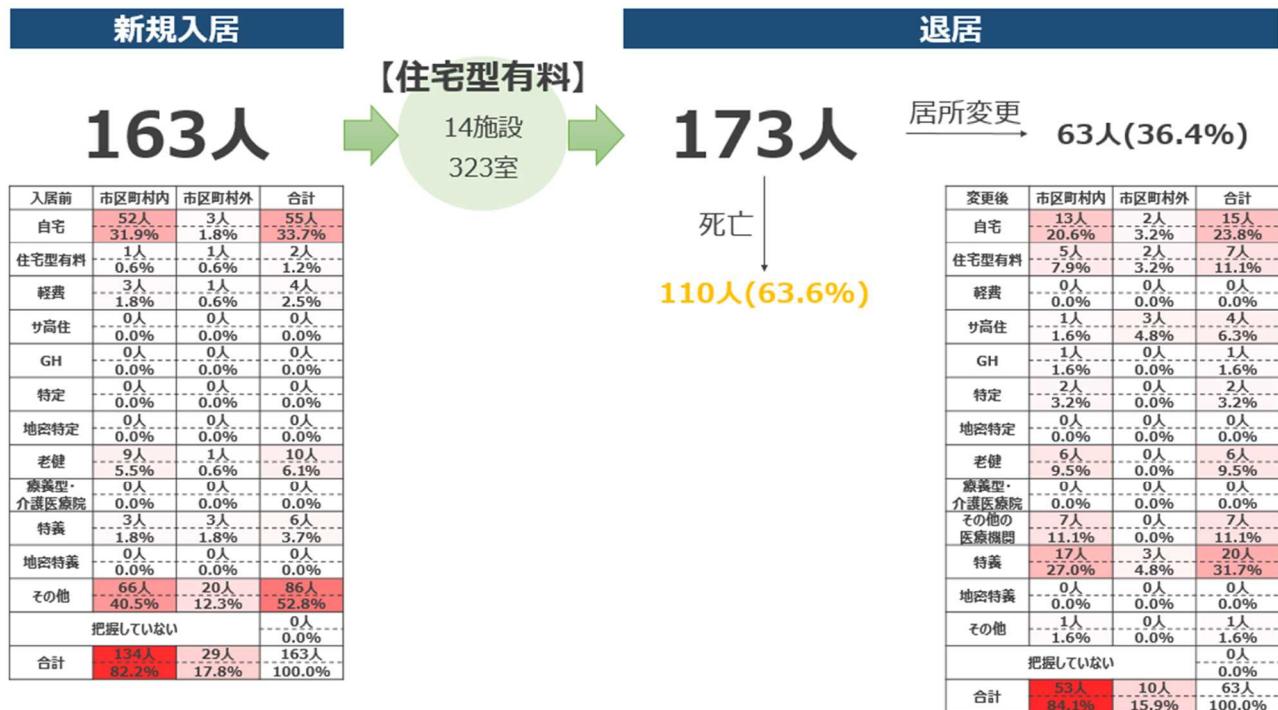
② 割合

	総計 (n=73)	住宅型有 料(n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健(n=5)	特養 (n=11)
点滴の管理	0.3%	1.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.5%	0.2%	0.0%
中心静脈栄養	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
透析	0.1%	1.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ストーマの処置	0.8%	1.6%	1.3%	0.0%	0.8%	0.3%	0.6%	0.9%
酸素療法	0.9%	3.2%	0.6%	0.0%	0.3%	1.7%	0.0%	0.6%
レスピレーター	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管切開の処置	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
疼痛の看護	0.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	1.7%
経管栄養	2.8%	5.1%	0.0%	0.0%	0.3%	2.0%	2.2%	4.2%
モニター測定	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
褥瘡の処置	1.4%	3.9%	0.0%	0.0%	1.1%	0.8%	1.4%	1.5%
カテーテル	3.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.8%	2.3%	3.8%	3.7%
喀痰吸引	2.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.3%	0.2%	2.3%
インスリン注射	0.7%	1.9%	0.0%	1.7%	0.0%	1.5%	0.2%	0.4%

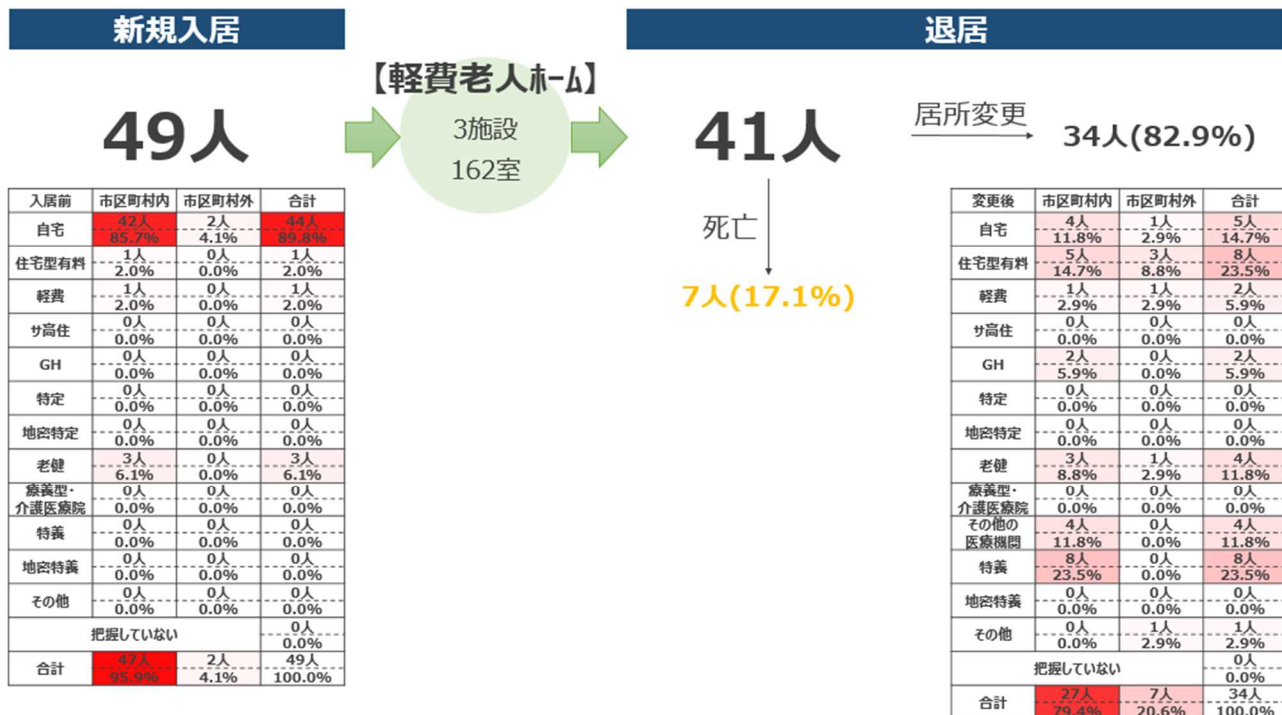
回答事業所数：73 事業所

(5) 各施設等における、過去1年間の入居及び退居の流れ

① 住宅型有料老人ホーム

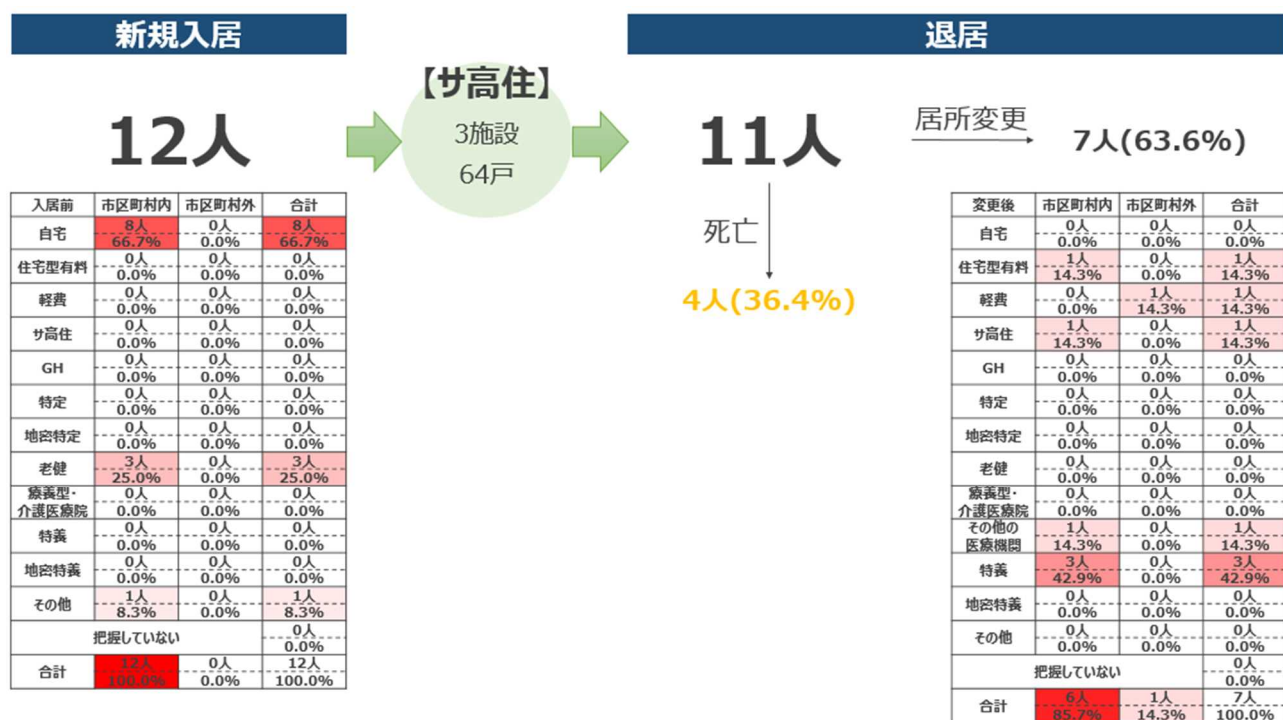


② 軽費老人ホーム

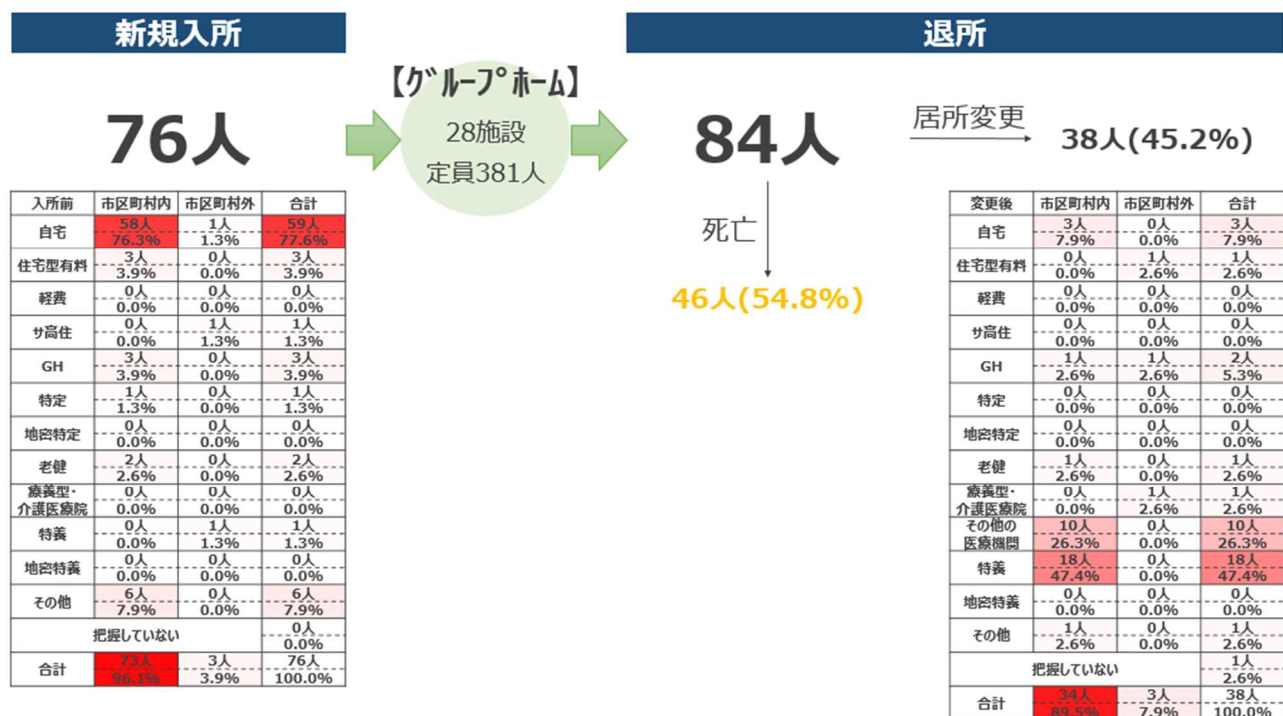


※過去1年間とは、令和3年10月1日～令和4年9月30日とします。(以下、本調査については同じ扱いとします)

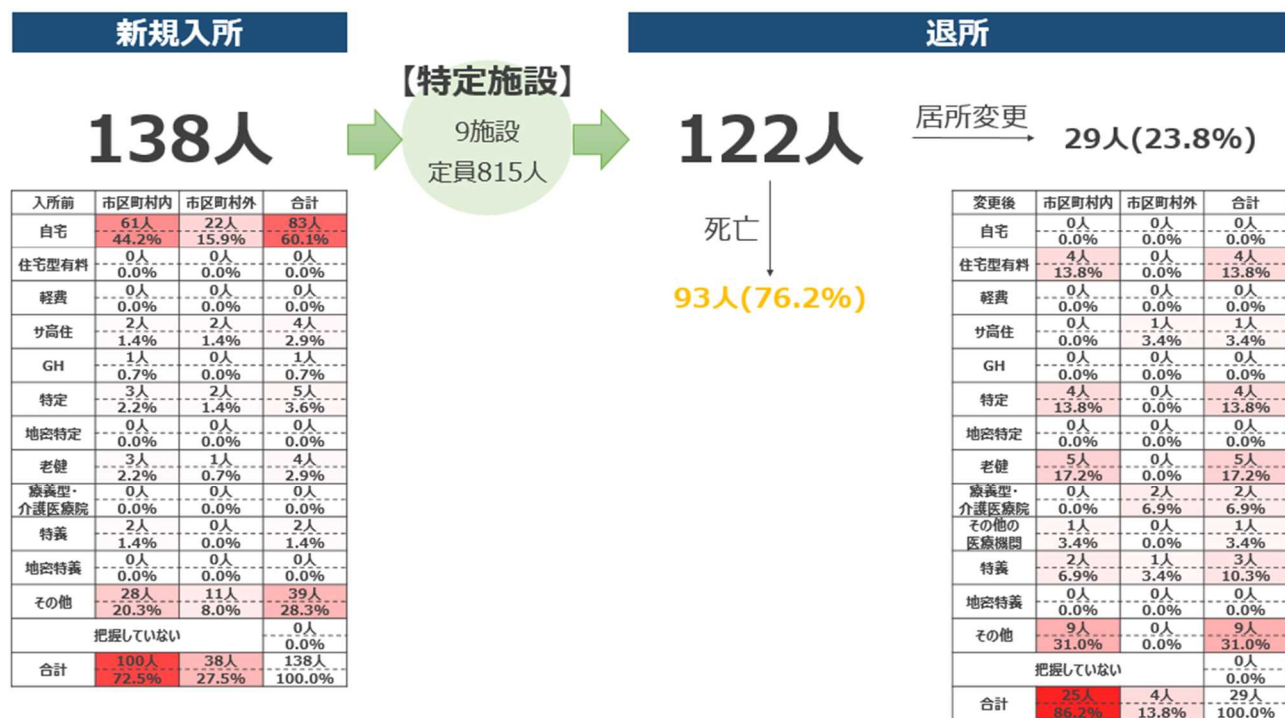
③ サービス付き高齢者向け住宅



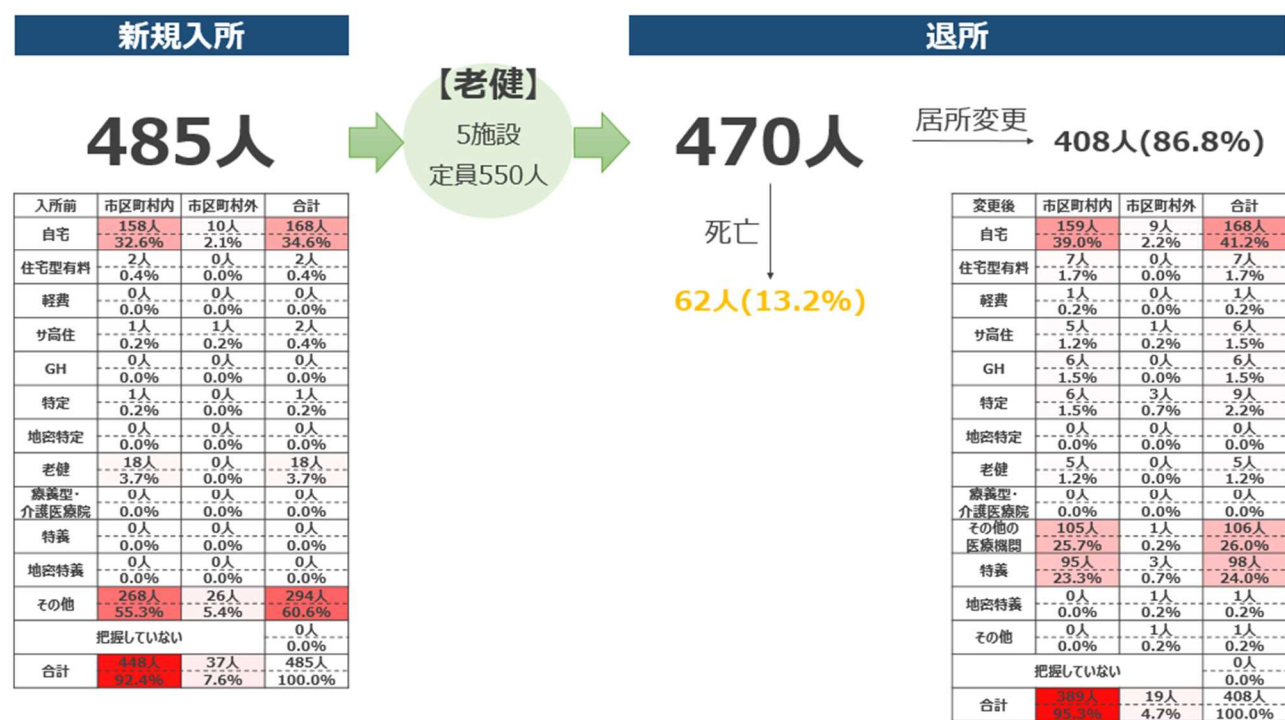
④ グループホーム



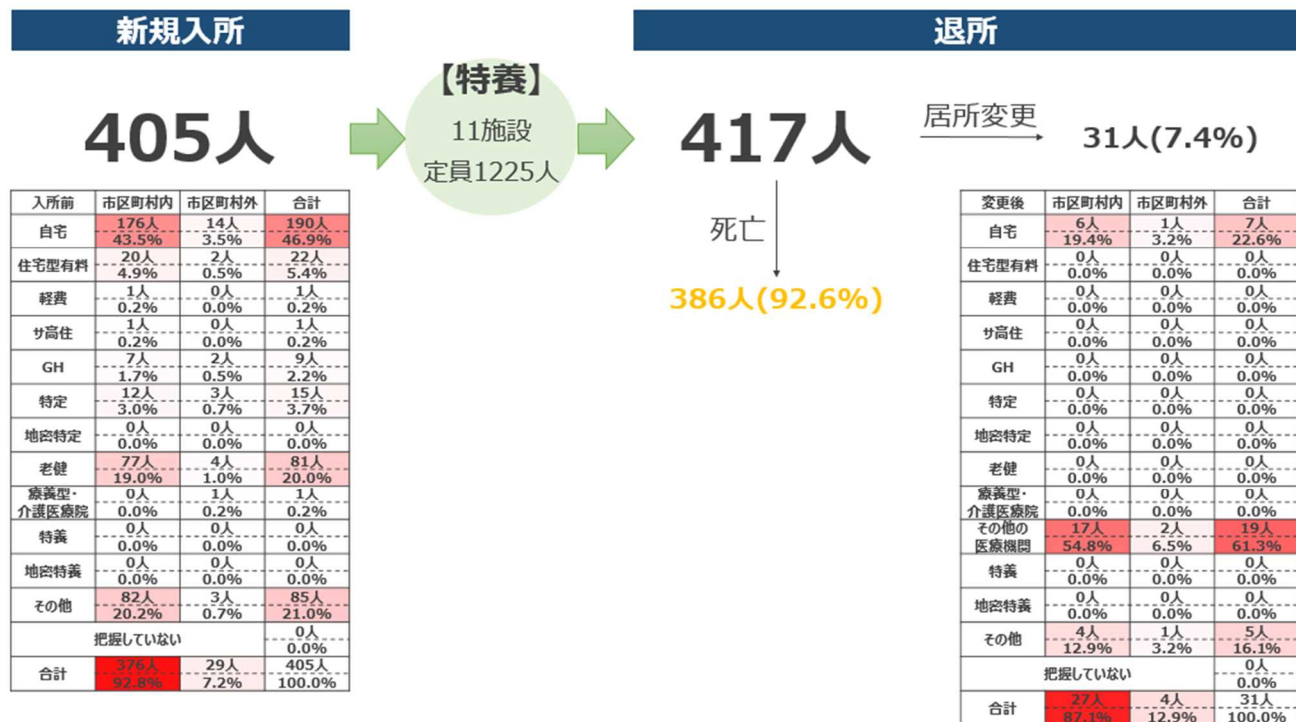
⑤ 特定施設



⑥ 介護老人保健施設



⑦ 特別養護老人ホーム



(6) 過去1年間の退去者の要支援・要介護度

① 実数

	総計 (n=73)	住宅型有 料(n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健(n=5)	特養 (n=11)
自立	5人	1人	3人	1人	0人	0人	0人	0人
要支援1	5人	2人	3人	0人	0人	0人	0人	0人
要支援2	2人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
要介護1	62人	5人	13人	1人	3人	2人	38人	0人
要介護2	101人	7人	6人	1人	6人	4人	77人	0人
要介護3	129人	12人	5人	1人	12人	8人	84人	7人
要介護4	209人	19人	3人	2人	10人	9人	151人	15人
要介護5	94人	13人	0人	1人	7人	6人	58人	9人
申請中	3人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	610人	63人	34人	7人	38人	29人	408人	31人

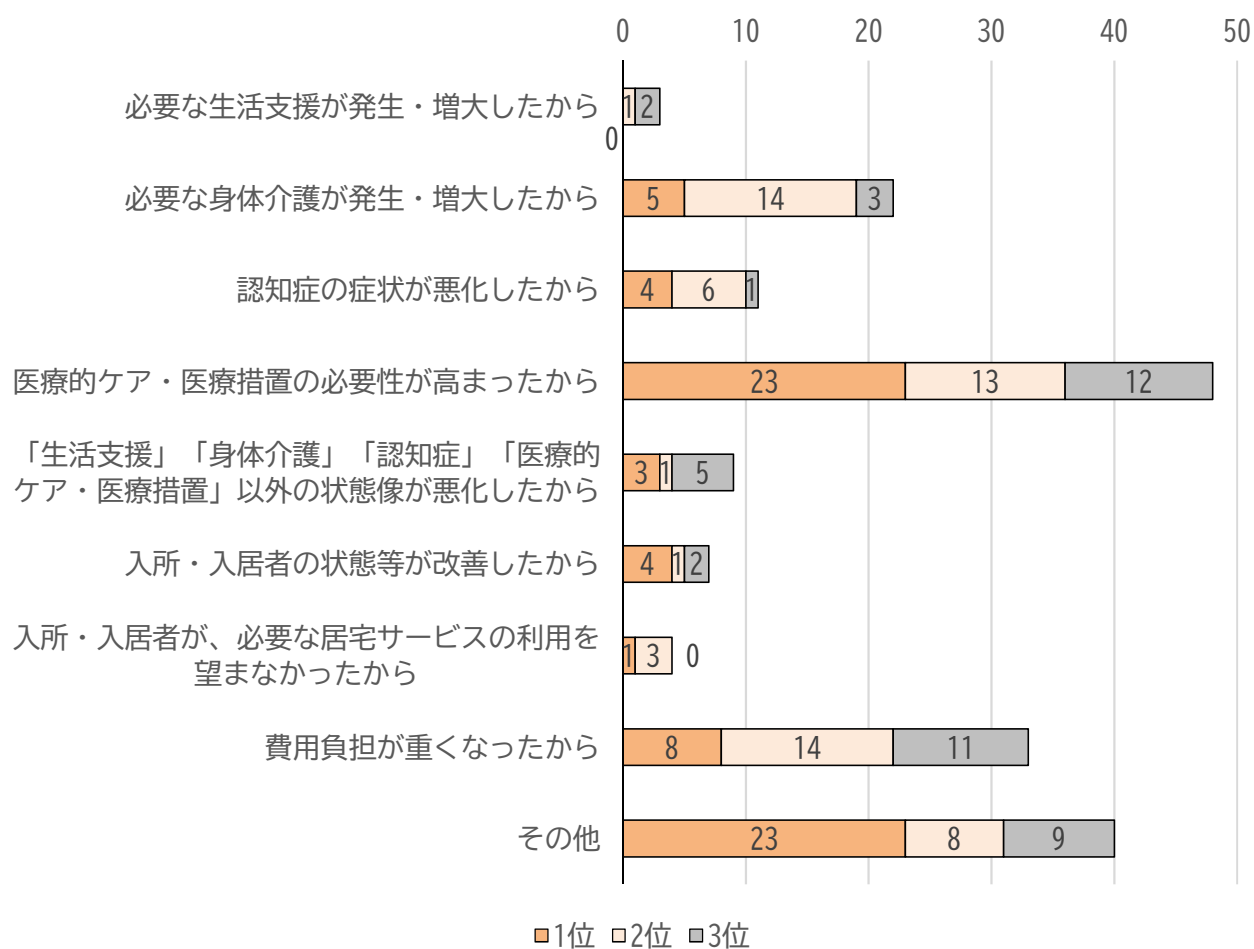
回答事業所数：73 事業所

② 割合

	総計 (n=73)	住宅型有 料(n=14)	軽費老人 ホーム (n=3)	サ高住 (n=3)	グループ ホーム (n=28)	特定施設 (n=9)	老健(n=5)	特養 (n=11)
自立	0.8%	1.6%	8.8%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要支援1	0.8%	3.2%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要支援2	0.3%	1.6%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
要介護1	10.2%	7.9%	38.2%	14.3%	7.9%	6.9%	9.3%	0.0%
要介護2	16.6%	11.1%	17.6%	14.3%	15.8%	13.8%	18.9%	0.0%
要介護3	21.1%	19.0%	14.7%	14.3%	31.6%	27.6%	20.6%	22.6%
要介護4	34.3%	30.2%	8.8%	28.6%	26.3%	31.0%	37.0%	48.4%
要介護5	15.4%	20.6%	0.0%	14.3%	18.4%	20.7%	14.2%	29.0%
申請中	0.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※亡くなった方は含まれていません

(7) 居所変更した理由



回答事業所数：73 事業所

※回答事業所数には無回答、一部回答の事業所も入っています